

2. 戦略推進調査

2-1 貿易拡大に向けた効果的な推進策の検討

前章までで北東アジア貿易におけるポテンシャル、課題及びその解決へ向けた取組の方向性は明らかになった。なお、課題は相手国、日本（中国圏）双方に存在しており、それぞれ単独での解決は困難である。そのため、本章では貿易拡大に向けた効果的な推進策に関して、日本国内での施策、相手国と協働して行うべき施策に分け、検討の上、提案を行う。

2-1-1 日本国内での推進策

中国圏と成長する環日本海・北東アジア地域経済との結びつきを強化するため、山陰地域の情報収集や戦略立案機能を高めるとともに、高速道路や港湾施設等のインフラの整備を進めるなど、山陰地域におけるソフト、ハード両面の機能整備による基盤づくりを行う。

(1) 山陰圏におけるソフト・ハード両面の機能強化

1) 情報の収集及び共有化

中国圏ロシアにおいては、通関所要時間が読み難く、また制度が頻繁に変わることから、貨物の遅滞が発生している。さらにコールド・チェーンが未整備であったり、異なる商習慣や独特な市場の志向性などロシアの貿易環境はよく知られていないことが多く、それらに起因した貿易上のトラブルや荷の損傷などダメージを受けるケースが発生している。このようなロシアを含む北東アジア諸国の情報が十分に把握できていないことが、貿易拡大につながらない大きな要因となっている。

これらに対処するため、外務省や JETRO、日本センター等の公的機関ならびに現地進出企業、各県現地事務所等との連携や姉妹都市交流を通して情報を収集するとともに、山陰圏として情報の共有化を図る。

なお、対岸諸国の経済情勢等の動向並びに日本国内の集荷想定貨物の動向の双方を情報収集の対象とする。

2) コーディネート機能の整備

頻繁に変わるロシア特有のルールに対応して、ロシアでのビジネスを成功させるためには、専門的な技術をもった現地ビジネスパートナーを見つけることが重要だと多くの識者が言及していたが、これは今回の現地調査においても確認された。現地ビジネスパートナーについては、見本市や商談会等を通しての発掘が効率的だが、見つけるだけにとどめず交流を深め、信頼関係を築いていくことが長期にわたりビジネス展開するためには不可欠と言える。一方、日本国内では、新規貿易品目の開拓や販路拡大を目指して専門性の高い物流事業者、商社を活用する。

こうして整備したコーディネート機能により、広域的集荷のための国内外におけ

る見本市・商談会の定期開催や PR 活動などのポートセールス活動、また、シベリア・ランドブリッジ輸送やロシア極東港湾から中国東北三省への新たな物流ルートの有効性、信頼性を確認するためトライアル輸送促進・支援等の戦略を立案することが可能になる。

3) 交易を支える人材育成

産官学の連携により、国際経済交流を戦略的に推進するためには、人材育成が不可欠と言える。相手国の行政機関、研究機関、民間企業、大学との人材交流の促進により信頼関係を構築し、国際ビジネス人材の育成を図る。大学など教育機関による北東アジアに係るビジネス人材の育成を促進するとともに、調査研究による情報の蓄積を促進してこれからの人材を誘因する。

4) 物流ネットワークの構築に向けた検討

北東アジアゲートウェイ構想の進捗状況を踏まえ、高速道路、港湾、鉄道等のインフラ整備、定期便に合わせた貨物シャトル便、トラック共同輸送便、インランドデポや冷凍・冷蔵倉庫等の物流施設、鉄道輸送網等、総合的な物流ネットワークの整備を検討する。

5) 産業の立地促進

対ロシア極東の主要貿易品目である中古自動車、原木の関税引上げにより、新たなメイン・カーゴの開拓が必要となっている。ロシア輸入製材を取扱う産業をはじめとするロシアとの貿易を行う企業、ソウル近郊との貿易を行う企業など、北東アジア貿易拡大をにらんだ戦略的な誘致を推進する。さらに、誘致企業に対する北東アジア貿易に関する情報提供機能を高めるとともに、航路サービスの拡充や国内 2 次輸送網の整備を行い、質の高いサービスを提供することによって企業誘致を推進する。

(2) 広域かつ多種多様な集荷

1) 貿易品目の拡大

・ 広域からの貨物誘致

物流ネットワーク構築による集荷範囲の拡大に応じて、より広域からの貨物誘致に取り組むべくポートセールス活動を強化するとともに、ロケーションを活かした製品の集荷も有効である。

山陰の周辺地域には、ナシ、スイカ、ブドウ、モモ、柑橘類など良質な果物が種類豊富に生産されている。また日本海の魚介類など安全で健康的な食品もある。さらに、対北東アジアの西日本のゲートウェイとしての視点に立つと、温暖な気候を活かした四国地域の野菜や果物、ロシア極東でもブームである「寿司」ネタとしての養殖魚（タイ、ブリ）など、亜寒帯地域では手の入り難い西日本の製品を集荷する

ことが効果的である。

このため、四国圏域の農林水産物の生産者や団体と連携して PR 活動や販路開拓を推進する。

ロシア極東における日本ブーム、日本の食材への高い信頼性から期待はできるものの、実際にどのような品目が売れるかについて、輸出トライアルを重ねていくことが不可欠である。

・新たな貿易品目の発掘

食材を中心とする山陰・中国圏のロケーションを活かした産品を売り込むことは当然としても、ロシア極東向けのこれまでのメイン・カーゴであった中古自動車以外に何が売れるのかは、やはり不透明である。それでも、地域の良質な産品の売り込みトライアルを長く重ねることにより、信頼関係を構築し、売れ筋の商品が発掘されてくると考えられる。当面は貿易を行う荷主企業が全てのリスクを背負うのではなく、地域の経済団体や行政、専門知識を持った集団などによるトライアルに対する経済的、技術的支援や商談会の開催、現地企業とのマッチング、日本産品の PR など幅広い支援が不可欠である。

また、今後の北東アジアの経済成長、ロシアや東北三省への日本企業の進出も視野に入れ、農産品・工業製品等、可能性のある品目を広く抽出していく必要がある。

2) 貿易ルートの確立

・山陰 2 港及び他圏域との広域的な連携による航路サービスの充実

北東アジアとの交易及びシベリア・ランドブリッジによるモスクワ、欧州方面との貿易を促進するため、航路の誘致・拡充を図るとともに、リードタイムやコストの短縮を可能とする国内輸送網の充実や、港湾間の連携を図り、貿易ルートの確立を図る。

浜田港～ウラジオストク港の RORO 船サービスは月 2 便で、境港から東海港経由でウラジオストク港への国際フェリー週 1 便が就航すると、山陰地域からウラジオ向けサービスが週 1.5 便となり、日本海側のロシア貿易の約 4 割を占める伏木富山港発着のダイレクト便の週 1 便を上回る事となる。寄港頻度のアップを求める企業ニーズも高いことから、この寄港頻度の高さを重視し、効果的な集荷量の増大につなげる連携した PR が有効であると考えられる。また、環日本海の他圏域港湾と連携を強化し、環日本海地域の集荷量を増大させるとともに、リードタイムとコストの削減を推進し、顧客サービスの充実に努めることにより日本海発の航路の拡充を進める。

・シベリア鉄道等の活用に向けた調査検討

モスクワ、欧州方面へのリードタイムの面で有利なシベリア・ランドブリッジであるが、不安定な運行等、活用に向けては課題がある。そのため、海上輸送とシベリア鉄道とを結ぶスムーズなトランジットの確立を目指し、信頼性を確認するためのトライアル輸送を促進・支援する等、調査検討を進める。

・対中国東北三省へのロシア極東港湾経由の物流ルートの調査検討

人口規模が1億人を超え、自動車産業等の集積が進む等そのポテンシャルの大きさゆえに将来が期待される対中国東北三省については、新たな日本海ルート開設する内陸部（琿春市等）と極東ロシア港湾等の動向、すなわち新潟港、東草港、秋田港とザルビノ港を結ぶフェリー航路や敦賀港とザルビノ港を結びコンテナ航路など他圏域港湾の動向を注視する。また、他圏域との連携や日中韓露の多国間連携等によりルート開拓の調査検討を進めていく。

2-1-2 相手国との協働による推進策

(1) ロシア

1) ロシア・欧州の物流システムの整備

・効率的な物流システムの整備

対ロシア貿易において、通関手続の不安要素があるが、これは例えば地方政府間での食料供給協定締結等の方法により、安定化を図ることが可能と考えるため、地方政府間の交流の促進を図る。また、信頼性の高い荷主企業に対する政府間保証や相互承認により通関手続きの簡素化を図ることも有効である。

また、不十分であるとの指摘を受けているロシア側のコールド・チェーンについても物流上の課題を効果的に解消できる方策および物流インフラの開発に協働で取り組んでいくなどし、効率的な物流システムの整備を図る。

・シベリア鉄道の活用

国内における人口や生産拠点は、太平洋側、瀬戸内側に集積しており、日本海側だけでは貨物が集まり難い構造にある。環日本海交易においては地理的優位性があるものの十分なロットを集めるのは困難な状況にある。そのため、ロシア極東側、例えばウラジオストク等に日本発欧州向けのシベリア鉄道貨物を集める物流センターを整備し、日本海側の貨物のロットを現地でまとめ、鉄道輸送料金の低減を図る。こうして日本側の環日本海地域連携によりロット拡大を図るとともに、シベリア鉄道における東行貨物のロシア極東荷主と連携し、日本発の西行貨物とのマッチングにより片荷の解消を図ることで、さらに鉄道輸送料金の低減を進めることができる。

また、東海港やフェリー会社、韓国の荷主企業と連携して集荷の拡大を図り、貨物のロットをまとめることも効果的である。さらに、ロットの拡大を図ることにより、鉄道会社との交渉力を高めるとともに、運行安定化への働きかけを行うことも重要である。

2) 航路サービスの充実による貿易拡大

対ロシア貿易の日本最大の港は伏木富山港であるが、週1便の貨客船に加え、コ

ンテナ船及びRORO船の日本周回ルートを加えるとおよそ週 2 便程度のサービス水準である。但し、日本周回ルートはラストポートが横浜港となり日数を要するため、山陰港湾発着の週 1.5 便（境港 1 便、浜田港 0.5 便）の航路サービスの充実を図ることにより、荷主企業が求めるリードタイムとコスト縮減につながり、貿易の拡大が期待される。そのため、ロシア側船会社や韓中フェリーとの協働による寄港頻度の増大や、韓国～ポストチヌイ港間のコンテナ航路との接続性を高める等、航路サービスの充実に努める。

(2) 対韓国

1) 韓国内物流ルートの構築

・ソウル周辺貨物の集荷

東海港は首都ソウルに釜山港より近く、境港～東海港フェリー利用によりソウル向けの最短コースとなり得ることから、ソウル向け貨物の東海港シフトが考えられる。

ソウル周辺（京畿道）では、電気機械、精密機械等の業種が集積していることから、これら企業をターゲットとした製品の輸入や素材・部品の輸出が考えられる。また、ソウル周辺（京畿道）では人口が集積していることから、食品、日用品や高級なエレクトロニクス・家電等の輸出も考えられる。そのため、食品、現地企業向け部品等のソウル向けの貨物の発掘や船会社との連携によるソウル向け貨物の発掘を行いつつ、国際フェリーの寄港頻度増大によるソウル周辺向け最速輸送サービスの地位確立を推進していく。

・東海港と協力した相互の貨物の集荷による出入り貨物のバランス確保

東海港は首都ソウルまでは釜山港より近く、リードタイムも短いが、韓国側から見て輸出超過で片荷傾向のため、陸上輸送費が釜山港～ソウルよりも高くなっており、日本側にとってソウル向けの最短コースとなるメリットが活かしていない。ゆえに、ソウル向けの貨物を集め積極的に東海港を使うことによって片荷を解消すれば、それによって韓国内での陸上輸送コストが下がり、さらに集荷が進み物流サービスが向上するといった好循環を産み、境港、東海港双方の発展につながっていく。このため、相互協力による荷主の開拓、新たなサービスの提供などを実施していくべきである。

また、東海港は大規模な自由貿易地域及び産業団地の開発を戦略的に進め、内外企業を積極的に誘致しているが、日本側でも日本海航路の優位性を PR する等、誘致を側面支援することも効果的である。

・国際フェリー・RORO船を活用した複合一貫輸送の実現

中国圏からソウル周辺向けの最速輸送サービスを推進し、集荷拡大を図っていくためには、シームレスな物流システムを構築することが不可欠である。そのために、関係国の間でトラック相互乗り入れ協定を結ぶことにより、高速定時性の優位性を

高め、国際フェリー、RORO船の高速定時性を活かした複合一貫輸送の実現を推進する。

(3) 対中国東北三省

1) 相手方動向に対応した貿易拡大

中国東北三省の経済や産業立地、荷動き等について、情報収集機能や人材育成（交流）機能を駆使して最新の動向を注視しつつ、状況に応じて山陰諸港の活用による貿易拡大施策の展開を進めていく。

その際に、他圏域港湾と連携したトライアルへの参加等などが有効な手立てとなると考えられる。そのため、ロシア極東港湾から中国東北3省への新たな物流ルートの有効性、信頼性を確認するためトライアル輸送を促進、支援するとともに、相手国内の物流上の課題を効果的に解消できる方策および品目、物流ルート、物流インフラの開発に協働で取り組んでいく。

モスクワへのリードタイムの大幅短縮
【シベリア・ランドブリッジ】

欧州への玄関口
【ウラジオストク駅】

日本製品の輸出トライアル
【新規品目の発掘】



図 2-1-1 環日本海における貿易拡大イメージ

2-2 マーケティング態勢構築

本項では、貿易拡大に向けたマーケティング戦略のターゲットおよび手法を明確にするため、既存文献に基づきロシアで先行するマーケティング戦略の手法について整理するとともに、現地における販売促進のためのアンテナショップ設置に向け必要となる事項（アンテナショップの目的、プロモーション、販売ルート開拓、販売までに要する手続きや物の流れ、各段階における現地パートナーとの役割分担、など）の検討を海外現地調査により行った。

また、貿易に適する品目のターゲットを明確にする必要があることから、北東アジアにおける需要動向や立地特性を踏まえ、ロシア極東および韓国（東海港）において需要の増大の見込まれる品目について既存資料調査および海外現地調査により検討することにより、新たな貿易品目の発掘に向けた検討を行った。

2-2-1 マーケティング態勢の構築

(1) 先行する欧米企業等のロシアでのマーケティング戦略事例

貿易拡大に向けたマーケティング戦略のターゲットおよび手法を明確にするため、既存資料調査を基に、先行する欧米企業等のロシアにおけるマーケティング戦略・手法についての事例の整理を行った。

1) 積極的なブランド戦略

ロシア市場では、まだ西欧のようなブランドに対する志向や先入観がないため、ブランドイメージを早期に確立することが販売・マーケティング戦略のカギとなる。

ブランド戦略の手段としては、広告宣伝やサービスキャンペーンの実施、販売・サービス網の拡充が挙げられるが、自社製品の市場における位置付けを明確にするため競合他社との差別化もある（資料：「ロシアビジネス戦略」（2007年7月、JETRO 海外調査シリーズ No. 368））。

以下に、先行する欧米企業等の積極的なブランド戦略について示す。

表 2-2-1 ロシアで先行するマーケティング戦略事例（その1）

戦略	手法	具体的事例
積極的な ブランド 戦略	広告宣伝、サービスキャンペーンの実施、販売・サービス網の拡充、等	1960年代からロシアで販売してきたノキアン・タイヤは最も知名度の高いタイヤのブランドになっていることが強みで、これをテコに小売部門の「ヴィアノール」の認知度向上を図っている。
	ナロードナヤ・マルカの認証	「ロシア国民ブランド(ナロードナヤ・マルカ)」と呼ばれる優良消費財・サービスの表彰制度が1998年から毎年実施されている。国民全体でのアンケート調査が行われ、クレムリン宮殿で行われる受賞式典は国営放送等を通じて大々的に報道さ

		れるため宣伝効果は大きいこれまで、以下のメーカーが取得している。 ・インデシット：冷蔵庫(2004年) ・LG電子：掃除機、電子レンジ、オーディオ、エアコン、モニター(2001年以降) ・サムスン電子：携帯電話ブランド「エニコール(Anycall)」(2004年)
	屋外広告の多用によるブランド認知度の向上	JG電子は、屋外広告費では2005年第2四半期にロシア国内3位で、モスクワ川を越えてクレムリン宮殿にいたる橋が「LG橋」として知られている。
	現地サービス業者との提携	商用車・トラック用タイヤの販売・サービスの「トラックプロ」と提携してサービスセンターのネットワークを拡充。取扱製品の50%以上をミシュラン製品とする代わりに、機械・機器などの一部費用や従業員訓練などをミシュランが提供。宣伝・広告も提携して行っている。
	ロシアになかったサービスの提供	ルノーが2001年から始めた「ルノー・アシスタンス」は24時間体制の修理・牽引サービスプログラムである。アフターセールス・サービスの充実で顧客の満足度を高める。
	革新性のアピール	ボッシュは2006年秋の広告キャンペーンにより自動車横滑り防止装置(ESP)やワイヤレス電動工具など製品や開発力の水準の高さを訴えて、ブランド確立を図っている。
	無料キャンペーン実施によるブランド認知	ボッシュは、ボッシュ・オートサービスで2006年にオイルフィルタを購入した顧客にオイルとフィルタの無料交換サービスを実施。これは製品やボッシュの活動に対する認知度向上が目的だった。
	他社とのブランド差別化と高級感のアピール	サムスン電子は他社と差別化したブランドイメージの確立を目指しており、2003年にモスクワの中心街にショールームの「ギャラリー・サムスン」を設置して最新デジタル製品を展示。LG電子も、2005年に空港やショッピングモールに、プラズマディスプレイやGSM携帯端末などいわゆる「プレミアム製品」を並べて、消費者が実際に接する機会を提供し、プレミアム製品の認知度を高めるブランド戦略を展開。
	顧客ターゲットを絞った情報提供	建設業界が顧客となるグラバーベルは、建設業界向けの製品情報提供ウェブサイトでロシア語版を2004年に立ち上げた。ここでは同社の建設業界向けの全製品情報を5万ページにわたって掲載。

資料：「ロシアビジネス戦略」(2007年7月、JETRO 海外調査シリーズ No.368)

3) 文化・社会貢献によるブランドイメージの向上

スポーツや芸術、社会貢献を通じてブランドイメージを向上させるというマーケティング活動を採用している企業は多い。各企業の展開事例は次のとおりである。

① インデシット

女子バレーボールチームの総合スポンサー、拠点があるリペック州のオーケストラへの支援、サンクトペテルブルグの孤児を援助する基金への出資、モスクワの障害児の治療支援。

② サムスン電子

トルストイ文学賞の共同創設、ボリショイバレエへの支援、ロシア・オリンピック委員会（ROC）の公式パートナー企業となる。

③ LG 電子

「LGアクションスポーツ欧州ツアー」をモスクワで開催（2005年5月）。

④ クナウフ（ドイツに本社のある建設資材や建築システムの国際企業でロシア

市場ではシーメンスに次ぐ総投資額で第2位のドイツ企業）

ドイツとロシアの図書館の共同研究に対する財政支援。

⑤ ボッシュ

工場のあるサラトフ州で教育・文化、劇場などのスポンサーになる。

資料：「ロシアビジネス戦略」（2007年7月、JETRO 海外調査シリーズ No.368）

4) 市場シェアの事例

一部製品の市場シェアの事例を以下に示す。

【低価格帯のテレビ（2004 年）】

ヴェステル：16%、LG 電子との契約によるロルセン：16%、ロシアブランドのルービン（Rubin）：15%、ロシアブランドのポラー（Polar）：12%、ショコル（Sokol）：11%。

【A セグメントタイヤ（2005 年）】

ノキアン・タイヤ：25%、コンチネンタル：18%、グッドイヤー：17%、ブリヂストン：17%、ミシュラン：16%、ピレリ：8%。

資料：「ロシアビジネス戦略」（2007年7月、JETRO 海外調査シリーズ No.368）

(2) アンテナショップ設置にあたっての課題

貿易拡大に向け、ロシア極東における販売促進のためのアンテナショップ設置に向け必要となる事項(アンテナショップの目的、プロモーション、販売ルート開拓、販売までに要する手続きや物の流れ、各段階における現地パートナーとの役割分担、など)について、ウラジオストクおよび韓国現地におけるヒアリング調査を基に検討を行った。

1) ウラジオストクで日本からの輸入食品を手がける T 社

日本からの輸入商品を売るためには相当経費がかかるが、全額日本側の負担であれば、ショップの運営やスタッフの管理程度なら対応できるが、商品を買って取ってまではできない。

以下に T 社から指摘を受けたアンテナショップ設置の課題について整理した。

① 目的の明確化

ものを売ることが目的なのか、商品を紹介するのみなのか、目的を明確にする必要がある。但し、後者の場合であってもどこに行けば購入できるか案内する必要があるため、事前に販売ルートを開拓しておく必要がある。

② どこに商品を並べるのか

ロシア人は共働きで忙しいので、24 時間営業の大型スーパーで買い物をする。小さい店では立ち寄らない。大きい店はコストがかかる。スーパーはどの製品も同じ扱いになる。24 時間営業を運営するのは非常にコストがかかる。

③ プロモーションに資金を投入すべき

日本のメーカーは、大々的な CM をやらないため、認知されていない。ロシア市場では、全国テレビで宣伝すれば必ず売れる。韓国の家電メーカーは、大々的な宣伝をして市場を圧巻している。

④ 役割分担（費用負担）の明確化（表 2-2-3 参照）

- ・ アンテナショップ設立に際して、目的、資金、契約内容等について法律家の立会いの元、書類の作成が必要となる。
- ・ 実際にもものを売るとなると輸入許可の証明書が 1 つの商品に対してそれぞれ必要となる。
- ・ 本格的にビジネスとするには戦略が必要となる。
- ・ 商品を紹介するためにスタッフの教育も必要となる。
- ・ 経費を全て出してもらって、ショップの運営やスタッフの管理程度あれば対応してもいいが、商品を買って取ってまではやらない。

2) ウラジオストクの大手スーパーG社

G社では、日本製品の取扱いを検討中であり、プロモーションに要する資金等の提供が得られれば、自社の倉庫、人員スタッフ、車の輸送、販売拠点、流通センター等を提供し、協力体制をとることは可能である。

以下にG社からの指摘事項を挙げる。

① 日本製品のプロモーションが必要

日本製品は元の値（卸値）が高いため、プロモーションをしっかりとやらないと利益がでないため、現在検討中の段階である。

② 販売エリアのイメージ

最近日本製品への認識を持ち始めたので、具体的な提案があれば検討したい。

現段階では、生鮮野菜やフルーツを検討しているが、金融危機の関係から2008年は資金調達が困難なため、2009年から始めたい。販売エリアはシベリアまで含めた極東全体である。但し、生鮮は当面ウラジオストクだけ、小ロットで考えている。

③ 協力体制（役割分担）の確立（表 2-2-4 参照）

- ・ 日本製品を既に扱っている2～3社は、かなり以前から取扱っているため、独自の流通経路や日本製品の特徴を熟知している。彼らが扱っていない新しい製品を出すための調査に要する資金、プロモーションのためのマーケティング資金を提供してもらいたい。
- ・ 当社としては、倉庫、人員スタッフ、車の輸送、販売拠点、流通センター等を提供する。
- ・ ロシア側でかかるコストは、輸入認可の取得費用、通関するまでの倉庫保管料、陸上輸送費、冷蔵・冷凍倉庫費用などである。

④ アンテナショップの開設について

アンテナショップの開設については、問題はないと思うが、目的を明確にする必要がある。

3) 韓国フェリー会社D社

韓国のフェリー会社（在ソウル）D社にアンテナショップに対する意見を聞いた。韓国では、これまでポッタリ商（サン）を活用してきており、今後もポッタリ商の動向を把握しつつ、売れる商品を探っていくというスタンスである。

① 韓国ではアンテナショップの代わりがポッタリ商

アンテナショップの考えは良い考えだと思うが、アンテナショップの代わりはポッタリ商（サン）である。ポッタリ商が、どのような物が売れるかを検証するので、それを活用するのが良い。

② ロッテマートのウラジオストク進出

韓国からは、アンテナショップの概念でウラジオストクにロッテマートが進出する予定である。ロッテマートは農水産品や乳加工品等の食品関係を販売する予定である。

4) 船内でのアンテナショップ開設の可能性

船内で日本食品を販売することは悪い話ではないが、コストや空間を要する。また販売状況をみてニーズを正確に把握することは難しい。船に好まれる商品のみを陳列することになるため、ポッタリ商の動向を把握して考えていきたい。

5) まとめ

ロシア極東でアンテナショップを開設するためには、まず、その目的を明確にする必要がある。展示し紹介することが目的であればすぐにでも開設できるが、たとえば「この品物はどこで買うことができるのか」という質問に答えるためには、予め販売ルートを開拓しておく必要がある。また、アンテナショップで商品を販売するとなると、ロシア側での輸入許可の申請、法律家への相談や支払い、通関手続き、販売拠点の開拓、売れ残りリスクなどの問題がある。手続きが複雑なロシアにおいては通常の貿易と同じ手続きや費用等が必要となる。そのため、日本製品に興味のある現地の大手スーパーなど大規模店と協力体制をとって、店舗で取扱ってもらいその反応を調べるなどの少量のトライアルから始めるのが現実的だと考えられる。

ちなみに、韓国では大手スーパーのウラジオストク進出が検討されており、アンテナショップ設置よりも直接的な販売やポッタリ商による検証結果などを踏まえたマーケティングがとられるようである。

ウラジオストクの大手スーパーG社と連携し、販売拠点を活用したアンテナショップのイメージは、表 2-2-4 に示すとおりである。

表 2-2-3 アンテナショップの役割分担イメージ（T社の提案）

	日本側の負担	ロシア極東側の負担 (ウラジオストク等)
プロモーションに要するコスト	・ロシア側に売り込むための資金	—
通関等に関わるコスト	・輸入認可を取得する費用 ・通関コスト ・輸送費	—
売り場	・売り場の家賃	—
要員	・スタッフ費用	・スタッフの手配・教育・管理
運営	・店舗の運営費	・店舗の運営

表 2-2-4 アンテナショップの役割分担イメージ（G社の提案）

	日本側の負担	ロシア極東側の負担 (ウラジオストク等)
プロモーションに要するコスト	・マーケティング資金	—
通関等に関わるコスト	・輸入認可を取得する費用 ・通関までの倉庫保管料 ・冷蔵・冷凍倉庫の保管料 ・陸上輸送費	—
販売に要するコスト	—	・自社の倉庫 ・自社の人員スタッフ ・自社トラックでの輸送 ・自社の販売拠点 ・自社の流通拠点

2-2-2 取扱う貿易品目の検討

貿易品目のターゲットを明確にする必要があることから、北東アジアにおける需要動向や立地特性を踏まえ、ロシア極東および韓国（東海港）において需要の増大の見込まれる品目について既存資料調査および海外現地調査により検討することにより、新たな貿易品目の発掘に向けた検討を行った。

(1) ロシア極東との貿易品目の検討

ロシア経済は 1999 年のマイナス成長からプラスに転じ、2003 年以降は 6% 以上の高成長を遂げてきている。このような中、家計所得が増大し、所得上昇による個人消費が増加している。ロシア国民の可処分所得は毎年 10% を上回る伸びを示しており、個人消費の増加がロシア経済の好況を牽引してきている。

日本からの輸出品目は、中古自動車がほとんどを占めているが、ロシア極東の輸入品目をみると、食品や日用品等の消費財が金額ベースで 3 分の 1 を占めている。

今後の新たな貿易品目としては、食料品、日用品の輸出が考えられる。また、ロシア極東の開発やシベリアの資源開発が進むことが想定されることから、建設資材や建設機械などの需要の増大も見込まれる。

既存資料調査および現地ヒアリング調査結果を基に、新たな貿易品目として可能性のある品目の現状、優位性、課題について表 2-2-5 に整理した。具体的に何が売れるかについては、粘り強くトライアルを重ね検証していく必要があるが、専門家からの協力を得られる体制、および産官学が連携しトライアルを支援していく体制等を整えることが重要である。

表 2-2-5 新たな貿易品目の発掘

品目	現状	優位性	課題
野菜・果物	中国、韓国、欧米からの輸入品に加え、高級スーパーで日本産の野菜・果物が売られ始めた。ロシアで売られている果物の 7～8 割は輸入品。野菜はヨーロッパ（オランダ等）から鉄道もしくはトラックで輸送されてくるが、高い。中国の野菜は安全性に問題がある。	最近、食の安全・安心から中国産に対する現地消費者の不信感が募り、特に子供のいる家庭では日本産への信頼感からニーズが高い。 これまで釜山トランシップで 1～2 週間かかったが、山陰から 2～3 日でウラジオストクに到着できることは、生鮮にとって大きなメリットがある。	・「複数の選択肢の中から自分の好きなものを選びたい」意向に対応できる品揃えの豊富さとロットの確保 ・リーファーコンテナ設備を整える必要がある
花	ロシア人は花好きである。ウラジオの花屋さんは 24 時間営業している。花は主に中国、オランダ、コロンビア等から輸入。中国産は安いが持ちが悪い。	日本からの輸送距離・時間が短いことから長持ちするため競争優位性がある。最近、新潟からチューリップが輸出されている。	・現状では、空輸が優位。 ・国際フェリー・RORO 船での利用には通関・流通時間の短縮が必要。
水産品	日本からマグロ等は空輸でモスクワに輸送されているが、ウラジオにはほとんど輸送されていない。	ロシア極東においても寿司ブームであることから、現地で獲れるサーモン、イクラ、カニ以外の産品として、山陰の魚介類や養殖（ブリ、タイ）の可能性がある。	・コールド・チェーンの確立（現時点では空輸の可能性はある。） ・相手国で専門的なパートナーを発掘する必要がある。
食品	最近、ウラジオストクにおいても、日本製食品が高級スーパーで取扱われている。キッコーマン、ソース類、わさび等は人気がある。	日本製のソース類、レトルト、カップ麺は、便利で喜ばれている。ロシア極東の人は、日本の製品のクオリティが高いという潜在意識を持っている。	・日本の食品の賞味期限は現地での流通に要する時間に対応していない。 ・日本製品は卸値が高いことから、売るための大々的なプロモーションが必要。

ファーストフード	ロシア人の夫婦は共働きであり、ウラジオには学生も多いことからファーストフードに対する潜在的なニーズが高い。	マクドナルドなど外資系大手は進出していない。現地のハンバーガー屋、ピザ屋は流行っている。	生産・流通システムの確立
お菓子	クッキー等のスイーツ商品もあまりない。ロシア人は甘いものの好きである。ウラジオの町の中心に2か所製菓店があるが、午前中には売り切れてしまう。	日本製のお菓子は、ブルボン、ポンジュース、スナック菓子（三河屋製菓）等が現在ウラジオで売られており、日本製に対する信頼感が高い。	・日本の食品は賞味期限が短い。 ・日本製品は卸値が高いことから、売るための大々的なプロモーションが必要。
アルコール飲料	高級スーパーやホテルのレストラン等ではアサヒなど日本産のビールが売られている。チョーヤの梅酒が人気がある。	安全・安心面での日本製品の優位性はあるが、8年前の寿司ブームの時に売り込めば大きな商機があった。	ウラジオには酒類のライセンスを持った輸入業者がいなかったため極東での輸入は出来ない。モスクワでの輸入パートナーの発掘が必要。
衣料品	イタリア、フランス製の高級品か、中国製の安価なものしかなく、中間価格帯の製品がない。	日本に来るロシア人観光客は、中間価格帯の衣料品（ユニクロ、無印、GAP等）を買い求めている。	高級品か、中間価格帯の商品とするかターゲットを明確にする必要がある。高級品はモスクワ中央からの売り込みが効果的であり、モスクワでのパートナー発掘が必要。
子供用品	中国製品に対する安全面の不安から日本製のベビー用品は特に人気がある。中国製のおもちゃやぬいぐるみはモスクワの会社が中国で製造させて、ロシア国内で売っているが品質は悪い。	製品の安全性が重視され日本製のベビーカー（コンビ）は国内で約1万円のものがウラジオでは4～5万円で売れている。ロシア人観光客は日本で赤ちゃん用の紙おむつを土産に購入している。	子供用品、衛生用品は既に現地で販売されており、特に問題はない。

品目	現状	優位性	課題
家具	スウェーデン発祥の欧州家具最大手イケアは 2000 年以降ロシアに 11 店舗進出しており、2004 年には欧州最大規模となる MEGA ヒムキをモスクワ州ヒムキに開設するなどロシアでの売上高の拡大を目指している。(海外調査シリーズ No. 368 ロシアビジネス戦略、2007. 7、JETRO)	狭い家の中にふさわしい家具があれば良い。ロシアや中国の製品は品質が悪いが、イタリア製等になると高価になるため、中間の価格帯の製品があれば良いという意見があった(現地ヒアリング調査)。	高級品か、中間価格帯の商品とするかターゲットを明確にする必要がある。高級品はモスクワ中央からの売り込みが効果的であり、モスクワでのパートナー発掘が課題。
化粧品	ロシアの化粧品は全体の 60～70%が輸入品を占めており、欧米製品が圧倒的に多い。ロシア人の女性一人が 1 年間に化粧品に費やす額は 60\$(00 年)、120\$(05 年)、150\$(07 年)と急成長。(ロシア NIS 調査月報 2008 年 8 月号)	ロシア人観光客は日本のコンビニで日本製の化粧品を全商品を購入する等日本の化粧品に対する潜在的ニーズがある。ウラジオの化粧品市場は西側と比べて未成熟であり、ビジネスチャンスがある。	高級品か、中間価格帯の商品とするかターゲットを明確にする必要がある。高級品はモスクワ中央からの売り込みが効果的であり、モスクワでのパートナー発掘が課題。
衛生用品	高級スーパーやホテルで、日本製のティッシュ、紙おむつ、石鹸、シャンプー、練り歯磨き、等が売られている。	安全面を含め、日本製の質の高い製品に競争優位性がある。	既に、現地で販売されており、特に問題はない。
日用品	観光で日本に行った際には 100 円ショップで食器洗いのメラミンスポンジ等を購入している。食器、陶器等はプレゼント用に買われている。	100 円ショップの商品は、同じ中国製でもは日本向けとロシア向けとでは質が異なる。日本の気の効いたアイデア商品や高品質品に商機がある。	高級品か、中間価格帯の商品とするかターゲットを明確にする必要がある。高級品はモスクワ中央からの売り込みが効果的である。

鋼材	シベリア鉄道の輸送コストの高騰、西側での需要増もあり、極東側の鉄鋼が少なくなった。韓国、中国、日本から輸入されるようになった。	品質としては、日本製、韓国製、ロシア製、中国製の順に高い。	・ロシア極東開発のブームの中での高品質の分野の市場開拓。 ・コンテナに収まらない長大もののフェリー・RORO 船輸送が可能であるが、その集荷が課題。
建設資材	多くは、モスクワ、フィンランド方面から輸送されている。	2008 年春より、大阪住友セメント、宇部三菱セメントがナホトカを中心に輸出を実施。	現時点では、セメントを本格的に扱うにしても極東の港湾には荷役設備がない。
建設機械	建設機械は資源産業（シベリア）で使用されており、売れている。都市土木用の建機は日本製の中古（コマツ、日立建機）、あるいは韓国製の新品である。	今後も極東の都市開発やシベリアでの資源開発が進められることが想定されることから、需要の増大が見込まれ、日本の建設機械は世界的に評価されている。	フェリー、RORO 船を活用した建設機械の貨物誘致が必要。
農業用機械	日本の農機具メーカーが多数 P R 活動を実施。ロシアでは近代的な農機具が不足しており、世界的に大豊作であった昨年の穀物生産量でも設備不足により伸びが少なかった。	境港周辺には農業用機械メーカー工場が立地しており、近畿圏、四国圏などには大手メーカーが立地することから、西日本での集積がある。	ロシア首相府 H P によれば、農機具の輸入関税引き上げが連邦政府により検討されている様子である。
ミシン	蛇の目ミシン工業のロシアの販売台数は全体の約 3 割を占め、北米に匹敵する市場に成長している。(09/02/14 日経新聞)	日本の精密な生産機械には競争優位性がある。	金融危機の影響で代理店が米 \$ を準備できず「港で出荷待ちをするミシンが増えてきた」状況にある。

品目	現状	優位性	課題
生産機械	ロシアの制度がどのように変わるかわからないため、民間が設備投資を行う場合、3～4 年で減価償却を終わらせたいと思うため、安い中国製で良いという考えがある。	世界のものづくりを支える生産機械、工作機械の技術力がある。	ロシアの法制度の変更の情報を素早く入手できるよう信頼できる現地パートナーとの連携が必要。
家電	韓国製（サムスン電子、LG 電子）の電気製品は値段が妥当である。	韓国（サムスン電子、LG 電子）に大幅に遅れをとっているが、パナソニックがロシア現地生産やウラジオにショールームを開設するなど日本の高付加価値品の展開が期待される。	高品質な商品にターゲットを絞った展開が必要。
中古自動車	2008 年の中古車輸出台数は 134 万 7026 台（3.4%増）と過去最高を記録した。トップはロシアで 56 万 3369 台（17.6%増）。シェアは 41.8%。	ロシア極東の 9 割以上は日本の中古車が占め、市場を圧巻している。	ロシアの輸入関税引き上げ、世界的な金融危機の影響により、市場の縮小が懸念される。
自動車（新車）	2008 年 1～11 月の外国新車の販売台数は 191 万台で、前年同期比で 31%増。	3 位トヨタ（33%増）、5 位日産（30%増）6 位三菱（16%増）、11 位ホンダ（133%増）12 位マツダ（61%増）と各社販売台数を伸ばしている。	サンクトペテルブルク港やフィンランド経由の輸送ルート of 混雑から SLB を利用した確実な輸送の確保が課題である。
自動車部品	ロシアでは世界の自動車メーカーの工場の集積が進むことから、自動車部品の輸出の増大が想定される。	ロシア船社 FESCO、オスロマリニンググループ（OMG）、秋田港 Sea & Rail も自動車部品に期待。	直背後には自動車部品工場の集積がないことから、幅広く集荷する必要がある。

アニメ	漫画を読む習慣や伝統はないが、ロシアの子供は宮崎駿作品等の日本アニメの人気がある。	「水木しげるロード」は年間 170 万人が訪れており、「コナンの里」や「広島市まんが図書館」等の集積がある。	ロシア語への翻訳作業など日本製アニメの販売促進、PR 活動が必要。
医療サービス	ロシア人の平均寿命は短く、極東では良質な医療サービスを受けることは容易ではない。	「長寿の国」日本を大々的に PR し、ブランド化できれば、潜在的需要が見込める。	・医療機関とタイアップしたキャンペーンが必要 ・温泉リゾートと連携した人間ドックや歯科検診等、1～2 週間の滞在型医療サービスの商品開発が必要
木材（輸入）	2010 年 1 月 1 日より、原木の輸出関税が 80%に引き上げられる予定である。	関税引き上げにより、ロシアからの原木輸入は実質ストップすることとなるが、現地生産のロシア製材の販路が確保できれば一定の輸入量は見込める。	ロシア現地での合併事業による製材工場を立ち上げるか、ロシア製材を取扱う企業の誘致が必要。

注）本表における現状は、世界金融危機の影響金融危機により消費動向は鈍化しているが、中間価格帯の製品は依然売れている。景気回復局面では質の高い日本製品等への需要が再び高まると見込まれる。

- 1) ロシアで売られている果物の約 7～8 割は輸入品だと言われている。2004 年時点でロシアは米国、英国、日本、ドイツ、カナダに次ぐ世界第 6 位の果物輸入国。2005 年以降もロシアの果物市場の規模は年間 15～20%のテンポで拡大している。(ロシア NIS 調査月報 2008 年 8 月号)
- 2) 日本食品がロシア極東地域で多く出回るようになったのは 2003 年頃から。青森公立大学がロシア極東へ県産リンゴの輸出プロジェクトで成功を収めた。日本から同地域への食品輸出は年々拡大を続け、今ではウラジオストク市を中心にコシヒカリや、ジャガイモ、ニンジン、トマトといった生鮮野菜まで現地の店頭に並ぶ。(「ロシア極東における食品市場の現状と日本食品参入の可能性」、2008 年 3 月、JETRO 海外調査部)
- 3) ロシア極東の船員が日本の味を伝えた。(同上、2008 年 3 月、JETRO 海外調査部)
- 4) 2008 年 1 月 10 日にウラジオストク駅を出発し、15 日後にはモスクワ駅に到着。
- 5) ウラジオの日本食品の輸入業者 T 社は、日本の菓子製造メーカー M 社

(2) 東海港を利用する韓国との貿易品目の検討

1) 東海港利用の優位性を活かしたソウル向け貨物の検討

東海港は首都ソウルに釜山港より近く、境港～東海港フェリー利用によりソウル向けの最短コースとなり得ることから、ソウル向け貨物の東海港シフトを検討する。

2) 韓国における産業立地状況及び貿易品目の動向調査の実施

首都ソウル周辺における産業の集積状況、貿易品目の動向を把握するため、

- ・ 公開情報・統計資料の収集・とりまとめ
- ・ 韓国大使館などの機関に対してのヒアリング

を行うなど、日本国内で収集できる情報により整理を行った。

調査項目は次のとおりである。

〔１〕韓国の産業立地状況

- ① エリア（道）の区分
- ② 上場企業、大手メーカーの工業立地・分布状況
- ③ 韓国の産業構造特性
- ④ 大手メーカーの工業立地を中心に見たエリア別（道）別生産品目特性

〔２〕日本と韓国の貿易品目の動向

- ① 日本と韓国の貿易品目の概況
- ② 日本から韓国への品目別（大分類）輸出金額の推移
- ③ 日本から韓国への品目別（小分類）輸出金額、数量の推移
- ④ 韓国から日本への品目別（大分類）輸入金額の推移
- ⑤ 韓国から日本への品目別（小分類）輸入金額、数量の推移

〔３〕韓国の上場企業、大手メーカーのエリア別工場立地リスト

3) 韓国との貿易品目の検討結果

ソウル周辺（京畿道）には、

- ・ 塗料・医薬
- ・ 繊維・衣類
- ・ 映像・音響・通信機器
- ・ 食品

が集積している（表 2-2-6 参照）。

これら企業をターゲットとした製品の輸入や素材・部品輸出及び首都圏ソウルへの食品、日用品や高級なエレクトロニクス・家電等の輸出が考えられる。

- 4) 韓国における産業立地状況及び貿易品目の動向調査の内容及び結果
調査の内容及び結果は、P1-200～1-259 に示すとおりである。

表 2-2.6 韓国のエリア（道）別の産業集積状況

産業分野	京畿道		忠清北道		忠清南道		全羅北道		全羅南道		慶尚北道		慶尚南道		済州道		江原道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
自動車・造船・航空	26	24.3%	2	1.9%	12	11.2%	7	6.5%	3	2.8%	13	12.1%	42	39.3%		0.0%	2	1.9%	107	100.0%
化学	24	25.5%	1	1.1%	10	10.6%	6	6.4%	15	16.0%	6	6.4%	30	31.9%	1	1.1%	1	1.1%	94	100.0%
繊維、衣類	37	43.0%	6	7.0%	3	3.5%	4	4.7%	3	3.5%	16	18.6%	16	18.6%		0.0%	1	1.2%	86	100.0%
第一次金属	25	33.3%	1	1.3%	5	6.7%	3	4.0%	8	10.7%	15	20.0%	18	24.0%		0.0%		0.0%	75	100.0%
映像・音響・通信機器	32	48.5%	9	13.6%	8	12.1%	6	9.1%		0.0%	8	12.1%	3	4.5%		0.0%		0.0%	66	100.0%
食品	30	46.2%	4	6.2%	5	7.7%		0.0%	4	6.2%	6	9.2%	15	23.1%		0.0%	1	1.5%	65	100.0%
塗料・医薬	47	77.0%	6	9.8%	5	8.2%	1	1.6%		0.0%		0.0%	2	3.3%		0.0%		0.0%	61	100.0%
非金属鉱物	13	27.7%	5	10.5%	2	4.3%	4	8.5%	5	10.6%	7	14.9%	8	17.0%	1	2.1%	2	4.3%	47	100.0%
機械・装備製造	18	47.4%	2	5.3%	3	7.9%	2	5.3%	2	5.3%	3	7.9%	8	21.1%		0.0%		0.0%	38	100.0%
木材・木製品、パルプ、紙	22	59.5%	2	5.4%		0.0%	4	10.8%		0.0%	2	5.4%	7	18.9%		0.0%		0.0%	37	100.0%
組立金属	14	45.2%	1	3.2%		0.0%		0.0%	1	3.2%	7	22.6%	8	25.8%		0.0%		0.0%	31	100.0%
ゴム・プラスチック	10	37.0%	2	7.4%	2	7.4%	1	3.7%	1	3.7%		0.0%	11	40.7%		0.0%		0.0%	27	100.0%
電気機械・変換装置	17	58.6%	2	6.9%	3	10.3%	2	6.9%	2	6.9%	1	3.4%	2	6.9%		0.0%		0.0%	29	100.0%
石油精製品	2	18.2%		0.0%		0.0%		0.0%	1	9.1%		0.0%	8	72.7%		0.0%		0.0%	11	100.0%
精密機械	5	55.6%		0.0%	2	22.2%	1	11.1%		0.0%		0.0%	1	11.1%		0.0%		0.0%	9	100.0%
家具・その他製造品	7	87.5%	1	12.5%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	8	100.0%
事務用機器	3	60.0%		0.0%	1	20.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1	20.0%		0.0%		0.0%	5	100.0%
計	332	41.7%	44	5.5%	61	7.7%	41	5.2%	45	5.7%	84	10.6%	180	22.6%	2	0.3%	7	0.9%	796	100.0%

〔１〕 韓国の産業立地特性

① エリア（道）の区分

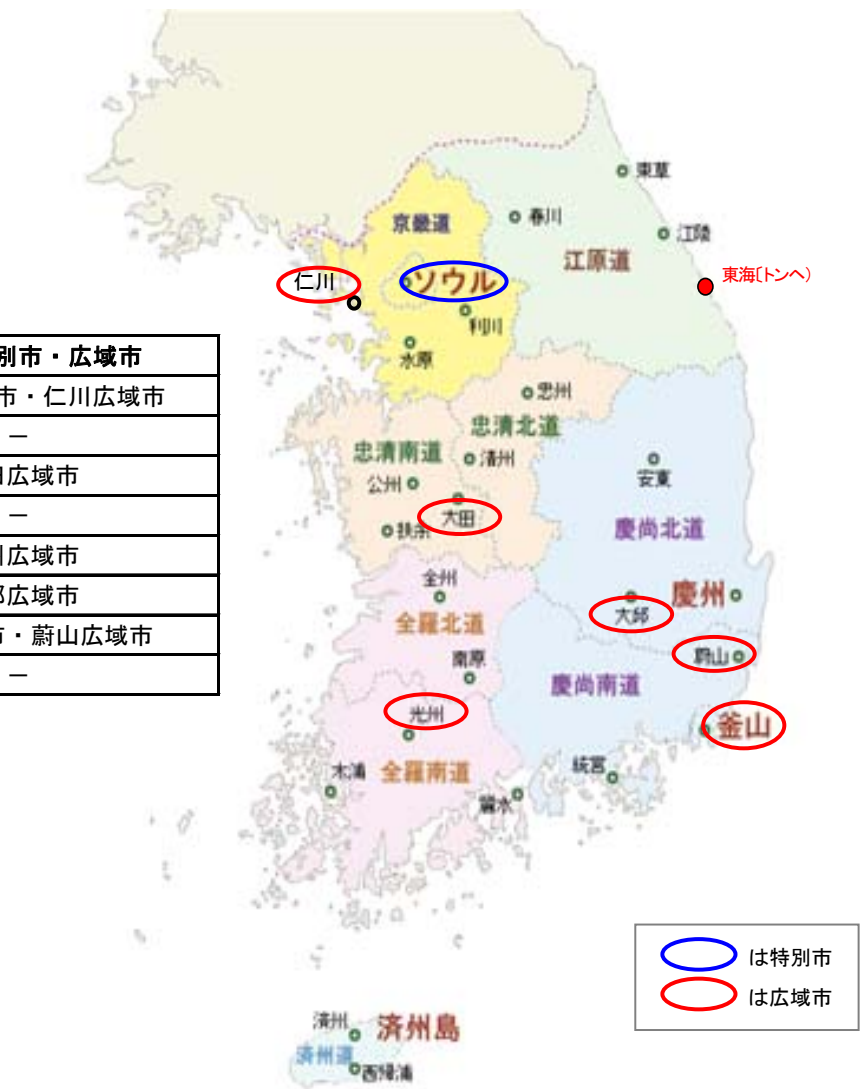
a) 韓国のエリア（道）区分

韓国の国土面積は約 9 万 9,274km²（朝鮮半島全体の 45%・日本の約 1/4）であり、人口は 2007 年現在、約 4,846 万人である。

韓国の行政区は 8 つの道（京畿道、江原道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道）、1 つの特別自治道（済州特別自治道）に分かれている。

以下に示すとおり、1 つの特別市と 6 つの広域市が道内に位置している。

道	道内の特別市・広域市
京畿道	ソウル特別市・仁川広域市
忠清北道	—
忠清南道	大田広域市
全羅北道	—
全羅南道	光州広域市
慶尚北道	大邱広域市
慶尚南道	釜山広域市・蔚山広域市
江原道	—



出所：Konest HP を元に作成

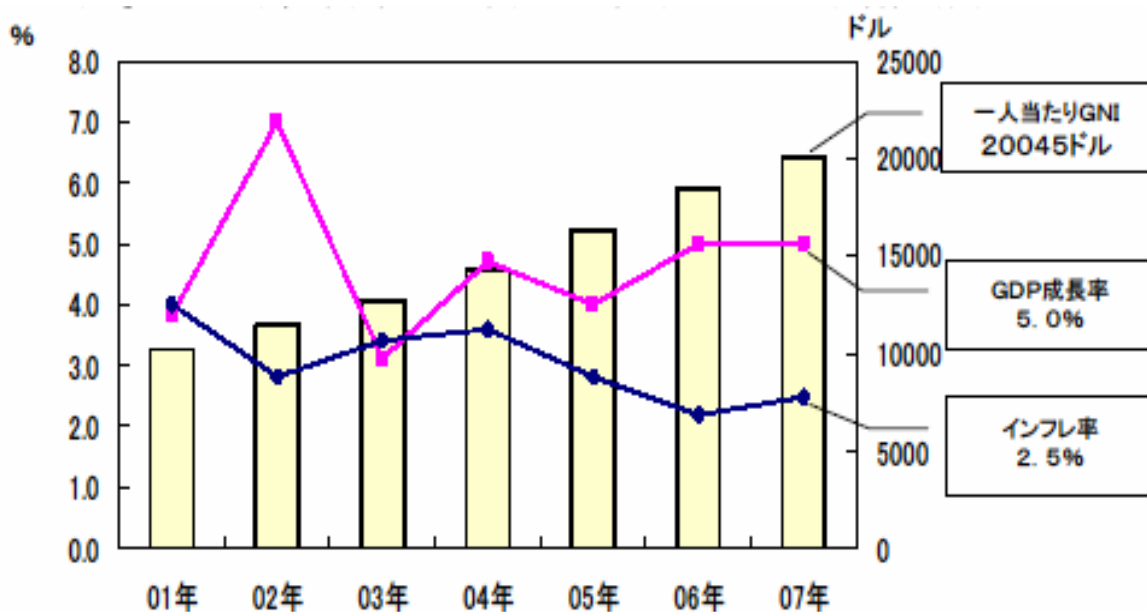
b) 経済概況

韓国の GDP 成長率をみると、2002 年に 7%という高い成長率を記録した後、2003 年以降は 4～5%の成長率を維持している。2007 年の通年での韓国の GDP 成長率は 5.0%となっている。

また、一人当たりの GNI も 2002 年以降年々順調に伸びており、2007 年の一人当たり GNI は 20,045 ドルとなっている。

ただし、直近では、2008 年の米国サブプライムローンに端を発した金融不安などから、将来的な経済情勢は明るくない情勢である。韓国銀行は 2008 年 12 月 11 日に、内外の金融・実体経済条件が悪化するなか国内の需要不振が深刻化し、成長の減速が急速に進むとの見通しを示した。内需不振が続くなかでこれまで好調を見せていた輸出も増加率がマイナスに転じ、予想より急激に鈍化する様相を示しているほか、生産面でも製造業とサービス業がともに振るわないと診断している。

【GDP成長率、インフレ率、一人当たりGNI】



出所：外務省北東アジア課
「韓国経済の現状と日韓経済関係」

c) 貿易の主要相手国及び主要品目

韓国の2007年の総貿易額は輸出約3,715億ドル、輸入は約3,568億ドルとなっている。

韓国の輸出入の金額を国別に比較すると、輸出入共に中国が1位となっている。韓国から日本への輸出は2007年約264億ドルで中国、アメリカについて3位である。

一方で韓国の日本からの輸入は約563億ドルで中国について2位となっている。

日本と韓国の貿易状況を整理すると、韓国は日本に対して約250億ドルの貿易赤字となっている。

【韓国の輸出国ベスト5（金額ベース）】

順位	国別
1位	中国
2位	アメリカ
3位	日本
4位	香港
5位	台湾

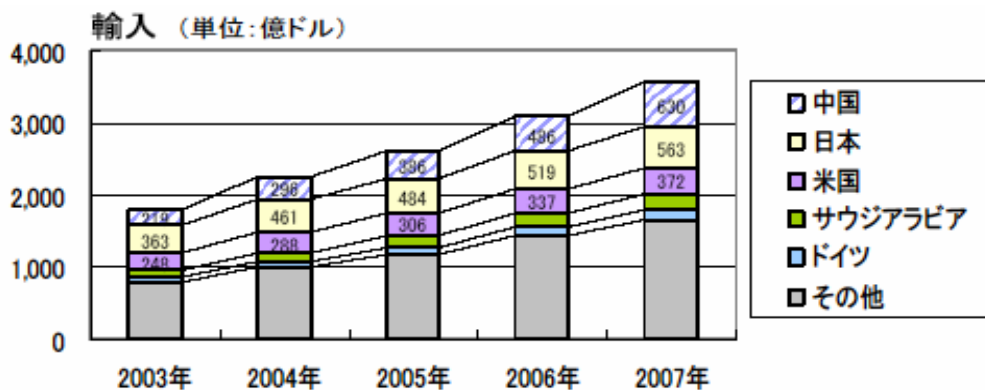
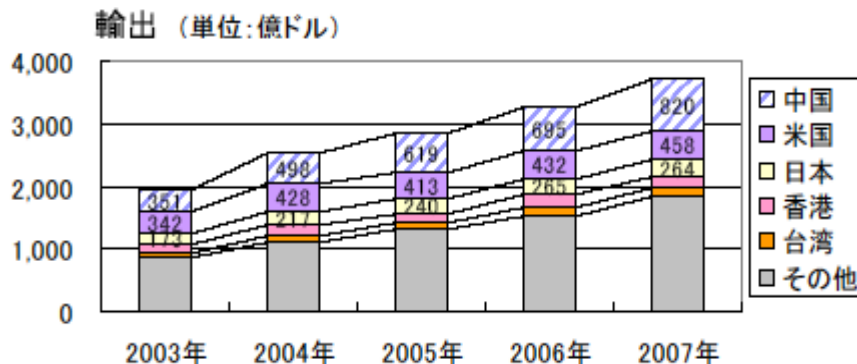
【韓国の輸入国ベスト5（金額ベース）】

順位	国別
1位	中国
2位	日本
3位	アメリカ
4位	サウジアラビア
5位	ドイツ

出所：外務省北東アジア課

【韓国の主な輸出、輸入国と輸出入金額の推移】

「韓国経済の現状と日韓経済関係」



出所：外務省北東アジア課

「韓国経済の現状と日韓経済関係」

韓国の主要産業は電気・電子機器、機械類、自動車、造船、石油化学、鉄鋼である。

韓国の主な輸出品は金額の多い順から半導体、自動車、無線通信機器となっており、精密機械類の輸出が目立っている。

一方で、韓国の主な輸入品は金額の多い順から原油、半導体、天然ガスとなっており、天然資源や半製品の輸入が目立っている。

【韓国の輸出品ベスト10（金額ベース）】

順位	品目
1位	半導体
2位	自動車
3位	無線通信機器
4位	船舶
5位	石油製品
6位	平面ディスプレイ
7位	コンピューター
8位	合成樹脂
9位	自動車部品
10位	鉄鋼版

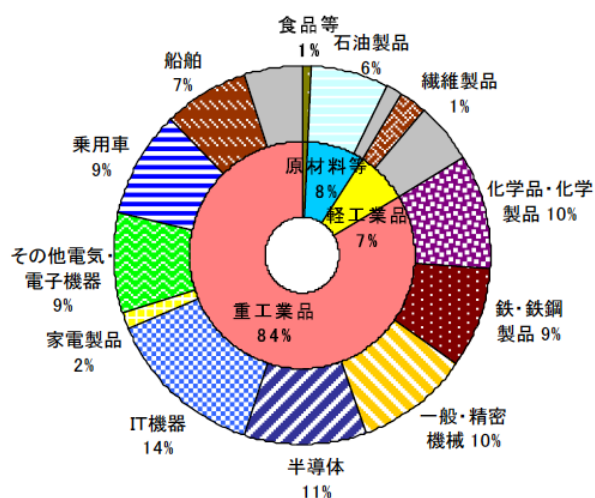
【韓国の輸入品ベスト10（金額ベース）】

順位	品目
1位	原油
2位	半導体
3位	天然ガス
4位	石油製品
5位	コンピューター
6位	鉄鋼版
7位	製造設備
8位	銅製品
9位	石炭
10位	合金・銑鉄・くず鉄

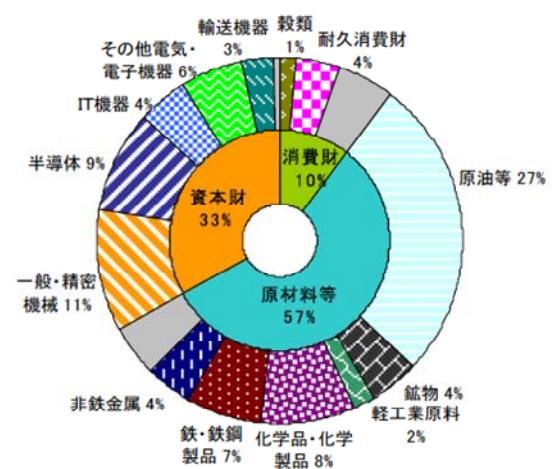
出所：外務省北東アジア課

「韓国経済の現状と日韓経済関係」

【韓国の大分類別輸出品（金額ベース）】



【韓国の大分類別輸入品（金額ベース）】



出所：外務省北東アジア課

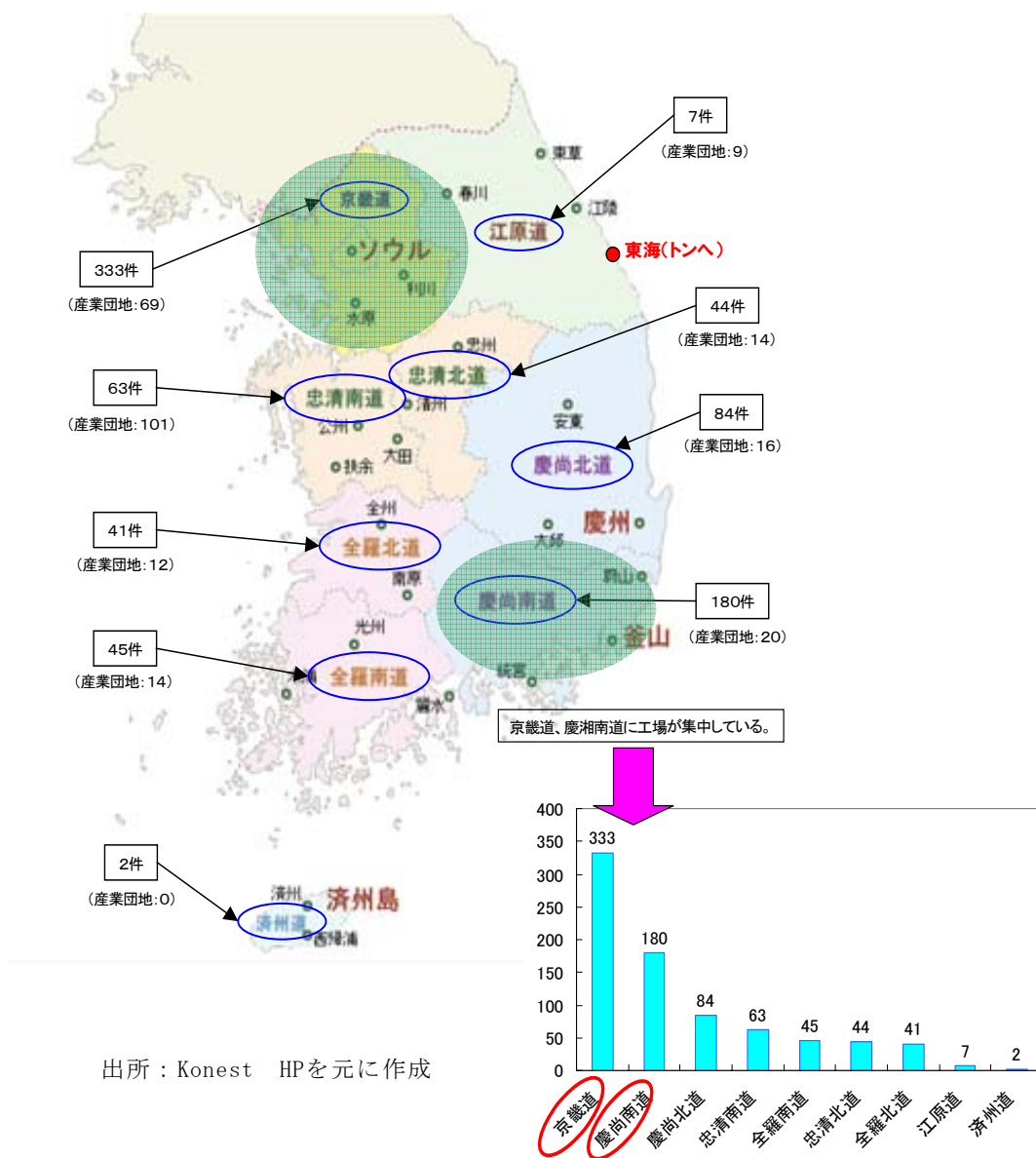
「韓国経済の現状と日韓経済関係」

② 上場企業、大手メーカーの工場立地・分布状況

『韓国企業年鑑 2005 年版』(東洋経済日報社)、『The Korea directory』(The Korea directory)、韓国上場企業各社 HP によると韓国における上場企業、その他の大手メーカーの工場は合計で 799 件であり、その「道」単位での立地分布は以下の通りとなっている。

主要工場の分布状況を見ると、首都ソウルの位置する京畿道、釜山港の位置する慶尚南道に主要工場が集中している傾向にある。

一方で東海（トンヘ）港のある江原道、特別自治道である済州道には上場企業、大手メーカーの工場は少ない傾向にある。



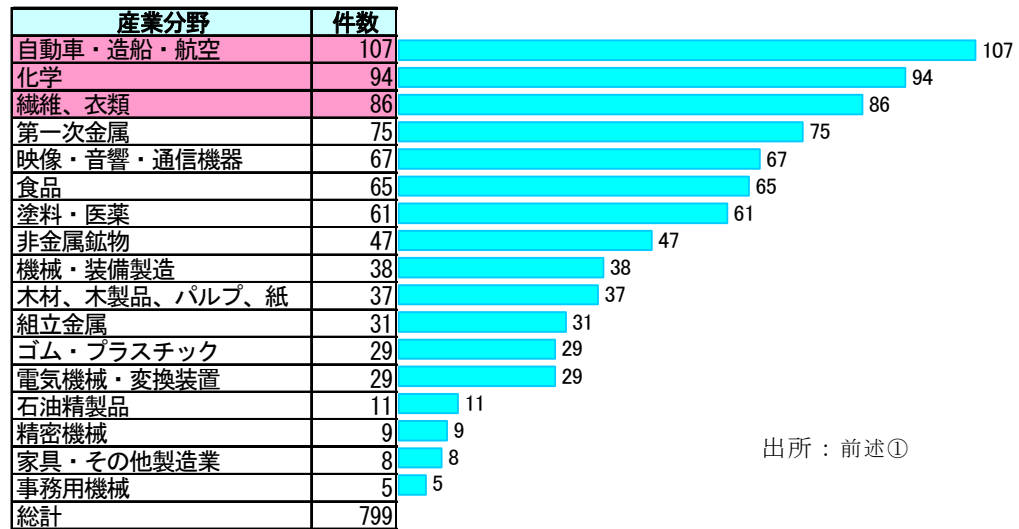
出所：『韓国企業年鑑2005年版』(東洋経済日報社)、『The Korea directory』(The Korea directory)、各社HPなどから、各企業の工場の立地状況をカウントして作成（以下、前述①と略す）

③ 韓国の産業構造特性

a) 上場企業、大手メーカーの主要工場の立地から見た韓国の産業構造特性

上場企業、大手メーカーの工場を産業分野別にまとめて集計したところ、以下の結果が得られた。

最も多いのは自動車・造船・航空（部品工場含む）で107件となっており、上場企業、大手メーカーの工場の13.4%を占めている。以下、化学、繊維・衣類、第一次金属と続いている。



b) 統計データから見た韓国の産業構造特性

製造業の業種別成長率を見ると、繊維・衣服の業種が年々減少している一方で、電気・電子機器、運輸（自動車、造船）、産業用機械類が年々伸びている。

また、石油化学、鉄鋼分野も成長率は小さいものの徐々に成長しており重化学工業が韓国の主要産業ということがわかる。

産業分野		2003	2004	2005	2006
製造業全体		5.5	11.1	7.1	8.4
軽工業	飲食料品・タバコ	-2.8	0.1	-0.7	1.2
	繊維・衣服	-12.7	-1.9	-6.5	-2.7
	印刷・出版	-3.9	-0.2	1.3	0.6
	家具とその他	2.3	0.7	0.0	-6.9
	軽工業全体	-4.4	-0.7	1.8	1.1
重化学工業	石油化学	3.3	6.9	1.5	3.7
	非金属鉱物	4.8	2.1	4.1	0.9
	金属製品	0.2	7.4	6.7	1.9
	産業用機械	5.1	9.5	9.0	10.3
	電気・電子	17.1	21.8	12.2	15.5
	運輸・設備	5.6	16.4	7.9	10.8
	重化学工業全体	8.0	13.8	8.1	9.7

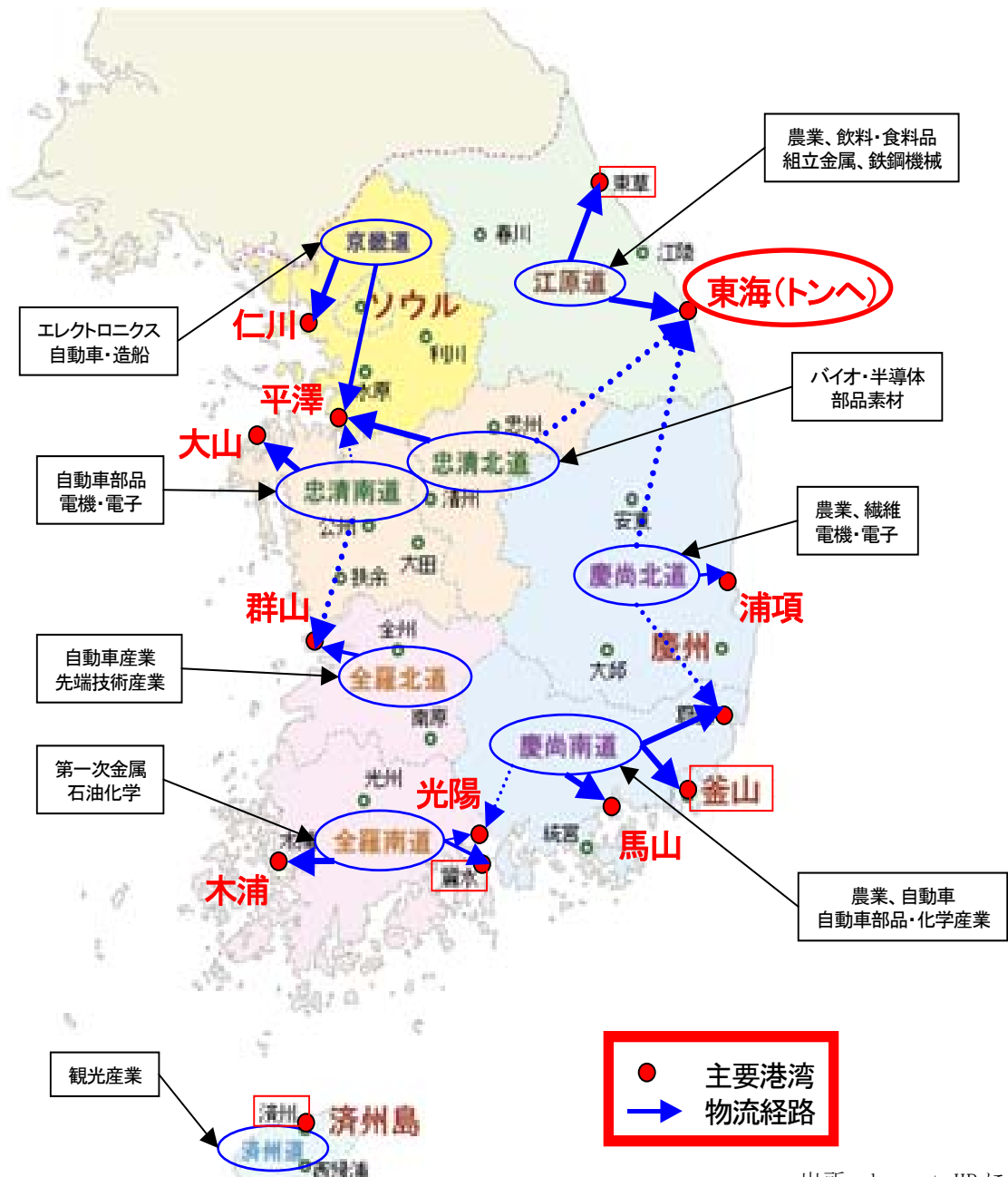
出所：ピスタ・ピー・エス「韓国の産業と市場2007」、韓国銀行「2006年年次報告書」；単位%

④ 大手メーカーの工場立地を中心に見たエリア（道）別生産品目特性

a) エリア（道）別生産品目特性

各道ごとの主要生産品をまとめると以下の通りとなっている。地域ごとの特徴を見ると、韓国のソウルを中心とした北西部（京畿道、忠清南道）では自動車産業、造船、エレクトロニクス分野が発展している。南部（全羅南道、慶尚南道）では鉄鋼、石油化学産業が発展している。東部（江原道、慶尚北道、慶尚南道）では農業が盛んであり、そのほかに食料品、繊維、部品素材産業が発展している。

海に面していない忠清北道以外の各道には主要港湾がある。忠清北道の北東部に位置する丹陽や、慶尚北道の北部に位置する栄州などは各道の主要港湾より東海の方が直線距離が近いため、東海港を利用する可能性があると考えられる。



出所：konest HP に作成

b) 京畿道

項目	内容
産業団地	69 箇所
発展産業	ハイテク産業・エレクトロニクス・自動車・造船
交通・港湾	2つの国際貿易港（仁川、平沢）、2つの国際空港（仁川、金浦）を有し、物流環境が整備されている
工場立地	①塗料・医薬（47 件） ②繊維・衣類（37 件） ③映像・音響・通信 機器（32 件）
備考	京畿道内の生産高は韓国全体の 20%以上を占める

【京畿道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数
塗料・医薬	47
繊維・衣類	37
映像・音響・通信機器	32
食品	30
自動車・造船・航空	26
第一次金属	25
化学	24
木材、木製品、パルプ、紙	22
機械・装備製造	18
電気機械・変換装置	17
組立金属	14
非金属鉱物	13
ゴム・プラスチック	10
家具・その他製造業	7
精密機械	5
事務用機械	3
石油精製品	2
総計	332

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

c) 忠清北道

項目	内容
産業団地	14 箇所
発展産業	バイオ・半導体・次世代電池・部品素材
交通・港湾	韓国内の 8 つの「道」で唯一海に面していない
工場立地	①映像・音響・通信機器（9 件） ②塗料・医薬、繊維・衣類（6 件） ③非金属鉱物（5 件）
備考	忠清北道では北部（陰城、忠州、清州など）に産業が集積

【忠清北道】



【産業分野別工場立地状況】

産業分野	件数
映像・音響・通信機器	9
塗料・医薬	6
繊維・衣類	6
非金属鉱物	5
食品	4
自動車・造船・航空	2
木材、木製品、パルプ、紙	2
機械・装備製造	2
電気機械・変換装置	2
ゴム・プラスチック	2
第一次金属	1
化学	1
組立金属	1
家具・その他製造業	1
総計	44

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

d) 忠清南道

項目	内容
産業団地	101 箇所（主な産業団地：天安 3 地方産業団地、牙山国家産業団地古岱・富谷地区、月山地方産業団地、湯井テクノコンプレックス）
発展産業	自動車部品・電気・電子
交通・港湾	東西南北軸を相互連結する格子型道路網 釜山・ソウルへの鉄道網 5 つの港湾（大山港、 保寧新港、 唐津港、 泰安港、 長項港 ）
工場立地	①自動車・造船・航空(12 件) ②化学（10 件） ③映像・音響・通信機器（8 件）
備考	忠清南道の製造企業体は 5,544 社

【忠清南道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数
自動車・造船・航空	12
化学	10
映像・音響・通信機器	8
塗料・医薬	5
食品	5
第一次金属	5
繊維・衣類	3
機械・装備製造	3
電気機械・変換装置	3
非金属鉱物	2
ゴム・プラスチック	2
精密機械	2
事務用機械	1
総計	63

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

e) 全羅北道

項目	内容
産業団地	12 箇所
発展産業	自動車・コンピューター・製紙・板紙・化学製品・繊維
交通・港湾	韓国国内の「道」で中国大陸と最短距離に位置している
工場立地	①自動車・造船・航空(7 件) ②化学 (6 件) ③映像・音響・通信機器 (6 件)
備考	1990 年代に現代自動車、大宇自動車の生産工場が全州、群山に入居以来、自動車産業が全羅北道の中心産業 韓国西海岸第一の貿易産業中心都市と言われる群山では、地理的利点を生かし中国との貿易が盛ん

【全羅北道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数
自動車・造船・航空	7
映像・音響・通信機器	6
化学	6
繊維・衣類	4
木材、木製品、パルプ、紙	4
非金属鉱物	4
第一次金属	3
電気機械・変換装置	2
機械・装備製造	2
塗料・医薬	1
ゴム・プラスチック	1
精密機械	1
総計	41

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

f) 全羅南道

項目	内容
産業団地	14 箇所
発展産業	第一次金属・石油化学産業
交通・港湾	鉄道網、道路網が整備されており、ソウル、光州、大田といった主要都市と接続 3 つの空港（務安国際空港、木浦空港、麗水空港）、2 つの港湾（光陽コンテナ埠頭＜2～5 万トン級 33 船席＞、木浦新外港＜2～3 万トン級 12 船席＞）を有し物流環境が整備されている
工場立地	①化学（15 件） ②第一次金属（8 件） ③非金属鉱物（5 件）
備考	世界最大の製鉄所である光陽製鉄所(1,580 万トン/年)や韓国国内最大の石油化学団地である麗水石油科学団地(444 万トン/年)が入居している。

【全羅南道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数
化学	15
第一次金属	8
非金属鉱物	5
食品	4
繊維、衣類	3
自動車・造船・航空	3
機械・装備製造	2
電気機械・変換装置	2
組立金属	1
ゴム・プラスチック	1
石油精製品	1
総計	45

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

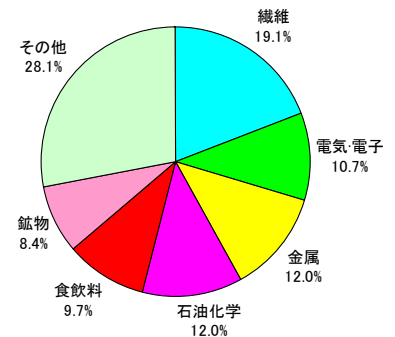
g) 慶尚北道

項目	内容
産業団地	16 箇所
発展産業	電気・電子、鉄鋼・金属、繊維、農業
交通・港湾	3つの空港（大邱国際空港、蔚珍・浦項構内空港）と年間に 4,400 万トンの貨物を処理する浦項港湾 鉄道は中国・ヨーロッパと接続
工場立地	①繊維・衣類（16 件） ②第一次金属（15 件） ③自動車・造船・航空（13 件）
備考	慶尚北道の地域内の企業は計 9,518 社うち、繊維業が 1,818 社（19.1%）で一番多い 生産額では電機・電子業が 71,439 億ウォンで最も高い 道民の 21%が農業に従事（りんご・ぶどう・もも・唐辛子・瓜は韓国一の生産量）

【慶尚北道の産業分野別企業数、生産高】

産業分野	企業数(社)	従業員(人)	生産額(億ウォン)
繊維	1,818	28,656	4,859.30
電気・電子	1,020	69,996	71,439
金属	1,144	36,650	31,126.40
石油化学	1,142	22,982	6,446.50
食飲料	925	11,967	2,598.30
鉱物	800	14,148	4,981
その他	2,671	51,592	13,669.40
合計	9,520	236,191	134,849.90

【慶尚北道の産業別企業数】



【慶尚北道】



【産業分野別工場立地状況】

産業分野	件数
繊維・衣類	16
第一次金属	15
自動車・造船・航空	13
映像・音響・通信機器	8
組立金属	7
非金属鉱物	7
食品	6
化学	6
機械・装備製造	3
木材、木製品、パルプ、紙	2
電気機械・変換装置	1
総計	84

出所：Konest HPを元に作成

出所：前述①

h) 慶尚南道

項目	内容
産業団地	20 箇所（8 箇所の国家産業団地と 12 箇所の産業工業団地）
発展産業	自動車・自動車部品・化学・農業
交通・港湾	3 箇所の空港（金浦国際空港、蔚山、晋州国内空港） 道内主要都市（昌原、釜山、蔚山）とソウルを結ぶ交通網
工場立地	①自動車・造船・航空（42 件） ②化学（30 件） ③第一次金属（18 件）
備考	キュウリ、トマト、ナス、イチゴ、青トウガラシ、パプリカ、スイカ、バラ、キムチ、豚肉を 10 大輸出戦略品目と位置づけ、国内で最も農業が盛んな地域

【全羅南道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数
自動車・造船・航空	42
化学	30
第一次金属	18
繊維・衣類	16
食品	15
ゴム・プラスチック	11
機械・装備製造	8
組立金属	8
非金属鉱物	8
石油精製品	8
木材・木製品、パルプ、紙	7
映像・音響・通信機器	3
塗料・医薬	2
電気機械・変換装置	2
精密機械	1
事務用機械	1
総計	180

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

i) 済州道

項目	内容
産業団地	先端科学技術団地のみ
発展産業	観光産業
交通・港湾	済州国際空港と済州港 航路は至釜山、木浦
工場立地	東部韓農化学（複合飼料）と東洋メジャー（レミコン）の2箇所のみ
備考	観光団地が23箇所あり、観光地としての認知が定着

【済州道】



出所：Konest HPを元に作成

j) 江原道

項目	内容
産業団地	9 箇所（1 箇所の国家産業団地と 8 箇所の地方産業団地）
発展産業	組立金属、飲料食料品、鉄鋼機械、電機・電子、観光
交通・港湾	3 箇所の空港（襄陽国際空港、原州、束草、江陵空港）と 2 箇所の港湾（東海港、束草港）
工場立地	①非金属鉱物（2 件） ②自動車・造船・航空（2 件）
備考	ソウル、大邱、牙山などの主要工業地域との交通網の新設、整備が急速に進展 環境保護の意識が強く、重化学工業よりも食料品・繊維関係の企業が目立つ

【江原道】

【産業分野別工場立地状況】



産業分野	件数	
非金属鉱物	2	2
自動車・造船・航空	2	2
化学	1	1
繊維、衣類	1	1
食品	1	1
総計	7	

出所：前述①

出所：Konest HPを元に作成

※東海港周辺（江原道）の産業団地の現状

①東海北坪国家産業団地

江原道東海市グホ洞の一帯に造成された国家産業団地である。資源備蓄施設 3 社、発電所 1 社、物流倉庫 1 社の計 5 企業が入居している。

②横城地方産業団地

自動車及びトレーラ製造業、映像・音響及び通信装備製造業、事務計算及び会計用機械製造業、家具及びその他の製造業を入居対象としているが、現在のところ入居企業はない。

③洪川北方地方産業団地

韓国国内で OB ビールとシェアを二分しているハイトビールのみが入居している。工場の敷地面積は 438,000m² で、従業員は 365 人、年間の生産額は 4 兆 6,780 億ウォンとなっている。

④原州牛山地方産業団地

27 の企業体が稼動している。その業種別の内訳は以下の通りである。東海港まで 164km の位置であり、港湾は東海港を利用している。産業団地全体の生産額は 690 億ウォン、輸出額 100 万ドルとなっている。

区分	計	飲料・食品	木材・紙	石油化学	非金属	1次金属	組立金属	電機・電子	その他
稼動企業数	27	4	1	1	3	2	2	3	11
労働者数	1789	701	100	27	49	15	34	563	300

出所：江南道 HP

⑤原州文幕地方産業団地

16 の企業体が稼動している。その業種別の内訳は以下の通りである。東海港まで 175km の位置であり、港湾は東海港を利用している。産業団地全体の生産額は 9,870 億ウォン、輸出額は 1,300 万ドルとなっている。

区分	計	飲料・食品	非金属	1次金属	運送・装備	その他
稼動企業数	16	2	4	6	3	1
労働者数	881	65	358	131	246	69

出所：江南道 HP

⑥東海北坪地方産業団地

51 の企業体が稼動している。その業種別の内訳は以下の通りである。東海港まで 1.5km の位置であり、港湾は東海港を利用している。産業団地全体の生産額は 2,180 億ウォン、輸出額 30 万ドルとなっている。

区分	計	飲料・食品	木材・紙	非金属	1次金属	鉄鋼機械	電機・電子	運送・装備	その他
稼動企業数	51	19	2	6	1	15	4	0	4
労働者数	541	246	26	41	15	159	21	0	33

出所：江南道 HP

⑦江陵中小産業団地

144 の企業が稼働している。その業種別の内訳は以下の通りである。東海港まで 40km の位置であり、港湾は東海港を利用している。産業団地全体の生産額は 7,120 億ウォン、輸出額は 6,700 ドルとなっている。

区分	計	木材・紙	石油化学	非金属	1次金属	組立金属	電機・電子	運送・装備	その他
稼働企業数	144	9	1	1	14	29	12	6	72
労働者数	2306	37	7	1	30	282	753	43	1153

出所：江南道 HP

⑧江陵科学地方産業団地

新素材、精密化学、コンピューター産業、生物産業の企業を誘致しているが、現在入居企業はない。

⑨春川地方産業団地

121 の企業が稼働している。その業種別の内訳は以下の通りである。貨物の運搬は昭陽湖(春川⇄楊口、春川⇄麟蹄)水路から陸路を経て、港湾は東草港を利用している。産業団地全体の生産額は 1 兆 3,580 億ウォンであり、輸出額は 8,700 万ドルとなっている。

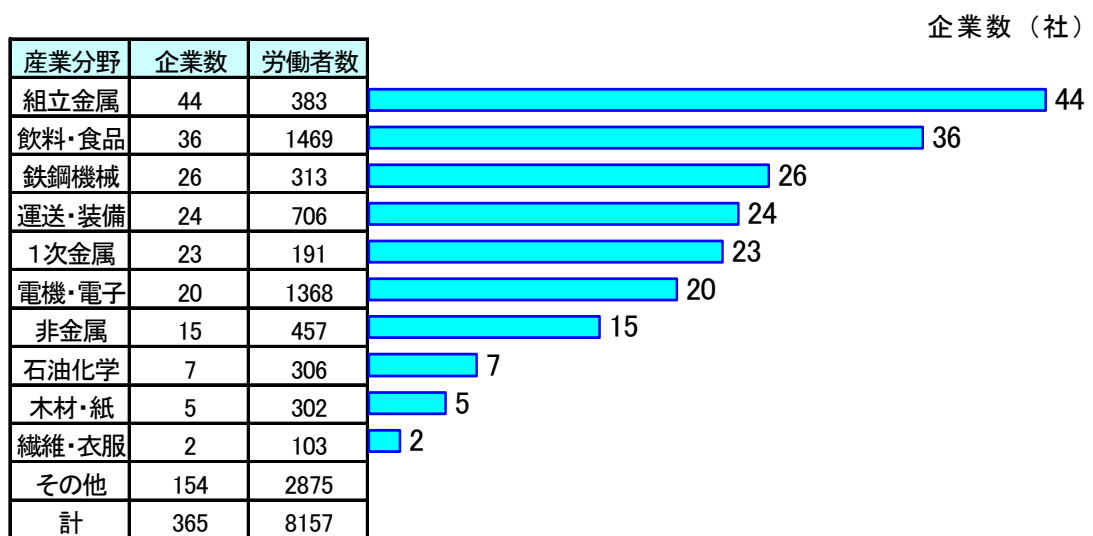
区分	計	飲料・食品	繊維・衣服	木材・紙	石油化学	非金属	1次金属	組立金属	鉄鋼機械	電機・電子	運送・装備	その他
稼働企業数	121	10	2	2	5	1	0	13	11	1	15	61
労働者数	2640	92	103	176	272	8	0	67	154	31	417	1320

出所：江南道 HP

産業団地ごとの入居企業の産業分野を整理すると以下の通りである。組立金属の企業が 44 社と最も多く、ついで飲料・食品の企業が 36 社、鉄鋼機械の企業が 26 社と続いている。一方で従業員数で見ると飲料・食品の企業が 1,469 人と最も多く、ついで電機・電子の企業が 1,368 人と続いている。

東海港の背後地域として、これらの産業団地では組立金属（金属部品）、飲料食品、鉄鋼機械、電機・電子産業が盛んである。

なお、江原道の 9 産業団地の生産額の合計は 8 兆 6,430 億ウォンとなっている。また、江原道の HP によると、2005 年の江原道の輸入は 1,980,000 ドル、輸出は 2,346,000 ドルとなっている。



出所：江南道 HPを元に作成

※東海港付近の交通網

東西高速道路建設は現在進行中(ソウル～春川：2009 年、春川～襄陽：実施設計中)また、京春線鉄道の複線化（ソウル～原州間の複線電鉄化及び原州～江陵間の鉄道建設）は 2009 年完工予定。

ソウル、大邱、牙山などの主要工業地域との交通網が新設、整備されることによって、今後さらなる産業の発展に繋がることが想定される。



〔2〕日本⇄韓国の貿易品目の動向

1) 日本と韓国の貿易品目の概況

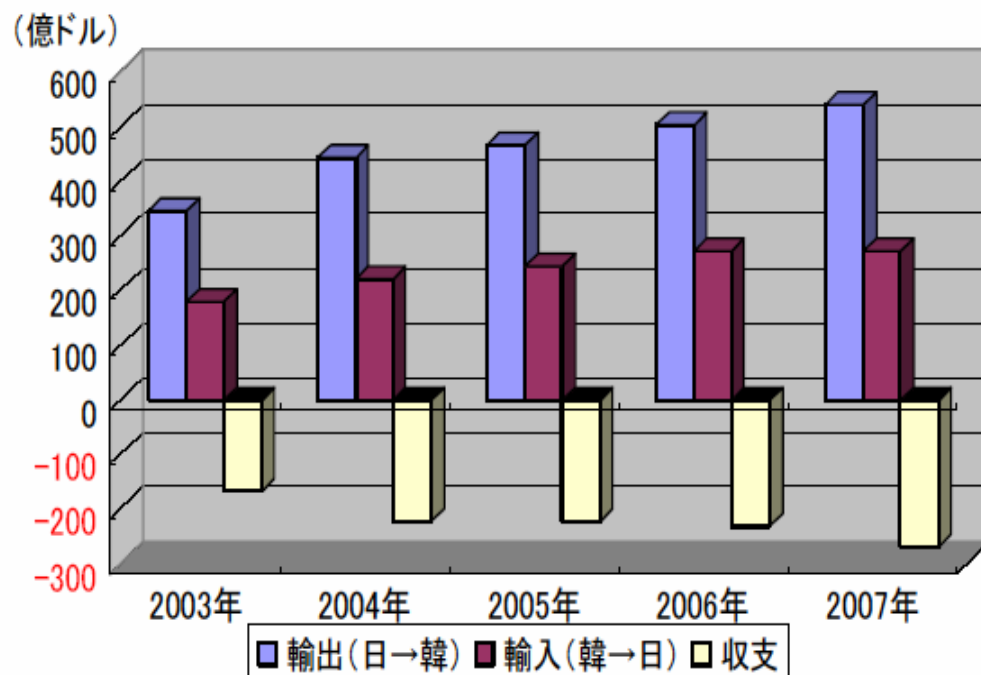
① 日本と韓国の貿易品目の概況

日本と韓国の貿易は年々に拡大しており、2007年の貿易総額は約814億ドルとなっている。2006年と比較すると前年比で4.8%増加している。

電子・電気機器、自動車、鉄鋼、船舶等、日本と韓国の産業構造は似通っており、産業内貿易が多くを占めるという特徴が挙げられる。

韓国は半導体、平面ディスプレイなどの主力輸出品を生産するための中間財（部品、素材）と資本財（製造設備）を日本に依存しており、慢性的な対日赤字（2007年は輸出約273億ドル、輸入約541億ドルとなっており、268億ドルの赤字）となっている。

背景要因として、韓国の好調な対世界輸出による日本からの中間財の輸入増加、対日輸出の伸び悩み、日本からの消費財の輸入増加等が挙げられる。

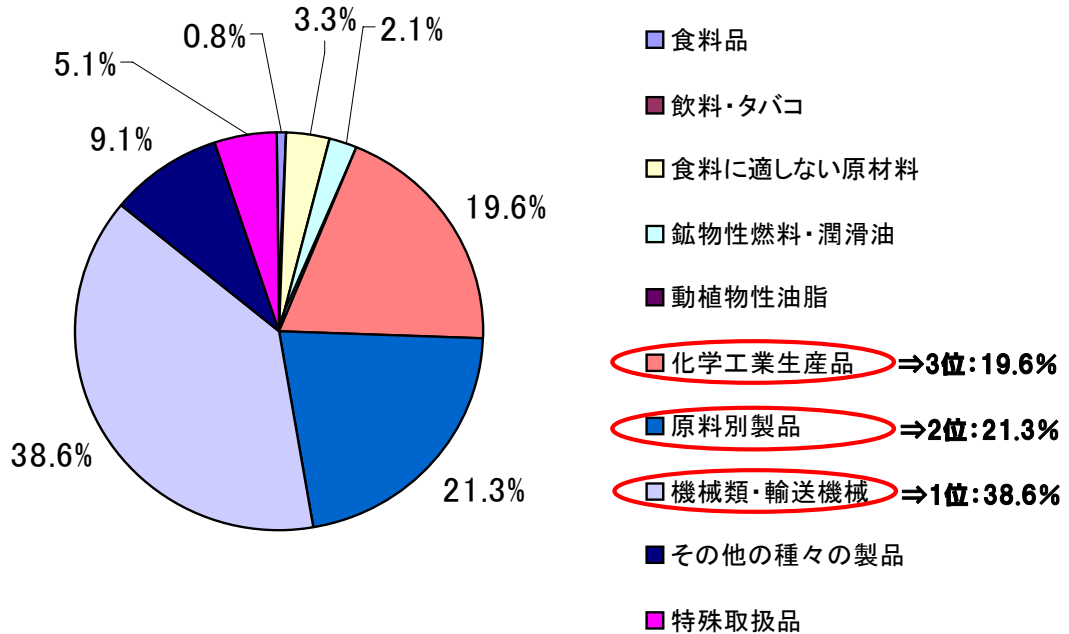


出所：外務省北東アジア課

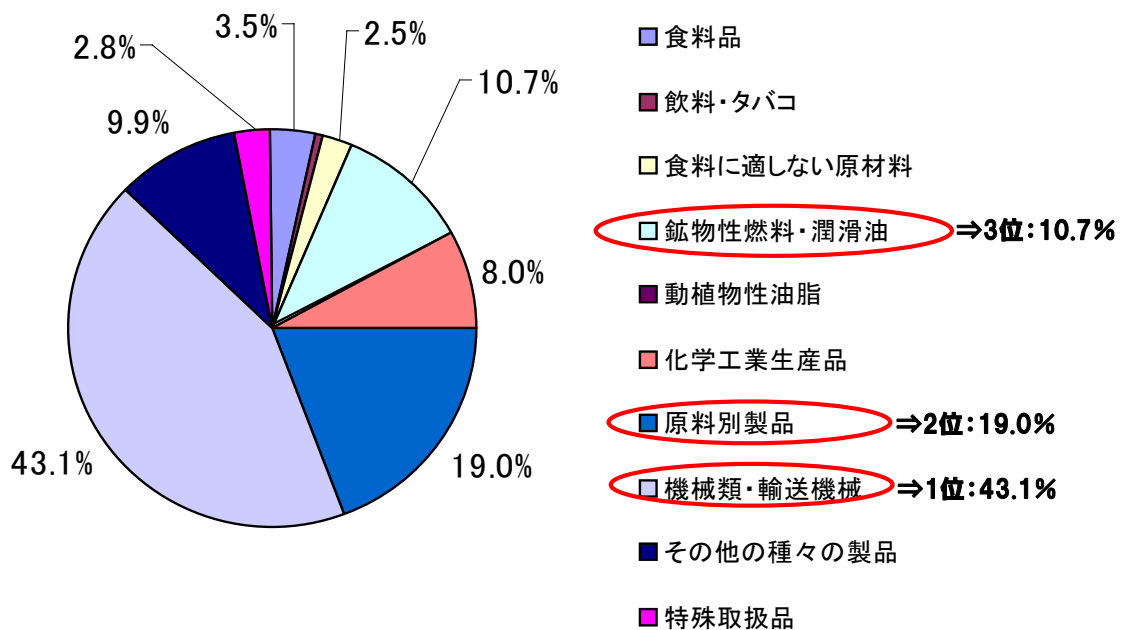
「韓国経済の現状と日韓経済関係」

② 日本から見た韓国との大分類別輸出品・輸入品

日本の韓国への輸出(金額ベース)



日本の韓国からの輸入(金額ベース)



出所：「世界各国間貿易統計年報2008」を元に作成

③ 日本から見た韓国との品目別輸出品・輸入品ベスト 20

【輸出金額ベスト 20】

品目	輸出金額(百万円)	
熱電子管・半導体	497,609	497,609
その他の産業用機械	466,407	466,407
鉄鋼圧延製品(無被覆)	333,537	333,537
機用品・再輸入品	314,273	314,273
他の化学工業生産品	290,977	290,977
プラスチックの板・フィルム	259,035	259,035
炭化水素・同誘導体	217,995	217,995
測定・分析・制御機器	196,397	196,397
その他の電気機器	188,383	188,383
回路開閉機器印刷回路	181,370	181,370
鉄くず	154,992	154,992
鉄鋼インゴット・半製品	137,242	137,242
その他の光学機器	126,699	126,699
自動車用部分品	119,468	119,468
合金鉄圧延製品	116,066	116,066
鉄鋼の棒・形鋼	110,504	110,504
通信機器	97,727	97,727
銅	92,415	92,415
ガラス	85,509	85,509
石油製品	74,531	74,531

【輸入金額ベスト 20】

品目	輸入金額(百万円)	
熱電子管・半導体	569,855	569,855
石油製品	319,197	319,197
通信機器	237,684	237,684
光学機器	172,810	172,810
鉄鋼圧延製品(無被覆)	102,936	102,936
機用品・再輸入品	86,217	86,217
合金鉄圧延製品	77,089	77,089
事務用機器の部分品	54,242	54,242
魚(生鮮・冷蔵・冷凍)	44,772	44,772
自動車用部分品	44,459	44,459
その他の電気機器	42,999	42,999
機械類の部品(除電気)	41,875	41,875
鉄鋼・アルミ製構造物	39,321	39,321
その他の産業用機械	38,232	38,232
銀・白金属金属	33,576	33,576
プラスチックの板・フィルム	33,111	33,111
自動データ処理機械	32,434	32,434
炭化水素・同誘導体	32,110	32,110
鉄鋼圧延製品(被覆)	31,775	31,775
テレビ受像機	31,515	31,515

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」を元に作成

2) 日本から韓国への品目別（大分類）輸出金額の推移

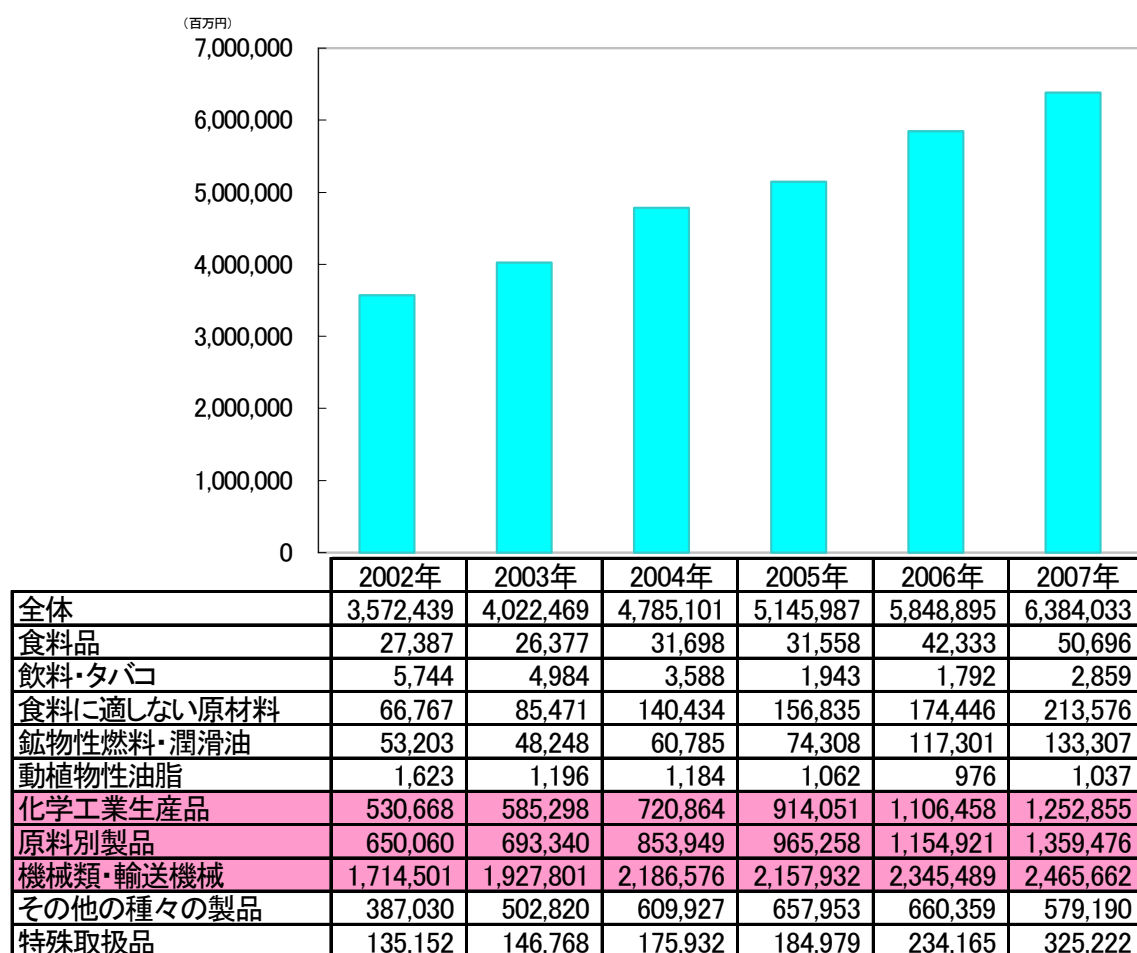
2002 年以降、日本から韓国への輸出金額は年々10%程度伸びており、2007 年の日本から韓国への輸出金額は 6 兆 3,840 億 3,300 万円となっている。

大項目ごとに見ると、日本から韓国への輸出金額で最もボリュームが大きいのは機械類・輸送機械であり、輸出金額全体の 4 割弱を占めている。ついで、原料別製品、化学工業生産品が多く、以上の 3 つのカテゴリーで輸出金額全体の 8 割程度を占めている。

一方で、食料品や飲料・タバコ、鉱物性燃料等はカテゴリーごとの輸出量はいずれも増加しているが、輸出金額全体における構成比では小さい。

金額ベースでみると、機械類・輸送機械、原料別製品、化学工業生産品が日本から韓国への輸出における中心カテゴリーとなっていることが分かる。

【日本→韓国への輸出金額の推移】



出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」を元に作成

3) 日本から韓国への品目別（小分類）輸出金額、数量の推移

① 食料品・生きた動物

日本から韓国への「食料品・生きた動物」の中で輸出金額が多いのは「魚（生鮮・冷蔵・冷凍）」であり、輸出金額は同カテゴリーにおいて 50.1%にあたる 253 億 8,700 万円を占めている。

ついで輸出金額ベースでは甲殻類・軟体動物、飼料、魚・甲殻類の調製品と続いており、同カテゴリーでは水産物の輸出が中心となっていることが分かる。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料品・生きた動物	27,387	26,377	31,698	31,558	42,333	50,696
生きた動物	155	222	253	391	305	361
肉類の調製品	33	22	21	23	22	25
ミルク・クリーム	7	65	83	28	69	107
チーズ・カード	-	-	-	-	16	21
鳥卵・卵黄	114	102	86	54	36	57
魚(生鮮・冷蔵・冷凍)	14,272	11,999	16,007	14,423	21,776	25,387
魚(乾燥・塩蔵)	158	36	43	160	83	65
甲殻類・軟体動物	1,813	2,602	2,602	2,474	3,005	4,300
魚・甲殻類の調製品	334	421	750	1,322	1,456	1,883
小麦・メスリンの粉	-	-	-	-	4	29
穀物・野菜粉の調製品	325	432	454	574	730	1,631
野菜(生鮮・冷蔵・冷凍)	71	40	60	20	21	44
野菜の調製品	175	199	172	172	186	233
果実の調製品	34	51	94	96	154	142
果実・野菜のジュース	190	196	223	237	178	187
砂糖・はちみつ	515	758	798	1,072	1,220	1,500
砂糖菓子	647	783	792	718	639	770
コーヒー・同代用物	113	361	104	160	211	445
ココア	94	103	96	55	56	55
チョコレート・ココア含有調製品	178	161	165	187	640	1,013
茶・マテ	105	207	246	470	464	430
香辛料	81	58	71	106	99	98
飼料	2,188	2,319	2,205	1,768	2,552	2,452
マーガリン・ショートニング	258	150	177	382	475	528
その他の調整食料品	5,527	5,090	6,196	6,666	7,936	8,933

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料品・生きた動物	NO	-	-	-	-	-	-
生きた動物	KG	82,877	92,490	92,728	146,717	172,685	169,553
肉類の調製品	KG	31,930	17,516	20,260	20,841	14,822	18,410
ミルク・クリーム	KG	11,606	1,104,861	120,844	95,479	93,235	136,898
チーズ・カード	KG	-	-	-	-	11,042	17,198
鳥卵・卵黄	KG	19,783	16,465	14,610	9,300	6,000	11,850
魚(生鮮・冷蔵・冷凍)	MT	60,553	54,332	98,488	69,299	112,822	109,912
魚(乾燥・塩蔵)	KG	252,578	147,979	76,279	253,053	60,342	85,904
甲殻類・軟体動物	MT	5,296	12,560	12,711	7,971	7,844	10,917
魚・甲殻類の調製品	KG	321,628	368,821	670,657	1,002,368	1,046,556	1,249,808
小麦・メスリンの粉	MT	-	-	-	-	37	239
穀物・野菜粉の調製品	KG	609,549	701,259	824,486	904,859	1,106,308	1,999,714
野菜(生鮮・冷蔵・冷凍)	KG	192,037	194,693	350,687	203,410	161,615	337,514
野菜の調製品	KG	382,930	351,476	359,436	307,805	344,297	447,109
果実の調製品	KG	53,558	80,970	144,125	187,790	280,436	238,292
果実・野菜のジュース	L	266,845	290,211	304,807	705,384	243,452	204,926
砂糖・はちみつ	KG	1,298,703	1,156,837	1,072,653	1,453,983	2,129	10,489
砂糖菓子	KG	1,113,396	1,295,152	1,365,331	1,283,239	1,073,065	1,294,497
コーヒー・同代用物	KG	89,697	318,097	75,911	109,344	154,557	366,037
ココア	KG	302,880	258,999	245,455	148,194	148,755	147,251
チョコレート・ココア含有調製品	KG	315,829	170,497	205,206	293,259	758,148	926,227
茶・マテ	KG	54,307	625,545	113,788	127,914	124,359	218,740
香辛料	KG	72,430	53,953	87,390	98,199	91,040	78,740
飼料	MT	8,664	9,918	18,238	6,059	13,067	9,556
マーガリン・ショートニング	KG	363,806	223,584	529,954	1,375,494	1,779,119	1,738,986
その他の調整食料品	KG	6,599,805	7,099,426	7,246,276	7,740,446	9,712	12,648

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

② 飲料・たばこ

アルコール飲料の輸出金額が増加傾向であり、2007 年の輸出金額は 11 億 3,600 万円となっている。しかし、非アルコール飲料・たばこに関しては輸出金額の推移も横ばいであり、同カテゴリーにおける構成比も低い。

特に製造たばこの輸出金額はここ 6 年間で 8 割以上も輸出金額が落ち込んでいる。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
飲料・たばこ	5,744	4,984	3,588	1,943	1,792	2,859
非アルコール飲料	209	312	478	409	290	377
アルコール飲料	410	465	414	469	859	1,136
葉たばこ	-	-	237	390	388	511
製造たばこ	5,125	4,207	2,459	675	255	835

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
飲料・たばこ	-	-	-	-	-	-	-
非アルコール飲料	L	899,771	1,625,138	2,755,250	2,565,092	1,605,201	1,402,679
アルコール飲料	L	2,189,360	2,511,694	2,088,986	2,084,147	3,308,859	5,074,303
葉たばこ	KG	-	-	268,290	465,840	460,350	559,350
製造たばこ	TH	3,869,890	3,625,740	2,238,310	493,648	212,380	570,227

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

③ 食料に適しない原材料

食料に適しない原材料の中では、「鉄くず」の輸出金額が 1,549 億 9,200 万円となっており、同カテゴリーの 72.6%を占めている。また、合成ゴム、非鉄卑金属のくずの輸出金額も 150 億円を上回っている。

一方で、パルプ・くず紙、人造繊維短繊維は輸出金額が減少傾向にある。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料に適しない原材料	66,767	85,471	140,434	156,835	174,446	213,576
原皮	404	346	420	1,115	1,342	767
採油用の種(ソフト凝固)	-	-	-	-	9	483
天然ゴム・ラテックス	147	111	95	53	68	59
合成ゴム	9,793	11,887	12,328	13,591	14,843	16,211
パルプ用材	-	-	-	-	11	22
薪材及び木炭	-	-	1	28	-	-
木材(粗・角状)	-	-	39	54	21	153
製材・まくら木	30	28	28	32	71	190
パルプ・くず紙	3,416	3,915	4,133	4,655	3,680	3,080
綿	41	39	41	48	-	-
合成繊維の短繊維	3,637	3,293	2,301	2,979	2,554	1,961
人造繊維短繊維・くず	2,645	2,813	2,318	1,970	2,567	3,100
繊維製品の中古・ぼろ	274	248	313	507	632	722
粗肥料	17	26	28	80	146	138
石・砂利・砂	330	428	639	1,151	1,425	1,253
硫黄・硫化鉄鉱	296	448	686	779	756	572
天然研磨材料	603	473	444	487	499	574
その他の粗鉱物	2,529	2,837	3,517	3,556	4,355	6,621
鉄くず	27,401	41,959	85,002	91,367	125,563	154,992
銅鉱	-	-	0	34	147	192
ニッケル鉱	8,413	10,988	21,030	22,369	-	-
アルミニウム鉱	2,695	2,599	2,810	3,461	3,947	3,801
他の卑金属の鉱石	-	-	136	408	141	33
非鉄卑金属のくず	840	752	1,522	5,063	8,787	15,346
他の動物性原材料	360	220	136	176	94	168
他の植物性原材料	2,896	2,061	2,467	2,872	2,788	3,108

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料に適しない原材料	-	-	-	-	-	-	-
原皮	MT	2,072	2,012	2,533	7,349	8,182	4,210
採油用の種(ソフト凝固)	MT	-	-	-	-	1	11,507
天然ゴム・ラテックス	KG	150,735	105,816	83,877	51,106	70,363	60,517
合成ゴム	MT	82,949	182,999	170,727	126,948	107,263	80,042
パルプ用材	MT	-	-	-	-	5	733
薪材及び木炭	MT	-	-	0	22	-	-
木材(粗・角状)	CM	-	-	1,958	2,541	1,245	8,393
製材・まくら木	CM	161	101	846	133	748	2,714
パルプ・くず紙	MT	124,861	128,548	183,818	219,469	149,403	104,243
綿	KG	1,084,090	1,340,807	1,203,739	1,417,417	-	-
合成繊維の短繊維	MT	14,857	12,693	8,601	10,633	8,727,374	6,057,434
人造繊維短繊維・くず	KG	8,974,642	9,801,369	8,630,546	7,762,190	8,359,008	9,612,806
繊維製品の中古・ぼろ	MT	8,380	3,705	11,791	19,620	23,349	27,157
粗肥料	MT	812	1,099	1,008	1,951	3,602	6,128
石・砂利・砂	MT	250,539	350,018	592,348	856,251	1,034,994	931,730
硫黄・硫化鉄鉱	MT	145,896	148,777	140,002	136,342	133,745	118,230
天然研磨材料	MT	10,825	11,559	12,896	14,043	15,383	16,061
その他の粗鉱物	MT	929,724	863,176	1,444,770	1,542,155	1,809,994	2,327,328
鉄くず	MT	1,966,036	1,912,845	2,657,264	2,874,008	3,377,984	3,398,904
銅鉱	MT	-	-	0	461	1,369	1,527
ニッケル鉱	MT	12,425	12,343	16,791	18,118	-	-
アルミニウム鉱	MT	59,579	65,822	58,542	57,065	51,336	49,278
他の卑金属の鉱石	MT	-	-	3,018	105	73	129
非鉄卑金属のくず	MT	14,145	11,954	19,105	24,854	32,565	31,069
他の動物性原材料	KG	5,644,145	1,228,165	728,057	525,844	571,267	1,738,148
他の植物性原材料	KG	1,066,150	1,773,613	1,374,948	700,974	780,489	911,827

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

④ 鉱物性燃料・潤滑油

同カテゴリーに占める割合では、石油製品が 55.9%と高く、ついで石油残留物・同製品が 33.7%となっている。また、石油残留物・同製品は 2002 年から 2007 年にかけて輸出金額は 4 倍以上になっている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
鉱物性燃料・潤滑油	53,203	48,248	60,785	74,308	117,301	133,307
コークス・半成コークス	667	759	1,614	1,390	1,479	1,744
石油製品	39,963	30,697	33,947	39,995	61,282	74,531
石油残留物・同製品	10,044	12,149	16,728	24,021	41,994	44,866
液体プロパン・ブタン	-	-	-	-	46	353
石油ガス	2,529	4,643	8,496	8,902	12,500	11,813

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
鉱物性燃料・潤滑油	-	-	-	-	-	-	-
コークス・半成コークス	MT	85,347	87,489	92,054	57,123	89,610	78,866
石油製品	KL	1,698,794	1,137,347	1,061,335	850,735	1,092,336	1,203,161
石油残留物・同製品	MT	287,492	288,993	289,948	346,716	425,269	456,241
液体プロパン・ブタン	MT	-	-	-	-	893	5,298
石油ガス	MT	82,851	131,359	189,120	149,477	162,573	141,475

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑤ 動植物性油脂

同カテゴリーの輸出金額は全体で 10 億 3,700 万円となっており、輸出金額は減少傾向である。2002 年と比較すると同カテゴリーの輸出金額は約 4 割減少している。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
動植物性油脂	1,623	1,196	1,184	1,062	976	1,037
動物性油脂	684	512	395	316	233	239
植物性油脂(ソフト凝固)	334	186	26	51	240	88
植物性油脂(その他)	-	-	266	261	178	255
加工油脂・ろう	605	498	497	434	325	455

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
動植物性油脂	-	-	-	-	-	-	-
動物性油脂	KG	329,636	549,257	296,616	278,042	264,112	238,560
植物性油脂(ソフト凝固)	KG	6,061,230	2,235,408	30,225	32,391	1,781,738	362,535
植物性油脂(その他)	KG	-	-	4,369,984	3,489,506	1,422,627	1,316,432
加工油脂・ろう	KG	4,347,045	6,423,605	5,514,182	4,015,343	1,178,413	1,936,121

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑥ 化学工業生産品

化学工業生産品の日本から韓国への輸出金額は 2003 年以降年々1,500～2,000 億円ずつ増加しており、2007 年の輸出金額は 1 兆 2,528 億 5,500 万円となっている。

同カテゴリーの中では、プラスチックの板・フィルム、炭化水素・同誘導体の輸出金額が 2,000 億円を超えており、化学工業生産品の中では主たる輸出品となっている。

カテゴリー内で輸出金額が減少傾向にあるものはほとんどなく、日本から韓国への輸出総額の約 2 割が同カテゴリーの輸出品となっている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
化学工業生産品	530,668	585,298	720,864	914,051	1,106,458	1,252,855
炭化水素・同誘導体	77,944	92,900	129,718	192,978	220,791	217,995
アルコール・フェノール	19,107	17,282	23,584	27,605	29,715	34,916
カルボン酸・同誘導体	16,022	14,859	13,831	18,861	21,264	26,998
窒素官能化合物	14,590	14,792	16,689	21,159	19,907	21,918
有機置換無機化合物	28,553	27,810	35,664	28,241	30,289	33,637
その他の有機化学品	13,428	14,937	17,248	21,332	23,421	29,653
無機元素・酸化物	28,205	30,436	33,058	29,789	38,297	43,608
無機酸の金属塩	6,276	6,762	7,376	8,012	9,276	11,845
その他の無機化合物	4,047	4,673	4,927	7,365	9,167	12,299
放射性元素・化合物	1,075	1,509	1,784	2,653	4,050	5,330
合成有機着色剤	4,967	4,961	4,864	5,912	7,871	9,607
タンニン・なめし剤	266	240	257	285	295	229
ペイント・顔料	27,066	33,651	37,891	45,470	55,576	57,317
医薬品	9,000	8,125	8,974	7,800	8,984	10,013
薬物	5,866	7,594	8,623	10,755	13,878	16,657
精油・香料	8,867	8,611	8,029	7,993	7,829	8,279
調整香料・化粧品	11,341	11,495	12,722	16,237	18,318	16,052
石鹼・洗剤	8,392	8,627	9,774	11,594	15,216	16,853
肥料	507	459	518	619	708	837
エチレン重合体(一次製品)	3,545	3,312	3,305	4,030	4,250	5,173
スチレン重合体(一次製品)	2,242	2,560	2,688	3,810	5,351	8,282
塩ビ重合体(一次製品)	5,266	5,076	4,881	5,543	6,089	6,637
ポリエーテル重合体	14,573	14,630	16,114	18,842	20,546	22,034
その他のプラスチック	35,902	37,718	44,259	48,958	54,439	58,428
プラスチックのくず	167	211	449	861	643	1,127
プラスチックの管・パイプ	2,502	3,150	4,212	4,132	5,042	4,628
プラスチックの板・フィルム	61,254	81,929	119,430	161,759	217,744	259,035
プラスチック・モノフィラメント	276	431	263	294	330	177
殺虫剤・殺菌剤	3,754	3,233	3,138	3,039	2,769	3,093
澱粉・小麦グルテン	4,477	6,158	7,063	8,410	9,759	10,383
鉱物油用調整添加剤	8,729	8,984	8,471	7,762	8,026	8,838
他の化学工業生産品	102,462	108,183	131,060	181,951	236,618	290,977

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
化学工業生産品	-	-	-	-	-	-	-
炭化水素・同誘導体	MT	1,478,862	1,440,042	1,560,808	1,995,195	1,922,584	1,732,424
アルコール・フェノール	MT	178,448	158,890	182,162	185,534	199,220	183,789
カルボン酸・同誘導体	MT	120,078	112,613	99,684	106,785	102,079	128,303
窒素官能化合物	MT	51,694	57,203	52,773	79,366	58,407	55,208
有機置換無機化合物	MT	70,342	78,117	73,105	40,648	37,950	36,284
その他の有機化学品	MT	95,408	131,388	136,949	136,921	126,509	150,502
無機元素・酸化物	MT	179,259	137,160	126,648	125,351	140,085	137,591
無機酸の金属塩	MT	55,320	49,314	47,416	50,378	50,872	63,034
その他の無機化合物	KG	6,837,361	6,789,047	6,095,895	6,598,963	5,139,383	5,618,285
放射性元素・化合物	KG	360,662	537,314	572,311	1,013,068	1,880,293	2,492,385
合成有機着色剤	KG	2,280,545	2,039,806	2,073,717	1,851,978	2,165,574	2,169,717
タンニン・なめし剤	KG	221,809	135,078	66,314	65,124	63,535	48,846
ペイント・顔料	MT	22,357	23,301	25,617	29,970	34,797	41,388
医薬品	KG	934,219	835,152	1,041,600	940,890	673,873	746,302
薬物	KG	2,743,851	5,465,930	5,335,384	6,412,572	7,082,249	8,146,643
精油・香料	KG	2,909,447	2,919,998	2,885,522	2,847,718	2,692,549	2,776,348
調整香料・化粧品	KG	8,353,056	6,730,154	6,815,233	7,662,658	8,646,761	8,805,226
石鹼・洗剤	MT	20,656	20,749	22,714	22,333	25,469	27,885
肥料	MT	6,726	3,803	4,267	5,540	6,400	6,864
エチレン重合体(一次製品)	MT	20,072	20,232	18,165	20,286	18,245	19,842
スチレン重合体(一次製品)	KG	8,345,395	9,614,605	11,031	14,771	20,730	32,241
塩ビ重合体(一次製品)	MT	15,910	13,631	9,226	16,475	14,551	13,145
ポリエーテル重合体	MT	39,895	46,808	51,515	48,055	51,041	52,265
その他のプラスチック	MT	104,785	115,598	132,907	123,404	123,739	122,110
プラスチックのくず	KG	3,851,782	4,810,349	12,326	20,831	12,313	20,957
プラスチックの管・パイプ	KG	827,341	971,259	1,564,923	1,555,440	1,843,114	1,875,740
プラスチックの板・フィルム	MT	41,881	57,578	67,674	76,794	96,719	110,606
プラスチック・モノフィラメント	KG	139,103	266,934	191,721	158,936	252,045	212,426
殺虫剤・殺菌剤	KG	1,324,902	968,902	924,115	1,339,430	1,887,109	1,330,174
澱粉・小麦グルテン	KG	5,341,646	5,771,027	5,515,267	4,506,404	6,083,850	7,564,574
鉱物油用調整添加剤	MT	23,936	26,414	24,728	21,354	21,255	22,636
他の化学工業生産品	MT	66,816	74,824	88,805	91,780	97,464	88,949

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑦ 原料別製品

原料別製品では、鉄鋼製品（鉄鋼インゴット・半製品、鉄鋼圧延製品、合金鉄圧延製品、鉄鋼の棒・形鋼など）の輸出金額が 8,407 億 5,800 円となっており、同カテゴリーの 61.8%を占めている。

同カテゴリーの輸出金額は、2003 年以降毎年 1,400～2,000 億円ずつ増加しているが、鉄鋼製品の輸出金額の増加が同カテゴリーの輸出金額の増加に大きく貢献している。

また、ガラス・ガラス製品の輸出金額が大幅に増加しており、特にガラス製品は 2002 年と 2007 年を比較すると約 8 倍と大きく輸出金額が増加している。

	金額(百万円)					
	2,002	2,003	2,004	2,005	2,006	2,007
原料別製品	650,060	693,340	853,949	965,258	1,154,921	1,359,476
革	1,210	1,006	841	521	348	487
革製品・動物用装着品	19	89	-	-	-	-
ゴム加工材料	2,681	2,527	3,121	2,731	2,400	2,810
ゴム製空気タイヤ	9,508	10,628	10,348	9,024	13,436	13,257
その他のゴム製品	6,736	7,872	7,602	7,632	9,704	10,795
ベニヤ・合板	335	324	125	140	235	267
その他の木製品	611	400	311	270	251	546
紙・板紙	18,055	17,824	15,286	13,083	16,715	19,575
紙・板紙の製品	2,202	2,280	3,889	4,276	4,572	5,265
紡織用繊維の糸	12,950	9,501	7,826	8,171	7,820	7,843
綿織物	3,728	3,713	3,995	3,437	3,303	2,957
人造繊維の織物	13,438	11,084	9,214	7,254	8,567	10,489
その他の繊維の織物	2,163	2,160	2,131	2,448	2,940	3,257
メリヤス・クロセ編物	3,829	3,018	2,679	2,232	2,339	2,621
チュール・レース	603	824	1,018	1,368	1,412	728
特殊繊維・特殊織物	9,285	8,946	10,233	10,637	11,236	12,196
紡織用繊維の製品	789	731	702	600	676	547
床敷き	167	141	144	184	89	184
セメント・建設用材料	1,220	2,454	3,718	4,722	5,583	5,568
粘土・耐火性建設材料	853	550	1,882	2,297	3,367	3,962
その他の鉱物製品	13,902	14,206	17,716	20,157	27,371	30,089
ガラス	41,112	52,238	71,822	81,329	57,695	85,509
ガラス製品	8,828	6,854	6,996	22,682	70,078	67,541
陶磁器	1,869	1,263	861	1,016	1,321	1,544
真珠・貴石・半貴石	2,157	1,831	1,435	1,628	1,567	1,620
鉄鉄・フェロアロイ	15,842	13,973	19,313	19,820	31,965	45,820
鉄鋼インゴット・半製品	33,497	44,292	57,572	71,680	86,875	137,242
鉄鋼圧延製品(無被覆)	157,159	164,311	233,965	286,981	318,398	333,537
鉄鋼圧延製品(被覆)	18,023	29,611	39,881	42,618	38,431	37,365
合金鉄圧延製品	64,337	69,141	83,710	65,732	95,985	116,066
鉄鋼の棒・形鋼	60,837	74,681	72,928	783,869	82,933	110,504
軌条・鉄道建設材料	281	302	688	831	1,017	891
鉄鋼の線(除線材)	2,752	2,727	3,080	3,386	3,641	4,374
鉄鋼の管・管用継手	22,335	19,974	23,762	31,435	39,240	54,959
銀・白金金属	2,713	2,514	2,290	3,532	12,312	17,572
銅	48,748	40,958	50,601	59,460	81,546	92,415
ニッケル	3,983	3,658	5,273	5,514	8,613	11,446
アルミニウム	17,733	16,175	16,240	17,914	19,137	17,970
鉛	57	49	149	92	29	1,495
亜鉛	40	42	98	98	220	359
すず	495	599	709	709	648	424
その他の非鉄卑金属	2,758	2,925	4,169	5,130	6,472	6,748
鉄鋼・アルミ製構造物	954	1,191	1,014	1,632	2,807	2,375
金属容器(貯蔵・輸送)	1,036	1,311	1,606	2,083	2,966	3,681
ワイヤ製品・フェンス	1,893	1,970	2,323	2,154	2,470	2,516
鉄・銅・アルミ製くぎ・ボルト	1,546	2,037	3,100	2,827	3,356	3,495
手道具・機械用工具	13,242	14,358	17,015	18,146	18,861	20,571
刃物	1,248	1,039	1,079	1,030	1,020	1,175
卑金属製の家庭用品	1,400	1,057	890	773	883	951
各種の卑金属製品	18,091	21,948	28,599	35,456	42,071	45,868

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
原料別製品	-	-	-	-	-	-	-
革	SM	1,214,893	1,121,596	737,449	680,901	403,839	328,883
革製品・動物用装着品	KG	3,181	18,674	-	-	-	-
ゴム加工材料	KG	5,638,237	1,958,396	2,115,533	2,009,144	2,035,282	2,028,091
ゴム製空気タイヤ	NO	1,796,178	2,217,421	2,254,367	1,824,573	2,373,854	2,332,106
その他のゴム製品	KG	3,073,566	2,717,808	2,721,414	3,230,563	4,417,853	3,861,029
ベニヤ・合板	SM	677,518	457,301	221,318	1,456,256	768,576	556,201
その他の木製品	KG	1,218,088	1,113,632	671,642	433,088	651,764	1,115,462
紙・板紙	MT	134,268	110,844	89,448	72,810	91,508	114,356
紙・板紙の製品	KG	2,997,021	3,030,713	3,741,386	6,155,011	6,211,754	7,201,565
紡織用繊維の糸	MT	21,083	16,914	17,669	14,069	13,265	14,562
綿織物	SM	6,861,816	6,835,181	7,105,857	6,305,839	2,806,941	4,985,276
人造繊維の織物	TS	38,008	29,295	22,164	18,284	23,109	23,988
その他の繊維の織物	SM	6,081,244	6,299,169	6,765,404	7,543,999	7,426,029	8,192,504
メリヤス・クロセ編物	KG	1,169,234	816,216	758,680	605,886	704,289	741,073
チュール・レース	KG	109,416	137,695	155,088	294,569	301,611	176,869
特殊繊維・特殊織物	KG	6,520,448	6,048,172	7,184,303	6,206,181	5,997,106	6,650,561
紡織用繊維の製品	DZ	110,971	75,110	73,094	60,834	65,106	108,638
床敷き	SM	162,542	116,049	100,663	120,390	48,493	146,918
セメント・建設用材料	MT	357,335	863,729	1,269,878	1,512,123	1,613,765	1,623,210
粘土・耐火性建設材料	MT	3,824	2,247	7,333	4,746	9,075	8,305
その他の鉱物製品	MT	10,686	13,740	15,935	18,964	18,422	18,409
ガラス	MT	90,733	108,255	100,219	125,618	127,287	130,417
ガラス製品	KG	4,352,100	3,601,193	2,823,679	7,993,492	29,717	30,276
陶磁器	DZ	1,409,593	832,630	559,397	732,845	911,494	1,102,371
真珠・貴石・半貴石	GR	6,823,851	4,841,394	5,726,061	4,298,700	5,698	15,414
銑鉄・フェロアロイ	MT	472,183	152,245	111,813	103,546	113,714	112,204
鉄鋼インゴット・半製品	MT	1,373,671	1,577,029	1,597,027	1,617,143	1,807,590	2,360,414
鉄鋼圧延製品（無被覆）	MT	4,772,102	4,183,938	4,608,202	3,964,761	4,710,839	4,716,779
鉄鋼圧延製品（被覆）	MT	299,729	465,509	552,331	433,765	378,501	340,130
合金鉄圧延製品	MT	548,785	638,993	651,981	355,050	540,459	649,180
鉄鋼の棒・形鋼	MT	1,547,892	1,782,388	1,244,172	1,084,297	1,023,555	1,202,074
軌条・鉄道建設材料	KG	3,105,071	3,383,102	8,704,752	7,261,883	7,890,441	6,627,454
鉄鋼の線（除線材）	MT	8,872	11,591	8,130,280	8,342,861	8,779	11,839
鉄鋼の管・管用継手	MT	164,818	155,497	162,834	159,044	162,882	200,442
銀・白金属金属	KG	119,105	235,263	186,164	257,708	710,581	791,861
銅	MT	114,130	73,298	58,620	72,080	66,818	74,275
ニッケル	KG	1,623,725	1,332,179	1,763,852	1,459,156	1,759,113	1,725,197
アルミニウム	MT	30,625	32,051	29,964	22,710	18,190	17,106
鉛	KG	129,929	19,126	267,260	339,464	34,839	4,633,314
亜鉛	KG	192,099	276,557	474,443	294,242	714,207	1,010,293
すず	KG	244,078	298,204	364,520	338,439	300,264	239,618
その他の非鉄卑金属	KG	802,787	637,490	662,739	1,553,798	1,824,369	871,485
鉄鋼・アルミ製構造物	KG	4,911,725	7,184,810	6,504,429	5,140,851	9,649,080	9,809,362
金属容器（貯蔵・輸送）	KG	1,163,407	1,613,267	1,482,858	1,626,546	2,114,639	2,973,105
ワイヤ製品・フェンス	KG	4,577,026	4,755,007	4,913,311	5,176,683	5,856,371	6,160,863
鉄・銅・アルミ製くぎ・ボルト	KG	1,194,624	1,351,538	1,701,473	1,987,913	2,015,229	2,367,342
手道具・機械用工具	KG	4,049,830	4,776,859	5,185,429	4,995,652	5,258,762	6,402,110
刃物	TH	10,709	11,002	383,596	354,711	356,929	377,548
卑金属製の家庭用品	KG	1,158,738	892,248	768,848	728,738	814,173	703,835
各種の卑金属製品	MT	18,440	17,925	29,896	20,186	30,055	29,181

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑧ 機械類・輸送機械

「機械類・輸送機械」は全カテゴリーの中で最も輸出金額が高く、日本から韓国への輸出金額の 38.6%を占めている。

同カテゴリーの中で輸出金額が高い輸出品は「熱電子管・半導体」となっており、輸出金額は 4,976 億 900 万円となっている。しかし、「熱電子管・半導体」の輸出金額はここ 6 年横ばいに推移している。

一方で、農業用機械や土木建設用機械といった産業用機械の輸出金額は年々増加しており、2007 年の産業用機械の輸出金額は 5,415 億 5,200 万円となっている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
機械類・輸送機械	1,714,501	1,927,801	2,186,576	2,157,932	2,345,489	2,465,662
蒸気発生ボイラー	8,852	9,832	10,314	12,947	13,688	9,989
蒸気タービン	13,799	12,185	14,204	17,798	20,323	11,066
内燃機関	32,348	24,904	31,861	34,710	41,449	49,501
非電気式の原動機	961	1,144	3,404	1,432	11,653	4,865
回転式電気機械	20,232	19,573	23,119	27,590	39,032	35,688
その他の原動機	6,840	7,638	7,871	8,253	8,909	10,254
農業用機械	3,392	4,417	7,304	9,585	11,115	14,630
トラクター	757	1,100	1,400	1,779	2,694	4,170
土木建設用機械	6,274	8,898	11,426	9,748	16,405	14,135
繊維用・皮革用機械	17,593	11,759	7,465	7,661	9,739	8,323
パルプ・紙製造用機械	3,002	3,357	2,610	3,082	4,479	4,984
印刷機・製本機械	28,385	18,344	15,761	15,875	21,057	24,796
食品工業用機械	2,142	1,953	1,768	2,352	4,187	4,107
その他の産業用機械	144,843	219,178	363,094	355,075	378,287	466,407
工作機械(金属除去)	40,064	85,584	70,548	75,414	104,835	59,921
工作機械(金属変形)	9,114	12,812	10,414	14,883	16,192	17,071
工作機械の部分品	5,997	9,285	11,639	13,120	16,592	9,694
その他の金属加工機械	15,784	22,440	21,128	24,839	35,425	28,167
加熱用・冷却用装置	33,186	48,194	67,082	67,306	73,782	71,455
液体ポンプ・液体エレベーター	24,647	34,960	37,206	35,458	36,747	44,773
空気ポンプ・圧縮機	30,463	30,823	38,053	40,504	48,684	56,910
荷役機械	17,082	20,153	24,040	25,371	34,922	36,806
その他の非電気式機器	11,599	11,242	13,827	12,779	18,150	16,768
玉軸受・ころ軸受	17,041	20,581	22,251	25,052	28,576	28,503
コック・弁	28,679	28,259	35,656	34,549	38,932	44,735
伝達軸・軸受箱・歯車	19,578	19,695	22,284	24,268	31,453	30,194
機械類の部品(除電気)	9,366	9,812	11,761	12,791	15,022	13,755
事務用機器	5,486	4,731	4,558	2,922	5,356	32,060
自動データ処理機械	42,434	32,076	27,342	23,516	28,706	21,852
事務用機器の部分品	66,086	45,262	39,574	39,477	42,996	23,623
テレビ受像機	20,692	23,745	18,304	15,305	14,029	11,124
ラジオ受信機	2,434	1,486	441	216	63	213
録音機器	30,269	29,604	37,034	37,134	35,457	1,339
通信機器	89,418	129,755	144,921	84,031	57,810	97,727
電力用機器	16,011	18,032	19,101	24,303	27,586	25,815
回路開閉機器印刷回路	122,281	129,358	160,745	179,628	184,456	181,370
送配電用機器	10,521	8,016	9,155	11,509	12,617	17,012
医療用電気機器	11,786	11,543	12,271	12,565	16,511	17,658
家庭用電気機器	5,514	5,734	5,260	4,547	5,054	5,166
熱電子管・半導体	464,893	512,352	526,677	486,192	444,971	497,609
その他の電気機器	161,241	159,221	174,896	178,943	206,341	188,383
乗用自動車	13,713	14,254	24,550	32,720	48,057	66,268
貨物自動車	3,979	3,277	2,363	971	2,300	6,193
その他の道路走行車両	-	-	0	151	-	-
自動車用部分品	83,375	87,028	79,269	89,324	109,782	119,468
二輪自動車・自転車	1,613	1,132	1,299	1,743	2,926	3,626
トレーラー・コンテナ	169	170	395	767	818	1,604
鉄道用車両	988	427	782	871	1,434	3,538
航空機・関連機器	59	85	123	727	123	1,796
船舶・浮遊構造体	9,519	12,391	10,026	16,149	15,767	20,551

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
機械類・輸送機械	-	-	-	-	-	-	-
蒸気発生ボイラー	KG	6,816,501	7,093,007	9,061,906	9,445,617	9,553,021	7,603,557
蒸気タービン	KG	5,798,686	6,292,307	8,695,993	9,305,096	9,640,952	5,055,606
内燃機関	MT	16,632	15,613	22,057	30,357	39,592	42,651
非電気式の原動機	KG	73,878	128,832	283,364	642,896	3,031,237	520,452
回転式電気機械	MT	11,753	10,375	12,925	16,277	24,642	21,691
その他の原動機	KG	3,541,303	4,798,315	4,712,656	4,571,435	5,152,152	5,509,893
農業用機械	NO	21,467	13,366	11,633	18,793	20,569	25,373
トラクター	NO	366	489	629	824	1,107	1,492
土木建設用機械	NO	1,909	2,075	3,038	3,254	3,134	3,603
繊維用・皮革用機械	KG	9,043,286	4,763,990	2,886,512	2,777,751	4,138,071	3,705,052
バルブ・紙製造用機械	NO	1,029	807	429	820	771	701
印刷機・製本機械	NO	2,506	3,226	5,430	2,148	2,471	1,628
食品工業用機械	NO	987	886	1,113	1,366	1,320	1,641
その他の産業用機械	MT	43,452	46,706	63,134	56,357	67,186	61,546
工作機械(金属除去)	NO	8,227	8,103	7,016	6,430	7,322	7,804
工作機械(金属変形)	NO	3,328	2,916	2,167	2,460	2,564	2,525
工作機械の部分品	KG	1,710,256	2,752,602	2,585,781	5,721,613	3,427,070	4,820,134
その他の金属加工機械	MT	16,588	16,878	16,415	18,430	25,115	23,188
加熱用・冷却用装置	NO	125,737	164,103	165,716	148,236	169,230	163,007
液体ポンプ・液体エレベーター	NO	1,630,869	1,422,266	1,251,523	1,283,738	1,721,100	2,172,904
空気ポンプ・圧縮機	NO	2,860,253	3,228,955	2,725,292	3,226,749	4,473,583	4,841,730
荷役機械	NO	24,257	32,825	33,861	29,305	29,321	36,789
その他の非電気式機器	KG	3,897,424	3,454,732	3,352,186	3,334,527	4,937,786	3,948,454
玉軸受・ころ軸受	MT	13,095	14,376	13,854	14,446	15,821	16,620
コック・弁	MT	10,724	10,363	11,735	11,487	11,358	13,817
伝達軸・軸受箱・歯車	MT	21,025	20,219	20,121	19,645	25,408	28,264
機械類の部品(除電気)	KG	3,520,916	3,897,697	5,205,152	5,558,010	5,808,855	4,382,047
事務用機器	NO	62,037	28,354	67,796	46,862	34,725	92,838
自動データ処理機械	NO	1,230,975	817,484	600,519	390,495	739,310	426,838
事務用機器の部分品	KG	8,213,013	7,055,030	18,966,000	5,519,000	8,717,994	2,463,917
テレビ受像機	NO	139,969	576,922	551,473	176,688	120,625	111,722
ラジオ受信機	NO	71,501	48,434	11,830	8,700	2,304	29,067
録音機器	NO	1,107,967	1,635,823	2,242,850	2,104,314	1,283,843	54,244
通信機器	TH	36,368	44,782	38,350	12,178	5,594	15,838
電力用機器	KG	3,075,564	2,523,532	2,505,072	3,459,532	3,684,400	3,972,092
回路開閉機器印刷回路	KG	8,736,772	9,064,414	12,135	13,881	14,462	14,366
送配電用機器	KG	7,167,550	4,364,214	4,319,441	4,026,749	3,409,272	5,259,239
医療用電気機器	KG	279,029	306,278	306,372	307,271	429,198	444,314
家庭用電気機器	KG	413,161	598,623	612,315	436,092	401,552	427,930
熱電子管・半導体	MI	22,212	19,950	22,769	24,660	28,347	25,584
その他の電気機器	MT	37,403	35,490	41,973	43,689	45,264	76,767
乗用自動車	NO	13,213	10,077	12,599	14,017	17,722	24,036
貨物自動車	NO	684	867	369	210	229	765
その他の道路走行車両	NO	-	-	0	81	-	-
自動車用部分品	MT	55,792	57,499	49,091	59,106	68,131	81,661
二輪自動車・自転車	NO	104,863	53,175	40,953	42,513	53,264	59,978
トレーラー・コンテナ	KG	294,669	395,631	327,864	2,141,703	2,362,452	4,883,575
鉄道用車両	NO	385	86	233	158	126	83
航空機・関連機器	KG	1,196	6,071	5,598	16,260	3,657	53,415
船舶・浮遊構造体	GT	1,662,864	244,317	255,182	190,584	160,630	197,910

出所：「世界各国間貿易統計年報

⑨ その他の種々の製品

「その他の種々の製品」で輸出金額が 1,000 億円を超えるものは測定・分析・制御機器、光学機器であるが、どちらも輸出金額は減少している。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
その他の種々の製品	387,030	502,820	609,927	657,953	660,359	579,190
プレハブ建築物	43	82	47	353	196	45
衛生・配管・暖房用機器	116	157	127	107	172	199
照明機器	550	661	956	756	808	1,004
家具	2,830	2,837	2,481	3,823	3,617	3,955
旅行用具ハンドバッグ	305	288	243	193	266	341
男子用繊維上衣	566	676	396	397	599	688
女子用繊維上衣	721	745	677	749	870	1,335
男子用メリヤス上衣	611	617	576	587	464	552
女子用メリヤス上衣	583	712	749	729	653	803
その他の衣類	2,676	2,029	1,654	1,573	1,860	1,705
繊維製衣類付属品	592	566	502	492	665	712
他衣類付属品(非繊維)	408	380	342	378	430	474
はき物	664	724	592	644	678	952
光学機器	20,379	46,398	51,193	37,162	41,338	27,530
医療用機器	9,588	8,358	7,791	8,308	10,078	10,410
計器類	1,105	1,255	1,433	1,743	1,967	1,207
測定・分析・制御機器	99,248	133,618	191,161	200,998	218,130	196,397
写真用機器	39,499	62,760	69,838	78,396	59,356	4,230
写真・映画用材料	45,645	54,488	68,797	76,885	73,451	74,164
映画フィルム	31	29	-	-	71	38
その他の光学機器	103,616	128,400	148,214	150,867	136,909	126,699
時計	2,685	1,966	1,358	1,240	1,388	1,582
印刷物	3,572	4,270	4,578	6,700	7,556	8,225
プラスチック製品	11,779	12,038	15,861	21,962	23,830	23,414
玩具・スポーツ用品	19,531	18,234	17,069	24,988	24,590	33,424
事務用品	4,166	3,814	3,775	4,093	4,775	5,580
美術品・収集品	207	394	421	575	686	1,459
貴金属細工・貴石製品	707	1,177	1,453	3,288	4,145	4,029
楽器・レコード	11,339	11,778	14,422	26,829	36,837	43,372
その他の種々の製品	3,269	3,369	3,221	3,138	3,974	4,665

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
その他の種々の製品	-	-	-	-	-	-	-
プレハブ建築物	KG	13,976	20,947	14,149	118,229	395,921	105,220
衛生・配管・暖房用機器	KG	107,229	197,221	181,721	116,542	147,410	175,683
照明機器	KG	97,197	122,182	192,123	116,817	107,524	144,210
家具	KG	1,919,523	1,833,968	1,601,905	2,843,976	2,797,815	3,359,720
旅行用具ハンドバッグ	NO	273,267	269,941	220,203	176,251	310,610	265,362
男子用繊維上衣	NO	102,152	90,103	52,886	54,057	105,272	97,945
女子用繊維上衣	NO	132,836	127,835	102,533	128,367	148,841	292,296
男子用メリヤス上衣	NO	210,892	164,650	145,712	127,399	116,641	145,147
女子用メリヤス上衣	NO	273,714	287,108	311,529	297,019	204,465	264,579
その他の衣類	NO	675,966	472,311	394,310	436,908	587,372	490,831
繊維製衣類付属品	KG	88,461	74,334	88,852	74,924	118,224	127,304
他衣類付属品(非繊維)	KG	54,799	51,331	54,953	51,444	58,416	51,376
はき物	PR	421,750	414,952	353,520	396,947	351,155	451,366
光学機器	KG	650,659	895,327	947,624	1,105,177	1,608,981	913,957
医療用機器	KG	1,248,916	1,371,865	1,568,096	1,325,584	1,425,021	1,570,283
計器類	KG	110,093	75,623	89,090	86,468	78,373	79,123
測定・分析・制御機器	KG	5,464,977	6,845,910	9,302,633	8,477,798	8,820,198	8,853,654
写真用機器	NO	7,496,440	5,171,249	3,654,432	1,590,250	1,224,386	189,957
写真・映画用材料	TS	49,450	53,183	64,261	60,463	62,255	61,563
映画フィルム	M	149,676	587,295	-	-	1,178,570	394,400
その他の光学機器	NO	6,520,139	5,726,519	5,467,933	4,494,653	4,638	10,202
時計	NO	3,608,763	3,259,656	2,434,626	2,000,608	1,663,806	1,589,636
印刷物	KG	1,557,969	1,371,955	1,283,110	1,456,217	1,896,756	1,974,159
プラスチック製品	MT	10,147	7,725	8,296	9,243	11,123	15,907
玩具・スポーツ用品	KG	1,793,375	1,217,122	1,343,216	2,481,102	2,323,455	1,864,106
事務用品	KG	1,267,056	1,207,756	917,061	888,310	1,088,151	1,339,555
美術品・収集品	NO	529	429	698	1,005	787	2,629
貴金属細工・貴石製品	KG	6,857	17,092	22,395	56,616	130,481	45,757
楽器・レコード	KG	2,162,827	1,954,307	1,915,805	2,626,265	3,398,971	3,171,335
その他の種々の製品	KG	982,045	926,451	923,930	864,945	1,178,943	1,271,418

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑩ 特殊取扱品

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
特殊取扱品	135,152	146,768	175,932	184,979	234,165	325,222
機用品・再輸入品	133,595	143,890	172,127	180,878	225,459	314,273
非貨幣用金	1,557	2,878	3,805	4,101	8,706	10,949
小額の商品・誤差	304	166	164	108	10,655	153

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
特殊取扱品	—	—	—	—	—	—	—
機用品・再輸入品	MT	160,106	135,002	3,796,219	221,963	86,063	136,641
非貨幣用金	GR	1,600,909	2,207,909	2,689,445	2,778,425	4,051,274	5,294,215
小額の商品・誤差	—	—	—	—	—	—	—

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

4) 韓国から日本への品目別（大分類）輸入金額の推移

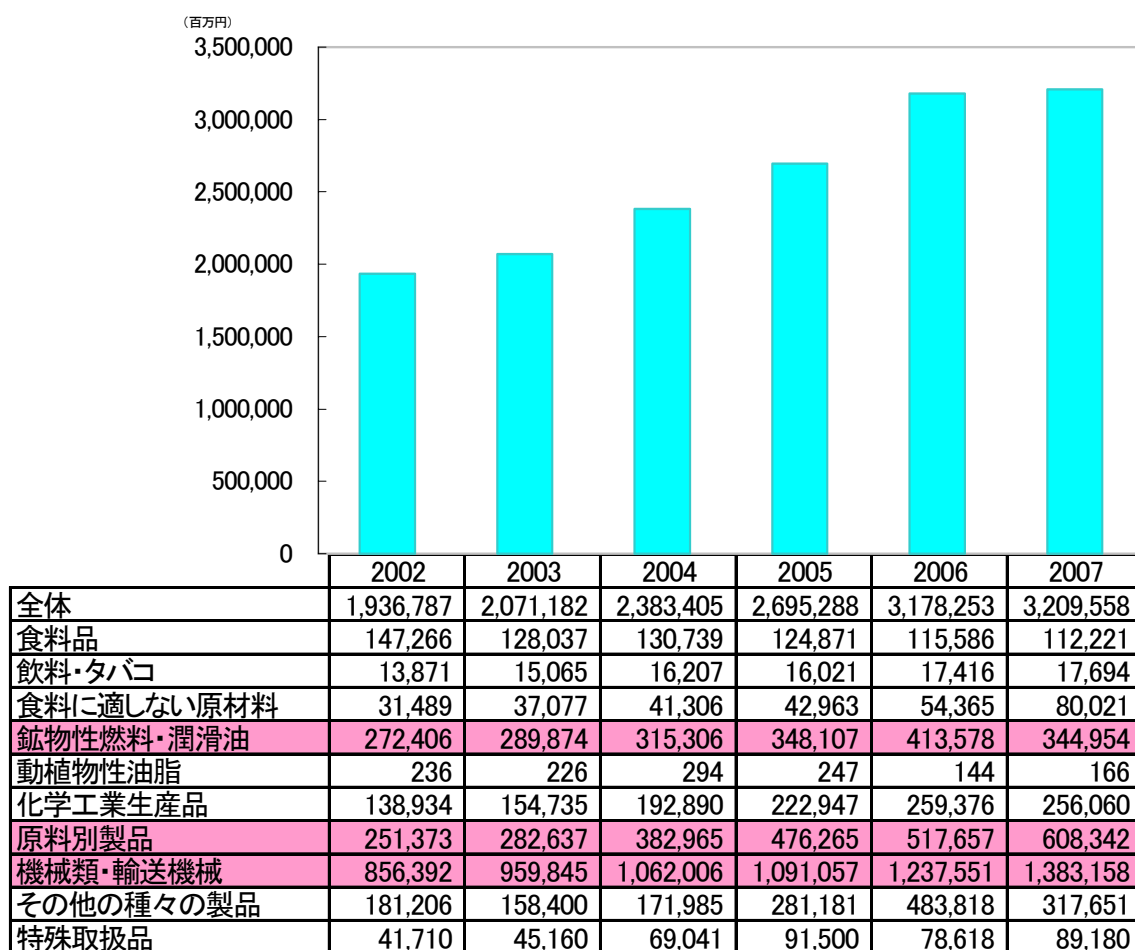
2002 年以降、韓国から日本への輸入金額は年々10%程度伸びてきたが、2007 年度はわずか 0.9%の微増にとどまっている。2007 年の日本の韓国からの輸入金額は 3 兆 2,095 億 5,800 万円となっている。

大項目ごとに見ると、日本から韓国への輸出金額で最もボリュームが大きいのは機械類、輸送機械であり、輸入金額全体の 4 割強を占めている。ついで、原料別製品、鉱物性燃料が多く、以上の 3 つのカテゴリーで輸出金額全体の 8 割以上を占めている。

カテゴリー別では、食料品の輸入量が年々減少傾向にあるがそれ以外のカテゴリーはわずかながら増加傾向にある。

金額ベースでみると、機械類・輸送機械、原料別製品、鉱物性燃料が韓国から日本への輸入における中心カテゴリーとなっていることが分かる。

【韓国から日本への輸入金額の推移】



出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

5) 韓国から日本への品目別（小分類）輸入金額、数量の推移

① 食料品・生きた動物

日本の韓国からの「食料品・生きた動物」の中で輸入金額が多いのは「魚（生鮮・冷蔵・冷凍）」であり、同カテゴリー全体の 39.9% を占めている。

ついで、多いのが甲殻類・軟体動物であるが、同カテゴリーの輸入金額は年々減少しており、2002 年と比較すると 2007 年では約 350 億円も減少している。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料品・生きた動物	147,266	128,037	130,739	124,871	115,586	112,221
生きた動物	-	-	-	-	19	23
他の肉類(生鮮・冷凍)	520	325	476	492	322	56
肉類(塩蔵・乾燥)	-	-	44	44	-	-
肉類の調製品	505	559	514	726	657	592
ミルク・クリーム	6	543	143	189	495	522
チーズ・カード	204	225	53	24	-	-
魚(生鮮・冷蔵・冷凍)	59,113	45,754	48,227	46,635	43,468	44,772
魚(乾燥・塩蔵)	753	957	-	-	-	-
甲殻類・軟体動物	18,674	15,633	15,734	13,395	12,844	10,212
魚・甲殻類の調製品	17,896	13,892	14,829	11,749	9,740	6,632
穀物・野菜粉の調製品	1,341	1,214	1,247	1,643	1,290	1,177
野菜(生鮮・冷蔵・冷凍)	9,079	8,974	9,373	9,741	7,152	7,830
野菜の調製品	9,973	11,072	11,218	10,189	7,852	8,489
果実・ナット(生鮮・乾燥)	6,534	5,341	4,209	4,082	3,724	3,523
果実の調製品	2,024	2,267	1,650	1,968	2,448	1,923
果実・野菜のジュース	156	269	616	981	1,209	1,615
砂糖・はちみつ	145	186	314	199	221	294
砂糖菓子	204	247	251	192	163	144
コーヒー・同代用物	74	44	36	83	85	128
チョコレート・ココア含有調製品	1,851	3,253	2,774	2,446	2,270	2,322
香辛料	774	636	713	724	693	691
飼料	1,887	1,358	1,093	1,623	1,787	1,862
マーガリン・ショートニング	-	-	-	-	5	95
その他の調整食料品	14,553	15,288	17,225	17,746	19,142	19,319

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料品・生きた動物		-	-	-	-	-	-
生きた動物	NO	-	-	-	-	70,851	115,152
他の肉類(生鮮・冷凍)	MT	1,102	818	800	822	720	244
肉類(塩蔵・乾燥)	KG	-	-	35,148	29,037	-	-
肉類の調製品	KG	1,142,662	1,271,495	1,168,597	1,570,804	1,243,496	1,104,385
ミルク・クリーム	KG	18,422	1,761,316	396,172	526,500	1,462,324	1,280,947
チーズ・カード	KG	507,816	626,107	132,529	47,836	-	-
魚(生鮮・冷蔵・冷凍)	MT	110,099	87,843	85,539	85,088	67,619	64,502
魚(乾燥・塩蔵)	KG	584,642	665,309	-	-	-	-
甲殻類・軟体動物	MT	31,678	26,303	29,686	20,961	19,427	14,076
魚・甲殻類の調製品	MT	14,159	10,902	11,241	8,781	7,376	5,608
穀物・野菜粉の調製品	KG	11,428,000	9,189,000	8,212,212	9,754,901	7,206,264	6,213,194
野菜(生鮮・冷蔵・冷凍)	MT	24,562	23,405	36,395	33,120	19,784	17,621
野菜の調製品	MT	28,393	32,000	34,421	31,811	23,331	23,935
果実・ナット(生鮮・乾燥)	MT	9,617	5,344	7,147	6,539	5,594	4,697
果実の調製品	KG	5,508,735	4,900,760	4,839,487	5,884,244	6,516,841	5,075,241
果実・野菜のジュース	L	1,281,028	2,320,794	4,454,500	5,574,172	4,757,908	3,761,649
砂糖・はちみつ	MT	2,113	2,987	5,071	3,319	2,839	4,127
砂糖菓子	KG	647,684	739,024	517,975	409,927	372,519	296,693
コーヒー・同代用物	KG	76,290	44,487	52,495	85,276	66,699	105,391
チョコレート・ココア含有調製品	MT	29,373	32,511	29,839	26,794	21,312	20,737
香辛料	KG	1,088,246	1,137,515	1,038,038	907,928	728,753	754,562
飼料	MT	12,304	8,375	4,022	14,498	17,559	18,409
マーガリン・ショートニング	KG	-	-	-	-	32,300	348,064
その他の調整食料品	MT	172,168	175,054	178,720	176,431	170,811	164,075

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

② 飲料・たばこ

アルコール飲料・製造たばこの輸入金額が増加している。特にアルコール飲料の輸入金額は 150 億円を超えており、同カテゴリーの飲料食料品の中では水産物に続き、主な輸入品と言うことが出来る。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
飲料・たばこ	13,871	15,065	16,207	16,021	17,416	17,694
非アルコール飲料	1,066	1,018	1,620	1,788	1,537	1,049
アルコール飲料	12,778	13,800	14,362	13,795	14,511	15,126
製造たばこ	27	247	225	438	1,368	1,519

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
飲料・たばこ		-	-	-	-	-	-
非アルコール飲料	KL	15,953	13,713	21,338	20,415	15,929	9,304
アルコール飲料	KL	87,664	97,333	105,981	20,415	99,603	106,667
製造たばこ	TH	45	8,665	69,315	20,415	483,752	457,270

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

③ 食料に適しない原材料

食料に適しない原材料の中では、2007年の輸入金額で「鉄くず」が235億2,000万円、「貴金属鉱・くず」が100億1,700万円、「非鉄卑金属のくず」が96億2,400万円となっており、金属くずの輸入金額が同カテゴリーに占める割合が53.9%と高い。

また、「合成ゴム」の輸入金額も110億9,500万円となっており、同カテゴリーでは輸入金額が大きい。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料に適しない原材料	31,489	37,077	41,306	42,963	54,365	80,021
原皮	21	23	-	-	4	20
採油用の種(ソフト凝固)	6	22	-	-	-	-
合成ゴム	3,906	4,493	4,166	5,857	4,886	11,095
薪材及び木炭	71	37	12	57	88	115
製材・まくら木	410	473	556	1,422	422	456
パルプ・くず紙	2	72	45	20	31	127
綿	161	112	194	128	220	268
合成繊維の短繊維	773	933	953	1,092	1,442	1,840
人造繊維短繊維・くず	297	443	463	470	518	708
繊維製品の中古・ぼろ	-	-	56	61	52	58
粗肥料	-	-	34	123	312	299
石・砂利・砂	198	94	89	113	294	1,193
硫黄・硫化鉄鉱	10	22	26	30	28	33
天然研磨材料	477	385	342	421	406	441
その他の粗鉱物	2,221	2,097	2,353	3,437	3,346	4,010
鉄鉱	264	123	194	503	623	823
鉄くず	5,243	10,036	11,722	7,816	14,511	23,520
アルミニウム鉱	-	-	24	120	37	194
他の卑金属の鉱石	38	25	103	204	112	364
非鉄卑金属のくず	1,287	1,303	2,482	3,970	7,117	9,624
貴金属鉱・くず	890	580	750	95	4,871	10,017
他の動物性原材料	547	557	447	1,024	1,298	1,688
他の植物性原材料	14,667	15,247	16,295	15,200	13,747	11,328

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
食料に適しない原材料		-	-	-	-	-	-
原皮	KG	3,021,335	3,457,075	-	-	1,512,100	1,365,600
採油用の種(ソフト凝固)	MT	51	197	-	-	-	-
合成ゴム	MT	47,159	52,790	38,848	35,152	27,642	54,318
薪材及び木炭	MT	419	187	205	452	575	713
製材・まくら木	CM	5,995	6,460	7,322	13,088	4,842	5,270
パルプ・くず紙	MT	94	3,759	2,253	921	1,176	4,033
綿	KG	1,234,895	717,510	1,309,685	806,218	1,292,289	1,556,817
合成繊維の短繊維	MT	5,514,350	7,073,658	6,904,229	6,864,342	9,180	10,621
人造繊維短繊維・くず	KG	4,222,940	6,260,368	6,593,102	5,542,634	5,672,229	7,137,649
繊維製品の中古・ぼろ	KG	-	-	760,255	807,712	830,757	799,989
粗肥料	MT	-	-	1,169	3,208	7,218	7,913
石・砂利・砂	MT	7,443	3,107	7,958	12,084	21,062	100,665
硫黄・硫化鉄鉱	MT	320	680	888	1,052	900	966
天然研磨材料	KG	327,696	41,996	2,523	2,537	1,598	2,095
その他の粗鉱物	MT	442,698	425,771	375,010	475,246	438,816	499,406
鉄鉱	MT	36,335	18,230	30,022	72,476	78,976	94,760
鉄くず	MT	56,332	100,265	82,929	41,925	52,413	59,011
アルミニウム鉱	MT	-	-	257	1,502	42	2,540
他の卑金属の鉱石	MT	55	38	304	93	68	143
非鉄卑金属のくず	MT	13,077	10,365	18,202	10,128	11,962	12,150
貴金属鉱・くず	KG	656,376	474,358	680,561	675,624	870,475	2,971,086
他の動物性原材料	MT	11,166	9,892	4,599	11,188	14,956	18,262
他の植物性原材料	MT	19,406	21,167	28,953	26,486	19,601	14,725

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

④ 鉱物性燃料・潤滑油

同カテゴリーに占める割合では、石油製品が 92.5%と断トツに高い。同カテゴリーは 06 年までは堅実に輸入金額は伸びてきたが 2007 年は前年比で約 700 億円のマイナスとなっており、大きく輸入金額を落としている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
鉱物性燃料・潤滑油	272,406	289,874	315,306	348,107	413,578	344,954
石炭	-	-	27	63	-	-
コークス・半成コークス	-	-	0	114	97	76
石油製品	260,159	272,779	297,790	325,352	388,920	319,197
石油残留物・同製品	8,159	12,436	13,795	19,489	18,903	21,014
液化プロパン・ブタン	4,088	4,498	3,377	2,843	3,530	2,925
石油ガス	0	161	317	246	2,128	1,742

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
鉱物性燃料・潤滑油		-	-	-	-	-	-
石炭	MT	-	-	1,100	2,600	-	-
コークス・半成コークス	MT	-	-	0	16,587	13,334	10,085
石油製品	KL	11,889	10,753	9,575,443	8,051,696	7,500,627	5,519,155
石油残留物・同製品	MT	367,405	428,808	415,627	501,541	476,353	472,323
液化プロパン・ブタン	MT	59,295	61,852	39,821	19,305	17,764	11,741
石油ガス	MT	0	3,418	5,285	4,013	27,160	19,518

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑤ 動植物性油脂

同カテゴリー全体の輸入金額は 2007 年で 1 億 6,600 万円と非常に小規模である。また、輸入金額も減少傾向である。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
動植物性油脂	236	226	294	247	144	166
動物性油脂	82	119	123	119	12	43
植物性油脂(ソフト凝固)	23	29	83	63	33	24
加工油脂・ろう	131	78	88	65	99	99

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
動植物性油脂		-	-	-	-	-	-
動物性油脂	KG	1,689,170	1,725,888	1,128,892	1,128,892	16,591	53,557
植物性油脂(ソフト凝固)	KG	217,876	210,093	570,876	570,876	288,360	134,597
加工油脂・ろう	KG	929,960	661,200	503,600	503,600	750,000	595,610

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑥ 化学工業生産品

化学工業生産品の日本の韓国からの輸入金額は 2003 年以降年々約 300 億円ずつ増加してきたが、2007 年は約 33 億円減少している。2007 年の輸入金額は 2,560 億 6,000 万円となっている。

同カテゴリーの中では、プラスチックの板・フィルム、炭化水素・同誘導体の輸出金額が 300 億円を超えており、化学工業生産品の中では主たる輸入品となっている。輸入金額では、これらについて、ポリエーテル重合体が 286 億 2,800 万円と続いている。

日本の韓国からの輸入総額における約 8%が同カテゴリーの輸入品となっている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
化学工業生産品	138,934	154,735	192,890	222,947	259,376	256,060
炭化水素・同誘導体	16,741	22,276	47,300	40,666	43,527	32,110
アルコール・フェノール	2,882	2,370	3,668	9,633	16,035	12,653
カルボン酸・同誘導体	10,855	10,779	13,135	13,614	17,315	17,561
窒素官能化合物	4,414	5,131	5,917	9,520	8,857	9,496
有機置換無機化合物	5,702	6,792	7,743	9,822	10,954	11,650
その他の有機化学品	1,131	1,283	1,136	3,017	3,720	5,445
無機元素・酸化物	5,516	7,614	9,415	9,174	12,405	14,900
無機酸の金属塩	4,680	4,006	3,298	3,287	2,930	3,445
その他の無機化合物	903	1,005	1,461	1,779	2,381	2,440
放射性元素・化合物	259	373	263	208	224	382
合成有機着色剤	989	939	887	1,152	1,381	1,355
ペイント・顔料	2,998	3,177	3,762	4,698	5,483	4,250
医薬品	2,644	2,943	2,946	3,461	5,483	6,737
薬物	3,009	3,564	4,099	5,356	6,092	6,849
精油・香料	30	20	10	39	-	-
調整香料・化粧品	2,197	2,656	3,337	4,453	4,646	4,496
石鹸・洗剤	3,936	4,452	4,745	4,809	4,285	4,319
肥料	2,107	1,963	2,546	2,771	2,610	3,113
エチレン重合体(一次製品)	1,926	2,243	3,014	4,297	5,132	5,385
スチレン重合体(一次製品)	2,792	3,144	2,739	4,449	5,964	4,897
塩ビ重合体(一次製品)	151	99	114	153	296	339
ポリエーテル重合体	10,303	12,857	13,491	18,982	23,686	28,628
その他のプラスチック	10,217	12,249	12,626	15,743	18,052	18,665
プラスチックのくず	76	93	99	78	56	54
プラスチックの管・パイプ	2,308	2,626	2,776	2,792	3,059	2,934
プラスチックの板・フィルム	18,632	18,172	22,397	28,259	32,640	33,111
プラスチック・モノフィラメント	170	182	267	182	163	216
殺虫剤・殺菌剤	1,785	1,556	1,762	4,182	4,447	4,680
澱粉・小麦グルテン	969	834	745	759	1,164	903
火薬・火工品	75	135	156	179	248	170
鉱物油用調整添加剤	727	859	945	1,111	1,288	1,270
他の化学工業生産品	17,810	18,643	16,091	14,322	14,853	13,607

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
化学工業生産品							
炭化水素・同誘導体	MT	312,508	390,132	554,522	424,879	399,942	261,991
アルコール・フェノール	MT	30,103	26,914	30,416	103,207	157,645	97,787
カルボン酸・同誘導体	MT	111,081	99,152	113,112	100,024	108,428	101,471
窒素官能化合物	MT	25,230	33,189	41,040	49,357	45,601	45,060
有機置換無機化合物	KG	5,635,142	6,731,040	7,610,314	7,910,135	7,913,587	6,195,634
その他の有機化学品	MT	4,919	6,238	4,231	16,933	32,849	37,301
無機元素・酸化物	MT	96,374	94,493	131,609	128,246	110,940	109,252
無機酸の金属塩	MT	104,102	88,083	71,246	64,151	49,806	66,451
その他の無機化合物	MT	14,684	14,350	20,487	18,747	18,843	20,155
放射性元素・化合物	KG	113,409	134,686	75,213	61,722	59,386	99,752
合成有機着色剤	KG	1,708,225	1,587,725	1,652,859	2,504,606	2,450,878	2,131,862
ペイント・顔料	MT	9,786	10,729	11,993	12,852	12,399	9,791
医薬品	KG	344,877	645,117	828,817	634,845	431,869	404,157
薬物	KG	1,265,419	1,544,792	1,956,116	1,936,539	1,563,351	2,004,265
精油・香料	KG	23,921	21,209	6,775	6,604	-	-
調整香料・化粧品	KG	3,868,191	4,691,379	5,829,433	7,205,415	6,283,634	5,312,597
石鹸・洗剤	MT	26,400	30,735	30,755	31,053	25,217	24,565
肥料	MT	59,968	81,694	81,819	80,384	67,005	72,587
エチレン重合体(一次製品)	MT	23,272	25,075	27,337	34,037	33,922	32,263
スチレン重合体(一次製品)	MT	22,786	24,183	16,942	24,021	28,763	21,538
塩ビ重合体(一次製品)	KG	1,698,821	868,903	974,098	1,174,770	2,224,697	2,279,530
ポリエーテル重合体	MT	77,789	94,989	87,159	97,079	124,889	134,870
その他のプラスチック	MT	99,701	107,598	92,178	91,719	88,977	78,570
プラスチックのくず	KG	1,178,092	1,201,577	1,308,711	1,300,515	1,004,753	1,002,764
プラスチックの管・パイプ	KG	5,211,891	6,349,590	6,728,722	6,157,610	5,990,547	5,363,788
プラスチックの板・フィルム	MT	71,170	64,999	75,503	85,891	90,954	86,015
プラスチック・モノフィラメント	KG	406,572	457,620	645,237	433,223	388,460	483,937
殺虫剤・殺菌剤	KG	1,701,875	1,534,407	1,478,273	3,188,279	4,911,776	4,337,548
澱粉・小麦グルテン	KG	2,266,029	2,228,254	1,922,180	3,145,685	2,160,067	2,147,343
火薬・火工品	KG	274,008	560,535	472,801	538,884	755,997	416,935
鉱物油用調整添加剤	KG	2,927,497	3,643,008	4,903,361	5,518,505	5,702,045	5,020,702
他の化学工業生産品	MT	218,024	164,804	163,235	148,922	141,340	59,227

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑦ 原料別製品

原料別製品では、鉄鋼製品（鉄鋼圧延製品、合金鉄圧延製品、鉄鋼の棒・形鋼など）の輸入金額が 3,293 億 9,700 万円となっており、同カテゴリーの 54.1%を占めている。

同カテゴリーの輸入金額は、2003 年以降毎年 8%～30%増加しており、2002 年と 2007 年を比較すると、242%と倍以上輸入金額が増加している。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
原料別製品	251,373	282,637	382,965	479,265	517,657	608,342
革	373	299	296	180	428	1,603
革製品・動物用装着品	263	185	161	183	218	168
ゴム加工材料	991	1,210	1,688	2,154	2,660	3,200
ゴム製空気タイヤ	3,271	3,795	5,500	6,995	8,151	8,819
その他のゴム製品	3,149	3,963	3,998	4,119	3,952	3,899
ベニヤ・合板	1,999	1,576	1,404	1,247	1,048	1,079
その他の木製品	613	627	730	508	479	373
紙・板紙	9,916	14,598	17,066	16,739	14,048	10,897
紙・板紙の製品	10,465	10,567	12,083	7,956	6,854	6,973
紡織用繊維の糸	5,033	5,666	5,944	6,565	7,855	8,111
綿織物	1,703	1,442	1,330	1,431	1,327	847
人造繊維の織物	4,382	3,976	3,962	4,014	4,110	3,906
その他の繊維の織物	1,431	1,186	1,064	891	1,054	1,042
メリヤス・クロセ編物	2,719	2,615	2,399	2,997	3,070	3,025
チュール・レース	970	1,057	1,054	1,184	1,188	1,094
特殊繊維・特殊織物	12,011	13,542	13,933	15,236	15,932	16,215
紡織用繊維の製品	5,486	4,336	3,476	3,207	3,164	3,138
床敷き	1,801	1,392	1,145	716	347	193
セメント・建設用材料	4,473	4,424	4,229	4,746	4,784	4,713
粘土・耐火性建設材料	636	748	652	583	775	699
その他の鉱物製品	3,765	4,214	4,823	4,507	5,687	4,993
ガラス	7,129	6,748	7,514	9,157	9,019	13,124
ガラス製品	2,498	2,858	2,507	2,734	4,297	3,906
陶磁器	237	209	249	288	171	140
真珠・貴石・半貴石	193	241	232	263	314	194
鉄鉄・フェロアロイ	1,029	1,179	1,416	5,570	5,223	11,751
鉄鋼インゴット・半製品	239	381	1,540	2,141	2,399	10,024
鉄鋼圧延製品(無被覆)	40,967	53,958	72,192	110,346	92,482	102,936
鉄鋼圧延製品(被覆)	11,571	14,371	18,126	33,836	28,419	31,775
合金鉄圧延製品	8,336	11,366	42,614	38,262	42,297	77,089
鉄鋼の棒・形鋼	4,504	4,974	12,070	21,190	16,636	13,167
軌条・鉄道建設材料	179	217	335	264	330	226
鉄鋼の線(除線材)	10,178	13,371	16,604	19,947	20,575	23,385
鉄鋼の管・管用継手	10,904	10,687	13,479	16,810	15,913	19,723
銀・白金属金属	2,929	4,011	9,275	11,879	26,958	33,576
銅	7,233	6,146	12,255	15,133	29,486	27,273
ニッケル	118	100	51	69	153	137
アルミニウム	6,629	9,469	14,871	16,137	20,442	28,165
鉛	-	-	-	-	5	95
亜鉛	100	154	191	403	656	1,652
すず	14	21	47	143	14	37
その他の非鉄卑金属	489	484	572	5,443	13,972	20,947
鉄鋼・アルミ製構造物	16,107	15,169	16,800	22,626	40,779	39,321
金属容器(貯蔵・輸送)	2,791	2,823	3,695	3,524	3,297	3,347
ワイヤ製品・フェンス	4,189	4,573	5,927	7,620	7,761	8,509
鉄・銅・アルミ製くぎ・ボルト	2,243	2,345	2,640	3,097	3,622	4,048
手道具・機械用工具	5,899	5,774	8,466	10,567	11,585	11,400
刃物	1,101	1,133	1,140	1,136	930	982
卑金属製の家庭用品	12,130	11,230	9,154	7,671	6,927	9,524
各種の卑金属製品	15,987	17,227	22,066	23,851	25,864	26,902

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

原料別製品	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
革	SM	168,414	110,053	66,899	61,397	161,910	675,061
革製品・動物用装着品	KG	109,585	74,727	47,386	53,865	67,964	35,201
ゴム加工材料	KG	3,649,706	4,501,102	6,130,276	7,273,064	7,529,681	7,585,302
ゴム製空気タイヤ	NO	1,468,246	1,667,337	2,145,026	2,550,217	2,668,757	3,197,504
その他のゴム製品	KG	6,414,199	7,947,440	8,158,620	8,291,570	6,725,044	5,548,536
ベニヤ・合板	SM	442,612	153,204	90,129	58,337	117,688	66,298
その他の木製品	KG	2,074,823	2,411,119	2,124,471	1,940,874	2,248,632	1,879,215
紙・板紙	MT	99,919	162,171	196,833	199,234	192,075	162,979
紙・板紙の製品	MT	28,828	31,493	37,713	25,025	20,599	18,716
紡織用繊維の糸	MT	19,689	22,657	25,319	30,107	35,279	31,781
綿織物	SM	6,166,292	3,568,562	3,510,256	3,317,174	2,791,308	1,971,790
人造繊維の織物	TS	37,285	41,119	41,735	45,946	44,677	37,225
その他の繊維の織物	SM	1,019,571	1,162,445	1,266,195	946,619	593,734	386,737
メリヤス・クロセ編物	KG	2,590,726	2,392,317	2,389,533	2,829,321	2,604,469	2,430,112
チュール・レース	KG	882,817	1,108,646	1,221,056	1,266,323	1,226,371	1,001,605
特殊繊維・特殊織物	MT	34,114	40,117	41,785	42,687	39,663	37,681
紡織用繊維の製品	DZ	1,040,479	664,944	501,639	616,347	286,017	255,272
床敷き	SM	2,464,699	2,090,696	1,700,240	869,536	303,931	227,570
セメント・建設用材料	MT	807,958	824,967	801,148	880,647	887,085	867,807
粘土・耐火性建設材料	MT	7,759	9,298	8,652	7,451	8,064	7,578
その他の鉱物製品	MT	28,240	21,221	19,133	23,759	31,447	16,327
ガラス	MT	7,611	11,640	12,050	21,719	33,433	23,892
ガラス製品	KG	14,044,000	11,490,000	7,370,279	8,105,473	6,862,453	6,264,509
陶磁器	KG	250,906	222,325	252,299	260,247	186,071	177,870
真珠・貴石・半貴石	KG	24,666	20,516	11,941	17,964	16,966	7,375
鉄鉄・フェロアロイ	MT	15,856	31,022	17,672	28,130	41,347	87,586
鉄鋼インゴット・半製品	MT	5,742	3,038	19,730	26,953	39,519	207,293
鉄鋼圧延製品(無被覆)	MT	1,322,734	1,333,809	1,467,485	1,679,015	1,563,136	1,659,406
鉄鋼圧延製品(被覆)	MT	236,454	243,913	264,495	399,840	363,572	383,828
合金鉄圧延製品	MT	52,771	62,315	181,283	151,858	136,984	158,006
鉄鋼の棒・形鋼	MT	65,087	56,674	148,408	262,497	202,278	103,081
軌条・鉄道建設材料	KG	1,560,569	1,627,341	3,262,328	2,134,908	2,452,904	1,822,703
鉄鋼の線(除線材)	MT	86,429	114,463	133,540	148,673	147,171	150,454
鉄鋼の管・管用継手	MT	123,504	80,329	73,757	91,069	70,426	76,617
銀・白金属金属	KG	257,652	260,799	469,467	510,500	719,362	752,239
銅	MT	22,312	18,907	31,949	32,056	36,671	31,246
ニッケル	KG	66,318	68,351	36,673	53,874	96,544	34,861
アルミニウム	MT	25,641	42,087	60,313	60,462	58,463	82,152
鉛	KG	-	-	-	-	24,610	302,617
亜鉛	KG	448,782	956,405	943,525	1,933,270	1,474,530	3,982,472
すず	KG	25,000	36,730	64,050	161,826	16,269	43,185
その他の非鉄卑金属	KG	1,637,349	1,535,822	1,424,486	1,727,825	1,711,226	2,198,047
鉄鋼・アルミ製構造物	MT	68,043	57,186	63,166	87,492	151,246	129,689
金属容器(貯蔵・輸送)	KG	10,228	9,877	11,850	12,314	9,885,330	8,869,373
ワイヤ製品・フェンス	MT	30,471	31,852	38,179	43,470	43,397	42,171
鉄・銅・アルミ製くぎ・ボルト	MT	11,604	12,908	12,342	12,992	12,681	12,428
手道具・機械用工具	KG	5,579,638	3,994,016	6,353,638	8,466,341	8,500,839	6,939,433
刃物	KG	566,592	621,836	590,840	582,362	419,265	407,902
卑金属製の家庭用品	KG	19,796	17,496	13,777	10,446	7,464,704	9,259,624
各種の卑金属製品	MT	65,882	67,130	76,630	76,854	73,474	62,413

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑧ 機械類・輸送機械

「機械類・輸送機械」は全カテゴリーの中で最も輸入金額が高く、日本の韓国からの輸入金額の 43.1%を占めている。

同カテゴリーの中で輸出金額が高い輸出品は「熱電子管・半導体」となっており、輸入金額は 5,698 億 5,500 万円となっている。「熱電子管・半導体」の輸入金額は 2005 年から 2 年間 20%前後の高い伸びを示している。また、日本の韓国からの輸入金額全体に占める「熱電子管・半導体」の割合は 17.8%となっており、主力の輸入品であることが分かる。

また、「通信機器」の輸入金額も 2,376 億 8,400 万と輸入品目別に見ても「熱電子管・半導体」について 2 位となっている。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
機械類・輸送機械	856,392	959,845	1,062,006	1,091,057	1,237,551	1,383,158
蒸気発生ボイラー	375	521	324	1,798	1,542	2,350
蒸気タービン	511	349	746	1,796	2,053	2,574
内燃機関	5,516	5,747	8,663	10,968	13,252	16,126
非電気式の原動機	199	1,766	1,640	795	2,003	1,920
回転式電気機械	7,628	9,958	11,720	12,069	17,771	18,290
その他の原動機	943	1,103	1,626	2,229	3,454	4,639
農業用機械	695	788	904	1,140	1,332	1,440
トラクター	159	405	393	492	210	251
土木建設用機械	4,477	5,674	8,894	12,707	16,130	19,963
繊維用・皮革用機械	2,279	2,446	2,408	2,813	3,959	2,895
パルプ・紙製造用機械	1,025	1,024	1,164	1,770	1,810	1,522
印刷機・製本機械	869	1,086	838	853	891	799
食品工業用機械	554	578	608	714	556	435
その他の産業用機械	13,120	14,527	22,988	29,269	36,001	38,232
工作機械(金属除去)	1,708	1,237	3,588	4,595	3,971	3,037
工作機械(金属変形)	463	866	993	2,575	2,622	2,346
工作機械の部分品	3,442	4,332	6,961	12,967	13,022	13,575
その他の金属加工機械	2,934	3,407	4,607	5,884	12,018	7,064
加熱用・冷却用装置	8,726	7,870	10,204	13,552	19,055	19,771
液体ポンプ・液体エレベーター	3,729	3,981	5,250	6,961	9,637	10,722
空気ポンプ・圧縮機	5,453	7,967	8,511	9,632	10,172	13,373
荷役機械	3,607	6,785	6,598	7,252	10,145	10,109
その他の非電気式機器	3,685	4,484	4,598	4,393	5,264	4,564
玉軸受・ころ軸受	1,703	2,149	3,093	3,717	4,943	5,007
コック・弁	6,093	6,574	7,906	8,489	10,510	12,237
伝達軸・軸受箱・歯車	4,874	7,212	9,234	12,541	16,326	19,184
機械類の部分品(除電気)	22,774	21,104	31,706	43,379	42,591	41,875
事務用機器	1,084	1,924	2,353	4,963	5,779	20,108
自動データ処理機械	99,381	99,133	62,003	60,208	69,875	32,434
事務用機器の部分品	93,990	84,605	146,887	103,113	54,948	54,242
テレビ受像機	9,222	16,278	20,118	22,328	18,844	31,515
ラジオ受信機	2,798	4,716	3,287	3,969	1,477	1,006
録音機器	35,327	34,155	36,193	17,242	11,953	6,426
通信機器	55,377	89,701	105,979	138,918	195,994	237,684
電力用機器	8,144	7,145	5,221	4,883	5,358	6,439
回路開閉機器印刷回路	20,760	23,631	28,976	23,505	23,833	24,377
送配電用機器	8,729	8,807	10,153	11,900	15,733	17,874
医療用電気機器	2,005	2,217	1,957	2,373	2,935	3,789
家庭用電気機器	23,405	19,110	15,180	11,857	11,282	7,204
熱電子管・半導体	334,183	385,491	390,657	394,819	461,327	569,855
その他の電気機器	27,275	31,107	34,840	37,674	49,107	42,999
乗用自動車	3,790	2,377	3,109	4,435	1,925	1,475
貨物自動車	31	100	36	48	628	735
その他道路走行車両	-	-	0	194	848	268
自動車用部分品	19,867	22,829	25,695	29,998	40,023	44,459
二輪自動車・自転車	1,031	648	789	578	336	577
トレーラー・コンテナ	1,677	1,428	1,796	1,967	2,621	2,099
鉄道用車両	234	291	118	226	309	370
航空機・関連機器	502	167	105	247	771	2,758
船舶・浮遊構造体	39	45	389	295	405	165

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

		数量					
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
機械類・輸送機械		-	-	-	-	-	-
蒸気発生ボイラー	KG	846,357	2,105,777	783,184	4,123,536	2,909,232	2,922,837
蒸気タービン	KG	637,625	680,860	1,407,587	1,987,529	1,908,893	1,819,004
内燃機関	MT	11,616	11,848	17,477	19,847	22,607	25,967
非電気式の原動機	KG	47,586	649,136	75,469	121,661	620,906	706,875
回転式電気機械	MT	14,086	21,184	24,343	21,853	35,024	25,082
その他の原動機	KG	1,496,719	1,965,313	2,895,889	3,888,876	6,229,310	8,026,491
農業用機械	NO	4,095	1,997	5,253	12,264	12,930	16,342
トラクター	NO	101	209	200	241	96	112
土木建設用機械	NO	39	58	33	20	38	15
繊維用・皮革用機械	KG	2,422,510	2,460,989	2,009,247	2,573,014	3,476,513	2,340,461
パルプ・紙製造用機械	NO	115	205	94	142	158	117
印刷機・製本機械	NO	1,171	74	2,197	318	1,081	57
食品工業用機械	NO	3,449	2,153	2,126	1,588	1,494	1,036
その他の産業用機械	MT	20,426	20,436	28,247	28,998	26,203	25,809
工作機械(金属除去)	NO	3,493	2,689	4,653	6,720	8,197	1,754
工作機械(金属変形)	NO	308	504	268	360	451	486
工作機械の部分品	MT	13,071	15,554	19,380	28,103	23,793	27,636
その他の金属加工機械	MT	5,781,286	7,174,184	8,618,313	8,445,036	15,901	8,943
加熱用・冷却用装置	NO	144,517	181,474	153,511	183,984	239,379	331,761
液体ポンプ・液体エレベーター	NO	5,389,259	5,632,395	7,312,555	7,125,998	6,260,660	4,690,116
空気ポンプ・圧縮機	NO	4,337,661	4,734,622	4,217,568	3,757,719	2,928,384	2,778,074
荷役機械	NO	53,146	72,640	47,494	53,002	49,552	50,646
その他の非電気式機器	KG	3,629,104	4,035,642	3,420,471	3,016,541	3,378,036	3,774,273
玉軸受・ころ軸受	KG	1,964,558	2,668,748	3,802,568	4,874,108	6,849,042	6,302,704
コック・弁	KG	7,502,447	7,397,376	8,808,651	8,109,041	8,966,482	8,660,849
伝達軸・軸受箱・歯車	MT	11,859	17,362	22,212	25,868	33,402	34,998
機械類の部品(除電気)	MT	24,111	20,566	28,722	37,392	35,843	31,108
事務用機器	NO	147,403	148,813	197,664	164,748	111,203	207,634
自動データ処理機械	NO	4,051,037	4,194,601	3,870,236	4,548,407	5,395,615	3,564,152
事務用機器の部分品	KG	7,550,116	5,607,285	8,469,749	7,569,953	5,063,096	1,897,165
テレビ受像機	NO	564,157	747,676	1,078,681	975,150	834,306	1,918,986
ラジオ受信機	NO	167,240	276,326	233,394	402,792	140,126	80,831
録音機器	NO	1,913,960	2,079,064	2,088,391	1,102,938	710,997	319,307
通信機器	TH	16,030	12,664	14,209	70,157	88,788	21,256
電力用機器	KG	7,398,109	4,656,036	4,130,910	3,486,825	3,562,407	4,268,987
回路開閉機器印刷回路	KG	5,367,192	5,378,545	5,738,134	5,724,083	5,159,382	5,887,529
送配電用機器	MT	18,026	19,268	21,560	21,074	18,823	18,372
医療用電気機器	KG	194,286	169,166	161,497	172,433	211,827	252,665
家庭用電気機器	MT	37,016	28,205	22,186	14,386	13,297	6,753
熱電子管・半導体	TH	5,008,478	4,294,443	4,250,841	4,595,387	4,351,823	3,653,787
その他の電気機器	MT	32,958	34,911	43,072	39,370	48,499	54,763
乗用自動車	NO	3,471	2,349	3,491	3,825	1,741	1,063
貨物自動車	NO	10	23	11	14	27	19
その他道路走行車両	NO	-	-	0	46	67	110
自動車用部分品	MT	35,255	44,057	54,668	56,998	41,088	62,107
二輪自動車・自転車	NO	17,377	11,412	12,011	7,970	4,761	5,373
トレーラー・コンテナ	KG	7,588,251	5,677,182	5,591,306	5,057,895	6,809,799	4,724,210
鉄道用車両	KG	453,971	639,698	315,278	381,616	464,422	426,674
航空機・関連機器	KG	17,650	9,267	6,176	12,479	26,166	68,553
船舶・浮遊構造物	GT	111	1,418	2,492	693	7,384	2,287

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑨ その他の種々の製品

その他の種々の製品では、「光学機器」の2007年の輸入金額が1,728億1,000万円と輸入品目別では3番目に高いが、2006年と比較すると46.1%減少している。

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
その他の種々の製品	181,206	158,400	171,985	281,181	483,818	317,651
プレハブ建築物	1,460	1,057	1,507	1,311	854	1,071
衛生・配管・暖房用機器	333	458	582	617	705	549
照明機器	1,050	2,940	3,924	1,168	1,177	1,023
家具	7,810	7,654	7,205	6,758	6,660	5,108
旅行用具ハンドバッグ	7,010	4,304	3,144	2,789	2,114	1,851
男子用織物上衣	1,546	1,136	666	614	485	247
女子用織物上衣	3,124	2,541	2,751	5,866	5,421	3,457
男子用メリヤス上衣	2,047	1,460	1,165	1,267	1,244	862
女子用メリヤス上衣	11,391	7,921	7,687	14,397	13,375	10,328
その他の衣類	18,676	13,839	10,747	14,078	9,476	7,026
繊維製衣類付属品	8,094	6,325	5,607	5,067	5,204	4,638
他衣類付属品(非繊維)	8,539	6,672	5,591	6,797	5,221	3,717
はき物	9,564	5,329	3,954	3,388	2,857	2,634
光学機器	4,010	3,805	8,423	109,291	320,307	172,810
医療用機器	2,595	2,374	2,414	2,863	3,005	2,682
計器類	619	1,040	712	177	269	388
測定・分析・制御機器	8,513	9,248	11,208	13,098	17,783	19,299
写真用機器	2,294	2,536	2,248	2,082	1,453	735
写真・映画用材料	1,140	841	620	1,328	3,977	4,751
映画フィルム	-	-	39	66	59	41
その他の光学機器	6,935	5,803	6,249	7,374	8,520	8,217
時計	1,866	1,586	1,341	1,265	1,069	846
武器・弾薬	20	34	23	25	-	-
印刷物	2,098	2,085	3,084	4,893	2,792	2,066
プラスチック製品	25,931	24,329	25,084	24,017	23,674	21,059
玩具・スポーツ用品	13,620	9,877	9,185	9,317	8,671	8,800
事務用品	2,057	2,031	1,988	2,025	2,045	2,225
美術品・収集品	945	1,021	1,121	4,107	725	682
貴金属細工・貴石製品	4,991	5,675	7,109	7,328	7,637	6,782
楽器・レコード	17,817	19,521	31,039	22,183	20,239	16,522
その他の種々の製品	5,111	4,958	5,568	5,625	6,800	7,235

	単位	数量					
		2002	2003	2004	2005	2006	2007
その他の種々の製品		-	-	-	-	-	-
プレハブ建築物	ST	3,164	2,769	3,438	2,029	1,498	1,729
衛生・配管・暖房用機器	KG	824,923	974,939	1,301,927	1,339,321	1,377,100	1,013,119
照明機器	KG	786,756	1,433,229	1,622,089	779,300	694,150	586,680
家具	MT	24,543	21,767	23,115	22,736	20,257	14,385
旅行用具ハンドバッグ	NO	18,529	13,499	11,502	9,559	7,055,424	5,390,555
男子用織物上衣	NO	627,132	346,743	299,427	264,065	159,790	75,599
女子用織物上衣	NO	2,784,407	1,977,145	2,487,121	4,166,198	5,055,258	3,237,905
男子用メリヤス上衣	NO	7,934,515	6,074,122	4,837,553	4,662,833	4,655,366	3,272,222
女子用メリヤス上衣	NO	36,850	28,093	35,003	27,450	26,669	23,458
その他の衣類	TH	40,147	35,016	25,573	23,610	17,901	17,631
繊維製衣類付属品	TH	4,032,545	3,314,488	3,077,960	2,526,372	2,499,661	2,163,373
他衣類付属品(非繊維)	KG	1,685,766	1,422,767	1,267,149	1,584,177	1,153,056	744,709
はき物	KG	4,151,383	1,942,231	1,620,781	1,245,439	980,304	484,775
光学機器	PR	409,548	227,022	368	10,751	36,280	23,246
医療用機器	MT	1,256,493	1,137,972	1,123,235	1,120,766	1,400,716	1,146,118
計器類	KG	85,469	106,429	65,211	54,867	6,825	63,568
測定・分析・制御機器	KG	2,445,087	1,899,810	2,475,086	2,729,186	2,928,462	2,752,149
写真用機器	KG	2,638,583	6,658,882	4,920,253	5,815,240	239,488	139,394
写真・映画用材料	SM	413,456	2,310,467	3,694,169	4,783,752	6,910,441	8,907,792
映画フィルム	M	-	-	477,668	753,644	632,510	395,150
その他の光学機器	TH	14,004	12,244	14,376	12,824	12,232	13,107
時計	NO	803,164	689,278	568,256	512,159	429,296	345,295
武器・弾薬	KG	5,999	9,147	7,512	7,946	-	-
印刷物	KG	2,867,941	3,411,974	4,639,614	6,075,135	3,335,857	2,311,498
プラスチック製品	MT	77,980	68,288	67,849	58,111	49,833	40,857
玩具・スポーツ用品	KG	6,946,463	6,166,041	5,501,131	4,408,104	3,426,947	2,995,430
事務用品	KG	2,496,857	2,019,285	1,688,522	1,503,484	1,337,706	1,586,246
美術品・収集品	NO	171,344	148,578	161,981	128,443	95,266	82,947
貴金属細工・貴石製品	KG	339,521	363,863	399,249	436,991	449,983	386,564
楽器・レコード	MT	34,017	30,369	31,620	24,649	12,504	13,329
その他の種々の製品	KG	2,900,245	2,289,314	2,260,362	2,262,839	2,966,143	2,659,810

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

⑩ 特殊取扱品

	金額(百万円)					
	2002	2003	2004	2005	2006	2007
特殊取扱品	41,710	45,160	69,041	91,500	78,618	89,180
機用品・再輸入品	41,190	43,389	64,762	90,129	76,579	86,217
非貨幣用金	520	1,771	4,279	1,371	2,039	2,963
小額の商品・誤差	1,904	126	666	129	144	111

	数量						
	単位	2002	2003	2004	2005	2006	2007
特殊取扱品		－	－	－	－	－	－
機用品・再輸入品	MT	14,281	65,508	69,208	73,918	53,123	80,597
非貨幣用金	KG	63,807	152,771	166,179	111,343	285,908	352,528
小額の商品・誤差		－	－	－	－	－	－

出所：「世界各国間貿易統計年報2003～2008」

〔３〕韓国の上場企業、大手メーカーのエリア別工場立地リスト

<京畿道>

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
ピングレ	食品	南陽州工場	京畿道	加工乳や水菓類
東遠産業	食品	城南工場	京畿道	マグロ漁業、水産物加工品
五洋水産	食品	安城工場	京畿道	遠洋漁業と水産加工
五洋水産	食品	注文律工場	京畿道	遠洋漁業と水産加工
ソウル食品工業	食品	安山工場	京畿道	パン・スナックなどの食品加工
ソウル食品工業	食品	半月工場	京畿道	パン・スナックなどの食品加工
麒麟	食品	水原工場	京畿道	製パン・製菓
瑞興カプセル	食品	富川工場	京畿道	カプセル（ハード・ソフト・健康食品用）
農心	食品	ソウル工場	京畿道	即席めん、スナック、ミネラル水など
CJ	食品	ソウル工場	京畿道	製糖、製粉、調味料、製菓など
ロッテ製菓	食品	永登浦工場	京畿道	乾菓、水菓
ロッテ製菓	食品	始興工場	京畿道	ガム
ロッテ製菓	食品	平沢工場	京畿道	スナック
オリオン	食品	ソウル工場	京畿道	乾菓（チョコレート、ビスケット、クラッカー）
クラウン製菓	食品	安養工場	京畿道	ビスケット、ウェハース、キャンディ、チョコレート
セムビョ食品	食品	倉洞工場	京畿道	醤油、味噌、コチュジャン
セムビョ食品	食品	利山工場	京畿道	醤油、味噌、コチュジャン
オットギ	食品	安養工場	京畿道	調味食品、ソース、レトルト食品
大韓製糖	食品	仁川工場	京畿道	製糖、飼料
CKF	食品	金浦工場	京畿道	飼料
新村飼料	食品	金浦工場	京畿道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
新村飼料	食品	仁川工場	京畿道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
先進	食品	利川工場	京畿道	飼料、肉加工、食肉事業
三養ゼネックス	食品	ソウル工場	京畿道	澱粉、水あめ、果糖
現代フェス	食品	ソウル工場	京畿道	朝鮮人参
斗山	食品	永登浦工場	京畿道	酒類、飼料
ハイト麦酒	食品	江南工場	京畿道	ビール
ロッテ七星飲料	食品	瑞草工場	京畿道	清涼飲料
マニカ	食品	竜仁工場	京畿道	肉加工
東亜&B	食品	瑞草工場	京畿道	水産加工、肉加工、レトルト食品、飲料
サンパウル	繊維、衣類	江南工場	京畿道	メリヤス、紡績
京紡	繊維、衣類	永登浦工場	京畿道	綿糸、綿織物
京紡	繊維、衣類	半月工場	京畿道	綿糸、綿織物
東一紡織	繊維、衣類	安養工場	京畿道	高級先染糸、リオセルなどの糸類、織物類
東一紡織	繊維、衣類	仁川工場	京畿道	高級先染糸、リオセルなどの糸類、織物類
東一紡織	繊維、衣類	江南工場	京畿道	高級先染糸、リオセルなどの糸類、織物類
全紡	繊維、衣類	富平工場	京畿道	糸、布類
日新紡織	繊維、衣類	半月工場	京畿道	原糸、加工糸、織物
大韓紡織	繊維、衣類	水原工場	京畿道	染色加工綿織物
第一毛織	繊維、衣類	安養工場	京畿道	電子材料包装材
曉星	繊維、衣類	安養工場	京畿道	ナイロン、スパンデックス
SKケミカル	繊維、衣類	水原工場	京畿道	石油化学、化学樹脂
邦林	繊維、衣類	永登浦工場	京畿道	染色、加工綿織物、糸類
三栄毛紡工業	繊維、衣類	竜仁工場	京畿道	毛織物、衣類
三栄毛紡工業	繊維、衣類	漣川工場	京畿道	毛織物、衣類
一井実業	繊維、衣類	安山工場	京畿道	衣類、玩具用織物、カーシート用織物
源林	繊維、衣類	ソウル工場	京畿道	産業用包装資材
高合	繊維、衣類	安養工場	京畿道	ナイロン、ポリエステル
フュービス	繊維、衣類	水原工場	京畿道	ポリエステル
IHQ	繊維、衣類	江南工場	京畿道	下着
新栄ワコール	繊維、衣類	九老第1工場	京畿道	下着
新栄ワコール	繊維、衣類	九老第2工場	京畿道	下着
新栄ワコール	繊維、衣類	九老第3工場	京畿道	下着
新栄ワコール	繊維、衣類	舍堂洞工場	京畿道	下着
新栄ワコール	繊維、衣類	禿山洞工場	京畿道	下着
トムボーイ	繊維、衣類	麻浦工場	京畿道	衣料
トムボーイ	繊維、衣類	竜仁工場	京畿道	衣料
ケンブリッジ	繊維、衣類	安養工場	京畿道	紳士服、ジャンパー
信元	繊維、衣類	麻浦工場	京畿道	衣料
ユニケム	繊維、衣類	半月工場	京畿道	皮革生地
ユニケム	繊維、衣類	安山工場	京畿道	合成樹脂
相林	繊維、衣類	半月工場	京畿道	皮革生地、皮革衣料
相林	繊維、衣類	城南工場	京畿道	皮革生地、皮革衣料
永昌実業	繊維、衣類	麻浦工場	京畿道	皮革生地
永昌実業	繊維、衣類	安山工場	京畿道	皮革生地
三洋通商	繊維、衣類	軍浦工場	京畿道	皮革、スポーツ用品
三洋通商	繊維、衣類	半月工場	京畿道	皮革、スポーツ用品
鮮昌産業	木材、木製品、パルプ、紙	江西工場	京畿道	珪酸窒素肥料、石灰
鮮昌産業	木材、木製品、パルプ、紙	仁川工場	京畿道	合板、製材
鮮昌産業	木材、木製品、パルプ、紙	安山工場	京畿道	合板
利建産業	木材、木製品、パルプ、紙	仁川工場	京畿道	合板
韓国製紙	木材、木製品、パルプ、紙	瑞草工場	京畿道	アート紙、白上紙
韓国製紙	木材、木製品、パルプ、紙	半月工場	京畿道	アート紙、白上紙
ハンソル製紙	木材、木製品、パルプ、紙	江南工場	京畿道	アート紙、白上紙、特殊紙
新湖製紙	木材、木製品、パルプ、紙	烏山工場	京畿道	アート紙、白上紙
大韓パルプ	木材、木製品、パルプ、紙	議政府工場	京畿道	白板紙
韓国輸出包装工業	木材、木製品、パルプ、紙	烏山工場	京畿道	ダンボール紙
新豊製紙	木材、木製品、パルプ、紙	平沢工場	京畿道	マニラ板紙
モナリザ	木材、木製品、パルプ、紙	永登浦工場	京畿道	巻紙
亜細亜製紙	木材、木製品、パルプ、紙	江南工場	京畿道	ダンボール生地
亜細亜製紙	木材、木製品、パルプ、紙	倉洞工場	京畿道	ダンボール生地

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
DPI	塗料・医薬	安養工場	京畿道	塗料
建設化学工業	塗料・医薬	安養工場	京畿道	塗料
現代ペイント工業	塗料・医薬	仁川第1工場	京畿道	塗料製品
現代ペイント工業	塗料・医薬	仁川第2工場	京畿道	塗料製品
三和ペイント工業	塗料・医薬	倉洞工場	京畿道	ペイント製品
三和ペイント工業	塗料・医薬	安山工場	京畿道	ペイント製品
柳韓洋行	塗料・医薬	安養工場	京畿道	医薬品 (ETC、OTC)
一洋薬品	塗料・医薬	竜仁工場	京畿道	医薬品 (ノルモ)
日東製薬	塗料・医薬	安城工場	京畿道	ビタミン剤、循環器溶剤、抗生物質等
三省製薬工業	塗料・医薬	城南工場	京畿道	殺虫剤、ビタミン飲料等
柳柳	塗料・医薬	安養工場	京畿道	一般医薬品
国際薬品工業	塗料・医薬	江南工場	京畿道	医薬品
国際薬品工業	塗料・医薬	富平工場	京畿道	医薬品
国際薬品工業	塗料・医薬	安山工場	京畿道	医薬品
同和薬品工業	塗料・医薬	安養工場	京畿道	抗生剤、殺虫剤
鍾根堂	塗料・医薬	半月第1工場	京畿道	薬品 (血圧強化剤、免疫抑制剤など)
鍾根堂	塗料・医薬	半月第2工場	京畿道	薬品 (血圧強化剤、免疫抑制剤など)
韓国薬品	塗料・医薬	江南工場	京畿道	医薬品 (糖尿治療剤、抗生物質)
現代薬品工業	塗料・医薬	江西第1工場	京畿道	医薬品、清涼飲料
現代薬品工業	塗料・医薬	江西第2工場	京畿道	医薬品、清涼飲料
緑十字	塗料・医薬	竜仁工場	京畿道	血液製剤、ワクチン
韓国シュール製薬	塗料・医薬	江南工場	京畿道	医薬品 (抗生物質)
日盛新薬	塗料・医薬	竜山工場	京畿道	医薬品
三一製薬	塗料・医薬	半月工場	京畿道	薬品 (眼科用薬剤)
東信製薬	塗料・医薬	江南工場	京畿道	薬品 (ワクチン)
第一薬品	塗料・医薬	瑞草工場	京畿道	一般医薬品、抗生物質
韓美薬品	塗料・医薬	華城工場	京畿道	一般医薬品 (錠剤、カプセル)
太平洋製薬	塗料・医薬	安城工場	京畿道	一般医薬品
保寧製薬	塗料・医薬	安養第1工場	京畿道	消化器治療剤、循環器系医薬品
保寧製薬	塗料・医薬	安養第2工場	京畿道	消化器治療剤、循環器系医薬品
保寧製薬	塗料・医薬	安山工場	京畿道	消化器治療剤、循環器系医薬品
広東製薬	塗料・医薬	松炭工場	京畿道	一般医薬品、健康ドリンク
広東製薬	塗料・医薬	江南工場	京畿道	一般医薬品、健康ドリンク
東星製薬	塗料・医薬	東善洞工場	京畿道	医薬品、化粧品
東星製薬	塗料・医薬	長安工場	京畿道	医薬品、化粧品
新豊製薬	塗料・医薬	安山工場	京畿道	洋薬、医薬品原料
首都薬品工業	塗料・医薬	富川工場	京畿道	医薬品 (抗生物質)
丸仁製薬	塗料・医薬	安城工場	京畿道	精神神経用剤
太平洋	塗料・医薬	竜山工場	京畿道	化粧品
韓国化粧品	塗料・医薬	富川工場	京畿道	化粧品
韓国化粧品	塗料・医薬	鍾路工場	京畿道	化粧品
美源商事	塗料・医薬	半月工場	京畿道	塗料添加剤、界面活性剤
美源商事	塗料・医薬	平沢工場	京畿道	塗料添加剤、界面活性剤
東南合成	塗料・医薬	仁川工場	京畿道	界面活性剤
ハンファ	塗料・医薬	仁川工場	京畿道	火薬
コスモ化学	塗料・医薬	麻浦工場	京畿道	二酸化チタニウム
宝楽	塗料・医薬	華城工場	京畿道	香料
SKC	石油精製品	水原工場	京畿道	フィルム、メディア素材
美昌石油工業	石油精製品	安山工場	京畿道	潤滑油
ネクセンタイヤ	ゴム・プラスチック	ソウル工場	京畿道	タイヤ
ネクセン	ゴム・プラスチック	ソウル工場	京畿道	チューブ、タイヤ
ナショナルプラスチック	ゴム・プラスチック	ソウル工場	京畿道	プラスチック射出製品
ナショナルプラスチック	ゴム・プラスチック	半月工場	京畿道	プラスチック射出製品
徳成	ゴム・プラスチック	安養工場	京畿道	合成皮革、合成樹脂
徳成	ゴム・プラスチック	水原工場	京畿道	合成皮革、合成樹脂
徳成	ゴム・プラスチック	仁川工場	京畿道	合成皮革、合成樹脂
ウィスコム	ゴム・プラスチック	半月工場	京畿道	PVCコンパウンド
ウィスコム	ゴム・プラスチック	安城工場	京畿道	PVCコンパウンド
ウィスコム	ゴム・プラスチック	始華工場	京畿道	PVCコンパウンド
太平洋総合産業	非金属鉱物	竜仁工場	京畿道	ガラスビン類
? 昆	非金属鉱物	利川工場	京畿道	ガラスビン類
三光ガラス工業	非金属鉱物	瑞草工場	京畿道	ガラス容器、飲料水用缶
韓一セメント工業	非金属鉱物	永登浦工場	京畿道	セメント
現代セメント	非金属鉱物	広州工場	京畿道	セメント
現代セメント	非金属鉱物	竜仁工場	京畿道	セメント
現代セメント	非金属鉱物	楊州工場	京畿道	セメント
東洋メジャー	非金属鉱物	三防工場 (坡州)	京畿道	セメント
東洋メジャー	非金属鉱物	注文律工場	京畿道	レミコン
太原物産	非金属鉱物	江南工場	京畿道	ウォーターポンプ
金剛高麗化学	非金属鉱物	麗州工場	京畿道	ガラス
韓国石油工業	非金属鉱物	竜山工場	京畿道	アスファルト
日進ダイヤモンド	非金属鉱物	平沢工場	京畿道	工業用ダイヤモンド
韓国鉄鋼	第一次金属	富川第1工場	京畿道	鉄筋
韓国鉄鋼	第一次金属	富川第2工場	京畿道	鉄筋
韓国鉄鋼	第一次金属	ソウル工場	京畿道	鉄筋
INIスチール	第一次金属	仁川工場	京畿道	棒鋼、形鋼
培明金属	第一次金属	安山工場	京畿道	ステンレス鋼板
培明金属	第一次金属	半月工場	京畿道	ステンレス鋼板
大洋金属	第一次金属	半月工場	京畿道	冷延鋼板
高麗製鋼	第一次金属	高麗工場	京畿道	鋼線、ワイヤーロープ
新和実業	第一次金属	安山工場	京畿道	錫メッキ鋼板

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
啓洋電機	機械・装備製造	半月工場	京畿道	電動工具、自動車用モーター
SIMPAC	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	プレス
大東	機械・装備製造	半月第1工場	京畿道	プラスチック製品用金型
大東	機械・装備製造	半月第2工場	京畿道	プラスチック製品用金型
三泰重機	機械・装備製造	富川工場	京畿道	機械鋳物
水山重工業	機械・装備製造	華城工場	京畿道	油圧ブレーカー
奉信	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	機械鋳物、加工機械、工作機械
韓信機械工業	機械・装備製造	安山工場	京畿道	空気圧縮機
スターコ	機械・装備製造	富川工場	京畿道	消防用器具
スターコ	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	消防用器具
韓国コートレル	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	ガス処理設備、粉塵処理設備
現代エレベーター	機械・装備製造	利川工場	京畿道	エレベーター
慶東ボイラー	機械・装備製造	平沢工場	京畿道	ボイラー、部品
大宇総合機械	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	建設重機械、エンジン・工作機械
宇信システム	機械・装備製造	半月第1工場	京畿道	自動車組立ライン
宇信システム	機械・装備製造	半月第2工場	京畿道	自動車組立ライン
宇信システム	機械・装備製造	始華工場	京畿道	自動車組立ライン
スターコネット	機械・装備製造	仁川工場	京畿道	消防機器
三宝コンピューター	事務用機械	安山工場	京畿道	デスクトップ、ノート型パソコン
青湖コムネット	事務用機械	九老工場	京畿道	金融自動化機器
シンドリコ	事務用機械	ソウル工場	京畿道	複写機、プリンター
サムスン電子	映像・音響・通信機器	器興工場	京畿道	ノンメモリー、メモリー、モバイル液晶
サムスン電子	映像・音響・通信機器	華城工場	京畿道	メモリー、NAND型フラッシュ専用
東部ハイテック	映像・音響・通信機器	富川工場	京畿道	ファンドリリー
三和電子工業	映像・音響・通信機器	電仁工場	京畿道	フェライトコア
三和電子工業	映像・音響・通信機器	華城工場	京畿道	フェライトコア
TBK電子	映像・音響・通信機器	九老工場	京畿道	カーチューナー、CDMA端末機
タハムエーテック	映像・音響・通信機器	仁川工場	京畿道	CD、DVDプレーヤー
モータージョイ	映像・音響・通信機器	東豆川工場	京畿道	スピーカー、カーオーディオ
ラディックス	映像・音響・通信機器	江南工場	京畿道	放送受信機・音響機器、車両速度感知機
ヒュンデ 汎/DPJ-ス	映像・音響・通信機器	軍浦工場	京畿道	通信機器
ベンテック	映像・音響・通信機器	金浦工場	京畿道	CDMA、GSM
亜南半導体	映像・音響・通信機器	富川工場	京畿道	ウエハー
亜南半導体	映像・音響・通信機器	上愚工場	京畿道	ウエハー
サムスン電機	映像・音響・通信機器	水原工場	京畿道	セラミックコンデンサー、自動車部品など
コリアサーキット	映像・音響・通信機器	半月工場	京畿道	プリント基板
大徳GDS	映像・音響・通信機器	安山第1工場	京畿道	プリント基板
大徳GDS	映像・音響・通信機器	安山第2工場	京畿道	プリント基板
Q&Qコリア	映像・音響・通信機器	富川工場	京畿道	プリント基板
大徳電子	映像・音響・通信機器	半月工場	京畿道	産業用印刷回路基板
京仁電子	映像・音響・通信機器	半月工場	京畿道	リモコン、スイッチ
バソニック	映像・音響・通信機器	軍浦工場	京畿道	コンデンサー、HIC、DY
青湖電子通信	映像・音響・通信機器	仁川工場	京畿道	セラミックSMD型水晶製品
成門電子	映像・音響・通信機器	城南工場	京畿道	薄膜蒸着フィルム
三和コンデンサー工業	映像・音響・通信機器	電仁工場	京畿道	コンデンサー
三望電子工業	映像・音響・通信機器	城南工場	京畿道	コンデンサー
ハイニックス半導体	映像・音響・通信機器	利川工場	京畿道	DRAM、CIS、NAND型フラッシュ
コムテックシステム	映像・音響・通信機器	富平工場	京畿道	DSU/CSUスイッチ
ハイロンシステムズ	映像・音響・通信機器	安城工場	京畿道	CCTVレコーダー、CCTVカメラ、モニター
ユニモテックロジ	映像・音響・通信機器	瑞草工場	京畿道	無電機、CCTV
ファルックス	映像・音響・通信機器	楊州工場	京畿道	小型モニター、ノートブック用トランスフォーマー
LGディスプレイ	映像・音響・通信機器	坡州工場	京畿道	大型テレビ用液晶
ベンテック&キュリテ	映像・音響・通信機器	金浦工場	京畿道	CDMA、GSM
LGフィリップスLCD	映像・音響・通信機器	坡州工場	京畿道	LCD
大韓電線	電気機械・変換装置	安養工場	京畿道	電線、ステンレス
大韓電線	電気機械・変換装置	始興工場	京畿道	電線、ステンレス
大韓電線	電気機械・変換装置	安山工場	京畿道	電線、ステンレス
LG電線	電気機械・変換装置	軍浦工場	京畿道	電線
嘉星電線	電気機械・変換装置	安養工場	京畿道	電力ケーブル
大元電線	電気機械・変換装置	ソウル工場	京畿道	電力電線
鮮都電機	電気機械・変換装置	半月工場	京畿道	GIS、手配電盤
鮮都電機	電気機械・変換装置	安山第1工場	京畿道	GIS、手配電盤
鮮都電機	電気機械・変換装置	安山第2工場	京畿道	GIS、手配電盤
日進電機	電気機械・変換装置	水原工場	京畿道	通信ケーブル、電気機器
光明電機	電気機械・変換装置	安山工場	京畿道	受配電盤
韓国端子工業	電気機械・変換装置	仁川第1工場	京畿道	コネクタ
韓国端子工業	電気機械・変換装置	仁川第2工場	京畿道	コネクタ
錦湖電機	電気機械・変換装置	水原工場	京畿道	LCD部品
錦湖電機	電気機械・変換装置	龍山工場	京畿道	LCD部品
世邦電池	電気機械・変換装置	河南工場	京畿道	自動車用蓄電池、産業用蓄電池
DPC	電気機械・変換装置	安山工場	京畿道	セットトップボックス
起亜自動車	自動車・造船・航空	華城工場	京畿道	Optima, Cerato, Carens, Sorento, Opirus, エンジン
起亜自動車	自動車・造船・航空	所下里工場	京畿道	Pride, Carnival
GM大宇	自動車・造船・航空	富平工場	京畿道	Kalos, Gentra, Tosca, Winstorm, XKエンジン、変速機
双龍自動車	自動車・造船・航空	平沢工場	京畿道	Musso, Korando, Rexton, Chairman, Kyron, Actyon
現代モータース	自動車・造船・航空	所下里工場	京畿道	コックピットモジュール
現代モータース	自動車・造船・航空	梨花工場	京畿道	ローリングシャシモジュール
明和工業	自動車・造船・航空	ソウル工場	京畿道	プレーキディスク
明和工業	自動車・造船・航空	安山工場	京畿道	オイルポンプ、ウォーターポンプ
萬都	自動車・造船・航空	平沢工場	京畿道	マスターシリンダー、バキュームブースター
世元ECS	自動車・造船・航空	平沢工場	京畿道	ワイヤーハーネス

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

< 忠清北道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
オリオン	食品	清州工場	忠清北道	乾菓（パイ）
クラウン製菓	食品	鎮川工場	忠清北道	ビスケット、ウェハース、キャンディ、チョコレート
オットギ	食品	陰城工場	忠清北道	調味食品、ソース、レトルト食品
ブルムウォン	食品	陰城工場	忠清北道	豆腐、ナムル、麺、包装キムチ
東一紡織	繊維・衣類	清州工場	忠清北道	高級先染糸、リオセルなどの糸類、織物類
日新紡織	繊維・衣類	清原工場	忠清北道	原糸、加工糸、織物
東一ファブリック	繊維・衣類	沃川工場	忠清北道	芯地、織物
KITV	繊維・衣類	清州工場	忠清北道	産業用包装資材
朝光皮革	繊維・衣類	清州第1工場	忠清北道	皮革生地
朝光皮革	繊維・衣類	清州第2工場	忠清北道	皮革生地
亜細亜製紙	木材、木製品、パルプ、紙	清原工場	忠清北道	ダンボール生地
泰林包装工業	木材、木製品、パルプ、紙	清原工場	忠清北道	ダンボール紙
ハンファ石油化学	化学	美江工場	忠清北道	アクリル系人工大理石
朝光ベイント	塗料・医薬	陰城工場	忠清北道	塗料、ウレタン
白東製薬	塗料・医薬	清州工場	忠清北道	ビタミン剤、循環器溶剤、抗生物質等
韓国薬品	塗料・医薬	陰城工場	忠清北道	医薬品（糖尿病治療剤、抗生物質）
三進製薬	塗料・医薬	郷南工場	忠清北道	頭痛薬、抗生物質
緑十字サンア	塗料・医薬	陰城工場	忠清北道	一般医薬品
首都薬品工業	塗料・医薬	郷南工場	忠清北道	医薬品（抗生物質）
和承R&A	ゴム・プラスチック	清州工場	忠清北道	産業用ゴム製品（自動車用ホース）
三栄化学工業	ゴム・プラスチック	清州工場	忠清北道	包装用フィルムなど
韓一セメント工業	非金属鉱物	丹陽工場	忠清北道	セメント
亜細亜セメント	非金属鉱物	忠北工場	忠清北道	セメント
亜細亜セメント	非金属鉱物	堤川工場	忠清北道	セメント
現代セメント	非金属鉱物	丹陽工場	忠清北道	セメント
日進ダイヤモンド	非金属鉱物	陰城工場	忠清北道	工業用ダイヤモンド
東洋鉄管	第一次金属	忠州工場	忠清北道	鋼管
世元E&T	組立金属	清州工場	忠清北道	ワイヤーハーネス
啓洋電機	機械・装備製造	忠州工場	忠清北道	電動工具、自動車用モーター
新盛ENG	機械・装備製造	陰城工場	忠清北道	オートメーション装備
東部ハイテク	映像・音響・通信機器	陰城工場	忠清北道	ファンドリー
マグナチップ半導体	映像・音響・通信機器	清州工場	忠清北道	ロジック、メモリー、ノンメモリー
サニー電子	映像・音響・通信機器	忠州工場	忠清北道	水晶振動子
ハンソルLCD	映像・音響・通信機器	鎮川工場	忠清北道	LCDモニター、CRTモニター
三和電機	映像・音響・通信機器	忠州第1工場	忠清北道	コンデンサー
三和電機	映像・音響・通信機器	忠州第2工場	忠清北道	コンデンサー
ハイニックス半導体	映像・音響・通信機器	清州工場	忠清北道	NAND型フラッシュ
磁化電子	映像・音響・通信機器	清州工場	忠清北道	携帯電話用振動モーター
現代オートネット	映像・音響・通信機器	鎮川工場	忠清北道	オーディオ、電装品、AV
極東電線	電気機械・変換装置	鎮川工場	忠清北道	船舶用電線
ネックサンスコリア	電気機械・変換装置	清原工場	忠清北道	電力線、特殊線、通信線
世元ECS	自動車・造船・航空	清州工場	忠清北道	ワイヤーハーネス
インジコントロールス	自動車・造船・航空	沃川工場	忠清北道	樹脂製エアインテークマニホールド
ファシス	家具・その他製造業	忠州工場	忠清北道	厨房用具、事務用家具

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

< 忠清南道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
南陽乳業	食品	公州工場	忠清南道	牛乳及び乳製品加工
クラウン製菓	食品	牙山工場	忠清南道	ビスケット、ウェハース、キャンディ、チョコレート
宇星飼料	食品	大田工場	忠清南道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
宇星飼料	食品	天安工場	忠清南道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
KT&G	食品	大田工場	忠清南道	タバコ
第一毛織	繊維、衣類	唐津工場	忠清南道	機能性樹脂（ポリエステル）
南栄L&F	繊維、衣類	天安工場	忠清南道	下着、ストッキング
裕華	繊維、衣類	大田工場	忠清南道	衣料（ジャケット、スカート）
錦湖石油化学	化学	牙山工場	忠清南道	フォトレジスト、剥離剤など
韓国ポリオル	化学	泰山工場	忠清南道	CMPパッド、電子関連化学品
東邦アグロ	化学	扶余工場	忠清南道	動物用薬品
世元化成	化学	大田工場	忠清南道	樹脂、ウレタンフォーム
LG化学	化学	大山工場	忠清南道	VCM, PVC
サムスンタル石油化学	化学	大山工場	忠清南道	エチレン、プロピレン
サムスン石油化学	化学	大山工場	忠清南道	PIA
現代石油化学	化学	大山工場	忠清南道	エチレン、プロピレン
現代産業開発	化学	唐津工場	忠清南道	PPコンパウンド
現代オイルバンク	化学	大山工場	忠清南道	ベンゼン、パラキシレン
権華製薬	塗料・医薬	公州工場	忠清南道	医薬品（KGMP）
現代薬品工業	塗料・医薬	天安第1工場	忠清南道	医薬品、清涼飲料
現代薬品工業	塗料・医薬	天安第2工場	忠清南道	医薬品、清涼飲料
ハンオル製薬	塗料・医薬	大田工場	忠清南道	水液剤、抗生物質
東星製薬	塗料・医薬	牙山工場	忠清南道	医薬品、化粧品
韓国タイヤ	ゴム・プラスチック	大田工場	忠清南道	タイヤ
ネクセン	ゴム・プラスチック	大田工場	忠清南道	チューブ、タイヤ
和承インダストリー	ゴム・プラスチック	牙山工場	忠清南道	BOPPフィルム、通気性フィルム
映南化学	ゴム・プラスチック	大田工場	忠清南道	軟性プラスチック発泡製品
亜細亜セメント	非金属鉱物	大田工場	忠清南道	レミコン
現代セメント	非金属鉱物	大川工場	忠清南道	セメント
東部製鋼	第一次金属	牙山工場	忠清南道	冷延鋼板
INI スチール	第一次金属	唐津工場	忠清南道	自動車用冷延コイル製品
大洋金属	第一次金属	礼山工場	忠清南道	冷延鋼板
ヒュースチール	第一次金属	唐津工場	忠清南道	鋼管
東洋鉄管	第一次金属	天安工場	忠清南道	鋼管
SNG21	機械・装備製造	天安工場	忠清南道	レミコン
漢擎空調	機械・装備製造	大田工場	忠清南道	クーラー、ヒーター
龍津コーウェイ	機械・装備製造	公州工場	忠清南道	浄水器、洗浄器
シンドリコ	事務用機械	牙山工場	忠清南道	複写機、プリンター
サムスン電子	映像・音響・通信機器	天安工場	忠清南道	モバイル、IT液晶
サムスン電子	映像・音響・通信機器	湯井工場	忠清南道	TV液晶
ダハムE-テック	映像・音響・通信機器	天安第1工場	忠清南道	CD、DVDプレーヤー
ダハムE-テック	映像・音響・通信機器	天安第2工場	忠清南道	CD、DVDプレーヤー
ダハムE-テック	映像・音響・通信機器	天安第3工場	忠清南道	CD、DVDプレーヤー
AP宇宙通信	映像・音響・通信機器	唐津工場	忠清南道	映像音響・通信装備
サムスンSDI	映像・音響・通信機器	天安工場	忠清南道	PDPパネル
ハイトロンシステムズ	映像・音響・通信機器	天安工場	忠清南道	CCTVレコーダー、CCTVカメラ、モニター
大元電線	電気機械・変換装置	禮山工場	忠清南道	電力電線
日進電機	電気機械・変換装置	天安工場	忠清南道	アルミニウム
新光起業	電気機械・変換装置	牙山工場	忠清南道	照明機器
起亜自動車	自動車・造船・航空	瑞山工場	忠清南道	Morning
現代自動車	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	Sonata Grandeur (Asera)、エンジン
GM大宇	自動車・造船・航空	保寧工場	忠清南道	4速、6速ATトランスミッション
現代モービス	自動車・造船・航空	天安工場	忠清南道	ABS、エアバックなど
現代モービス	自動車・造船・航空	瑞山工場	忠清南道	シャシモジュール
現代モービス	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	フロントエンドモジュール
明和工業	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	ナックル、ウォーターポンプ
WIA	自動車・造船・航空	瑞山工場	忠清南道	シャシモジュール
柳成企業	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	ピストンリング、シリンダーライナー、カムシャフト
韓一理化	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	ドアトリム、カバーシェルフ、パッケージトレイ
東園金属工業	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	ドアフレーム、ドアモジュール
東国実業	自動車・造船・航空	牙山工場	忠清南道	自動車用プラスチック内装材
DI	精密機械	天安工場	忠清南道	半導体
未来産業	精密機械	天安工場	忠清南道	テストハンドラー、チップマウンター

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

< 全羅北道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
BYC	繊維、衣類	全州工場	全羅北道	ファッション下着
泰昌	繊維、衣類	益山工場	全羅北道	縫製品（下着）
大韓紡織	繊維、衣類	全州工場	全羅北道	染色加工綿織物
フュービス	繊維、衣類	全州工場	全羅北道	ポリエステル
南韓製紙	木材、木製品、パルプ、紙	井州工場	全羅北道	アート紙、白上紙
ペーパー코리아	木材、木製品、パルプ、紙	群山工場	全羅北道	新聞用紙
モナリザ	木材、木製品、パルプ、紙	全州工場	全羅北道	巻紙
ハンソルホームデコ	木材、木製品、パルプ、紙	益山工場	全羅北道	木質板床材、木材
白光産業	化学	群山工場	全羅北道	苛性ソーダ
東洋製鉄化学	化学	群山工場	全羅北道	酢酸、TDI
新湖油化	化学	群山工場	全羅北道	合成樹脂
国都化学	化学	益山工場	全羅北道	ポリエステル樹脂
韓農化成	化学	群山工場	全羅北道	グリコールエーテル
三養化成	化学	全州工場	全羅北道	ポリカーボネード
LG生命科学	塗料・医薬	益山工場	全羅北道	医薬品、精密化学製品
ナショナルプラスチック	ゴム・プラスチック	井州工場	全羅北道	プラスチック射出製品
韓国ガラス工業	非金属鉱物	群山第1工場	全羅北道	フロート硝子
韓国ガラス工業	非金属鉱物	群山第2工場	全羅北道	フロート硝子
韓国ガラス工業	非金属鉱物	群山第3工場	全羅北道	フロート硝子
現代セメント	非金属鉱物	全州工場	全羅北道	セメント
世亜ベスチール	第一次金属	群山工場	全羅北道	特殊鋼
世亜鉄鋼	第一次金属	群山工場	全羅北道	鋼管
大韓鋅箔紙工業	第一次金属	峨山工場（群山）	全羅北道	アルミ箔、アルミニウム薄紙
東洋物産企業	機械・装備製造	裡里第1工場	全羅北道	洋食器
東洋物産企業	機械・装備製造	裡里第2工場	全羅北道	洋食器
光電子	映像・音響・通信機器	益山第1工場	全羅北道	トランジスター
光電子	映像・音響・通信機器	益山第2工場	全羅北道	トランジスター
韓国光電子	映像・音響・通信機器	益山第1工場	全羅北道	光半導体ウェーハ、素子、モジュール、ユニット
韓国光電子	映像・音響・通信機器	益山第2工場	全羅北道	光半導体ウェーハ、素子、モジュール、ユニット
韓国光電子	映像・音響・通信機器	益山第3工場	全羅北道	光半導体ウェーハ、素子、モジュール、ユニット
韓国光電子	映像・音響・通信機器	益山第4工場	全羅北道	光半導体ウェーハ、素子、モジュール、ユニット
LG電線	電気機械・変換装置	全州工場	全羅北道	電線
喜星電線	電気機械・変換装置	全州工場	全羅北道	電力ケーブル
現代自動車	自動車・造船・航空	全州工場	全羅北道	中大型トラック、中大型バス、特別目的車
GM大宇	自動車・造船・航空	群山工場	全羅北道	Lacetti, Rezzo, DE, 変速機
Tata大宇商用車	自動車・造船・航空	群山工場	全羅北道	大型トラックNovus, 中型トラック
萬都	自動車・造船・航空	益山工場	全羅北道	サスペンション、ショックアブソーバー
韓一理化	自動車・造船・航空	益山工場	全羅北道	ドアトリム
ジーコ	自動車・造船・航空	裡里工場	全羅北道	自動車用ウォーターポンプ、オイルポンプ
東洋機電	自動車・造船・航空	裡里工場	全羅北道	自動車部品、油圧機器、産業機械
DI	精密機械	群山工場	全羅北道	半導体

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

<全羅南道>

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
クラウン製菓	食品	光州工場	全羅南道	ビスケット、ウェハース、キャンディ、チョコレート
大韓製糖	食品	光州工場	全羅南道	製糖、飼料
宝海醸造	食品	木浦工場	全羅南道	焼酎、梅酒などのリキュール
斗山	食品	光州工場	全羅南道	酒類、飼料
京紡	繊維、衣類	光州工場	全羅南道	綿糸、綿織物
全紡	繊維、衣類	光州工場	全羅南道	糸、布類
第一毛織	繊維、衣類	麗水工場	全羅南道	人工大理石
ハンファ石油化学	化学	麗水工場	全羅南道	EDC、苛性ソーダ、塩素など
錦湖石油化学	化学	麗水工場	全羅南道	ブタジェン
東洋製鉄化学	化学	光陽工場	全羅南道	ベンゼン、トルエン
韓国ファインケミカル	化学	麗水工場	全羅南道	TDI、塩酸
湖南石油化学	化学	麗水工場	全羅南道	合成樹脂
LG生活健康	化学	麗水工場	全羅南道	生活用品、化粧品
LG化学	化学	麗水工場	全羅南道	EDC、VCM
LG化学	化学	羅州工場	全羅南道	ブタノール
大林産業	化学	麗水工場	全羅南道	ブテン、イソブテン
ポリミレイ	化学	麗水工場	全羅南道	PP
麗川NCC	化学	麗水工場	全羅南道	エチレン、プロピレン
錦湖P&B化学	化学	麗水工場	全羅南道	キュメン、フェノール
錦湖三井化学	化学	麗水工場	全羅南道	ニトロベンゼン
韓和ラクタム	化学	麗水工場	全羅南道	カプロラクタム
三南石油化学	化学	麗水工場	全羅南道	PTA
LG石油化学	石油精製品	麗水工場	全羅南道	NCC、HDPE
錦湖産業	ゴム・プラスチック	光州工場	全羅南道	タイヤ
朝鮮耐火	非金属鉱物	光陽工場	全羅南道	耐火物
皇信洋灰	非金属鉱物	潭陽工場	全羅南道	セメント
高麗セメント	非金属鉱物	光陽工場	全羅南道	セメント
太原物産	非金属鉱物	麗川工場	全羅南道	石膏
金剛高麗化学	非金属鉱物	麗川工場	全羅南道	石膏ボード
ホスコ	第一次金属	光陽製鉄所	全羅南道	熱延、冷延、自動車用API
現代ハイスコ	第一次金属	順天工場	全羅南道	冷延コイル、電気垂鉛メッキコイル
文培鉄鋼	第一次金属	光陽工場	全羅南道	厚板
ヒューステール	第一次金属	大佛工場	全羅南道	鋼管
DSR製鋼	第一次金属	順天第1工場	全羅南道	製鋼
DSR製鋼	第一次金属	順天第2工場	全羅南道	製鋼
DSR製鋼	第一次金属	順天繊維工場	全羅南道	繊維
DSR製鋼	第一次金属	光陽工場	全羅南道	ステンレス製品
東亜エステク	組立金属	和順工場	全羅南道	鋼材防護柵、ガードレール
新韓IS	機械・装備製造	順天工場	全羅南道	鋼橋、環境設備
貨泉機工	機械・装備製造	光州工場	全羅南道	金属工作機械
錦湖電機	電気機械・変換装置	光州工場	全羅南道	LCD部品
ロケット電気	電気機械・変換装置	光州工場	全羅南道	乾電池
起亜自動車	自動車・造船・航空	光州工場	全羅南道	Sportage, Bongo, III, 軍用車、大型バス
現代モータース	自動車・造船・航空	光州工場	全羅南道	コックピットモジュール
WIA	自動車・造船・航空	光州工場	全羅南道	商用車・RVシャシモジュール

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

< 慶尚北道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
南陽乳業	食品	慶州工場	慶尚北道	牛乳及び乳製品加工
麒麟	食品	大邱工場	慶尚北道	製パン・製菓
宇星飼料	食品	大邱工場	慶尚北道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
宇星飼料	食品	慶山工場	慶尚北道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
高麗産業	食品	新坪工場	慶尚北道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
高麗産業	食品	大邱工場	慶尚北道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
大韓紡織	繊維、衣類	月背工場	慶尚北道	染色加工綿織物
暁星	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ナイロン、スパンデックス
コーロン	繊維、衣類	金泉工場	慶尚北道	ナイロン、ポリエステル
コーロン	繊維、衣類	慶山工場	慶尚北道	ポリエステル
コーロン	繊維、衣類	大邱工場	慶尚北道	ナイロン
コーロン	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ナイロン、ポリエステル
セハン	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
星安	繊維、衣類	大邱工場	慶尚北道	加工、生地、ニットなど
世洋産業	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	加工生地
世洋産業	繊維、衣類	大邱工場	慶尚北道	加工生地
東一ファブリック	繊維、衣類	慶山工場	慶尚北道	芯地、織物
東国合織	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
韓国合織	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
星安	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
金剛	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
東レセハン	繊維、衣類	亀尾工場	慶尚北道	ポリエステル
鮮昌産業	木材、木製品、パルプ、紙	大邱工場	慶尚北道	合板
世林製紙	木材、木製品、パルプ、紙	大邱工場	慶尚北道	白板紙
東洋製鉄化学	化学	浦項工場	慶尚北道	無水フタル酸、ナフタレン
朝肥	化学	安東工場	慶尚北道	複合肥料
東部韓農化学	化学	亀尾工場	慶尚北道	農薬
慶農	化学	大邱工場	慶尚北道	水和剤、油剤
コーロン油化	化学	金泉工場	慶尚北道	フェノール樹脂
KIP	化学	金泉工場	慶尚北道	PCM
韓国電気硝子	非金属鉱物	亀尾工場	慶尚北道	ガラス基板
朝鮮耐火	非金属鉱物	浦項工場	慶尚北道	耐火物
韓一セメント工業	非金属鉱物	伽倻工場	慶尚北道	レミタル
亜細亜セメント	非金属鉱物	大邱工場	慶尚北道	レミコン
現代セメント	非金属鉱物	永川工場	慶尚北道	セメント
ユニオン	非金属鉱物	浦項工場	慶尚北道	特殊モルタル
白光素材	非金属鉱物	慶州工場	慶尚北道	生石灰
ポスコ	第一次金属	浦項製鉄所	慶尚北道	熱延、厚板、線材、冷延、電気鋼板、ステンレス鋼
現代ハイスコ	第一次金属	大邱工場	慶尚北道	冷延製品、鋼管製品
文培鉄鋼	第一次金属	浦項工場	慶尚北道	厚板
世亜鉄鋼	第一次金属	浦項工場	慶尚北道	鋼管
韓国鉄管工業	第一次金属	浦項工場	慶尚北道	ダクタイル鉄管
韓一鉄鋼	第一次金属	浦項第1工場	慶尚北道	鋼管
韓一鉄鋼	第一次金属	浦項第2工場	慶尚北道	鋼管
東洋錫板	第一次金属	浦項工場	慶尚北道	鋼板
南鮮アルミニウム	第一次金属	論工工場	慶尚北道	アルミサッシ
南鮮アルミニウム	第一次金属	大邱工場	慶尚北道	アルミサッシ
豊山	第一次金属	安康工場	慶尚北道	電気鋼
朝日アルミニウム工業	第一次金属	大邱工場	慶尚北道	アルミニウム板
朝日アルミニウム工業	第一次金属	珍良工場	慶尚北道	アルミニウム板
浦項鋼板	第一次金属	浦項工場	慶尚北道	カラー鋼板、アルミニウムメッキ鋼板
大興AL	第一次金属	大邱工場	慶尚北道	食器用アルミ板材
現代金属	組立金属	大邱工場	慶尚北道	ドアロック
三益LMS	組立金属	大邱工場	慶尚北道	自動化機器、産業用機械装備
KIC	組立金属	浦項第1工場	慶尚北道	加熱炉
KIC	組立金属	浦項第2工場	慶尚北道	加熱炉
朝鮮線材	組立金属	浦項工場	慶尚北道	溶接材料
三和王冠	組立金属	永川工場	慶尚北道	アルミニウム、プラスチックキャップ
世元E&T	組立金属	慶州工場	慶尚北道	ワイヤーハーネス
大同工業	機械・装備製造	大邱工場	慶尚北道	農機械（トラクター）
新韓TS	機械・装備製造	浦項工場	慶尚北道	鋼橋、環境設備
南鮮ホームウェア	機械・装備製造	軍威工場	慶尚北道	アルミニウム器物、鍋、フライパン
マグナチップ半導体	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	ノンメモリ
KDS	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	LCDモニター、PCモニター
コリアサーキット	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	プリント基板
LG電子	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	デジタルディスプレイ
LGディスプレイ	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	中小型モニター用液晶
梨樹ベタシス	映像・音響・通信機器	大邱工場	慶尚北道	印刷回路基板製品
LGフィリップスLCD	映像・音響・通信機器	亀尾工場	慶尚北道	LCD
LGフィリップスLCD	映像・音響・通信機器	浦項工場	慶尚北道	モジュール
東海電装	電気機械・変換装置	大邱工場	慶尚北道	自動車用電気機器
韓国パワートレイン	自動車・造船・航空	大邱工場	慶尚北道	トルクコンバーター、エンジンブリー
相信ブレーキ	自動車・造船・航空	大邱第1工場	慶尚北道	ブレーキパッド、ブレーキライニング
相信ブレーキ	自動車・造船・航空	大邱第2工場	慶尚北道	ブレーキアッセンブリー
相信ブレーキ	自動車・造船・航空	大邱第3工場	慶尚北道	大型ブレーキライニング
世元EGS	自動車・造船・航空	慶州工場	慶尚北道	ワイヤーハーネス
三立産業	自動車・造船・航空	大邱工場	慶尚北道	ヘッドライト、サッシ、ハンドル
和信	自動車・造船・航空	永川第1工場	慶尚北道	アーム、サスペンション、サッシ
和信	自動車・造船・航空	永川第2工場	慶尚北道	アーム、サスペンション、サッシ
東国金属工業	自動車・造船・航空	慶山工場	慶尚北道	ドアフレーム、ドアモジュール
平和産業	自動車・造船・航空	大邱工場	慶尚北道	自動車用防振部品

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

＜慶尚南道＞

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
東源水産	食品	釜山第1工場	慶尚南道	刺身用マグロ
東源水産	食品	釜山第2工場	慶尚南道	刺身用マグロ
ピングレ	食品	金海工場	慶尚南道	加工乳や氷菓類
五洋水産	食品	釜山工場	慶尚南道	遠洋漁業と水産加工
韓星企業	食品	蔚山工場	慶尚南道	冷凍食品などの水産物加工品
韓星企業	食品	金海工場	慶尚南道	冷凍食品などの水産物加工品
韓星企業	食品	釜山工場	慶尚南道	冷凍食品などの水産物加工品
大韓製粉	食品	釜山工場	慶尚南道	製粉
ロッテ製菓	食品	梁山工場	慶尚南道	アイス
大韓製糖	食品	蔚山工場	慶尚南道	過酸化水素、飼料
高麗産業	食品	釜山工場	慶尚南道	養豚、畜牛、養鶏用飼料
舞鶴酒精	食品	松原工場 (馬山)	慶尚南道	酒精
ハイト麦酒	食品	馬山工場	慶尚南道	ビール
又醒ネクスティア	食品	釜山工場	慶尚南道	スナック類
マニカ	食品	蔚山工場	慶尚南道	肉加工
日新紡織	繊維、衣類	昌原工場	慶尚南道	原糸、加工糸、織物
曉星	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	ナイロン、ポリエステル
泰光産業	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	アクリル、スパンデックス、ナイロン
SKケミカル	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	石油化学、化学樹脂
三養社	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	化学製品、食品
大韓化繊	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	ポリエステル
大裕	繊維、衣類	馬山工場	慶尚南道	化学系、電子部品
泰昌企業	繊維、衣類	梁山工場	慶尚南道	デニム、コールテン、ベルベット
KITV	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	産業用包装資材
源林	繊維、衣類	釜山工場	慶尚南道	産業用包装資材
高合	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	ナイロン、ポリエステル
フュービス	繊維、衣類	蔚山工場	慶尚南道	ポリエステル
韓一合織	繊維、衣類	馬山工場	慶尚南道	アクリル
ACTS	繊維、衣類	釜山工場	慶尚南道	衣料、自動車シートカバー
三洋通商	繊維、衣類	釜山第1工場	慶尚南道	皮革、スポーツ用品
三洋通商	繊維、衣類	釜山第2工場	慶尚南道	皮革、スポーツ用品
盛昌企業	木材、木製品、パルプ、紙	釜山工場	慶尚南道	合板
韓国製紙	木材、木製品、パルプ、紙	温山工場	慶尚南道	アート紙、白上紙
韓国輸出包装工業	木材、木製品、パルプ、紙	釜山工場	慶尚南道	ダンボール紙
韓国輸出包装工業	木材、木製品、パルプ、紙	梁山工場	慶尚南道	ダンボール紙
韓昌製紙	木材、木製品、パルプ、紙	梁山工場	慶尚南道	白板紙
亜細亜製紙	木材、木製品、パルプ、紙	昌原工場	慶尚南道	ダンボール生地
新茂林製紙	木材、木製品、パルプ、紙	晋州工場	慶尚南道	白上紙、アート紙
カプロ	化学	蔚山第1工場	慶尚南道	カプロラクタム
カプロ	化学	蔚山第2工場	慶尚南道	カプロラクタム
カプロ	化学	蔚山第3工場	慶尚南道	カプロラクタム
ハンファ石油化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	EDC、苛性ソーダ、塩素など
ハンファ石油化学	化学	鎮海工場	慶尚南道	DOP
錦洋	化学	釜山工場	慶尚南道	発泡剤
錦洋	化学	温山工場	慶尚南道	発泡剤
錦湖石油化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	PS、EPSなど
錦湖石油化学	化学	温山工場	慶尚南道	プラスチック
梨樹化学	化学	温山工場	慶尚南道	アルキルベンゼン
東洋製鉄化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	無水フタル酸、DOP
韓国ポリオール	化学	蔚山工場	慶尚南道	ポリエーテルポリオール
サムスン精密化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	精密化学
朝肥	化学	蔚山工場	慶尚南道	複合肥料
東部韓農化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	高純度リン酸、硝酸、硫酸
松原産業	化学	蔚山工場	慶尚南道	酸化防止剤
東成化学	化学	釜山工場	慶尚南道	履物、皮革用ポリウレタン
コーロン油化	化学	蔚山工場	慶尚南道	石油樹脂
韓国ポリウレタン工業	化学	釜山工場	慶尚南道	ポリウレタンフォーム
進洋	化学	蔚山工場	慶尚南道	プラスチック
大韓油化工業	化学	温山工場	慶尚南道	HDPE、PP
進洋化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	合成樹脂
LG化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	PVC可塑剤
KPケミカル	化学	蔚山第1工場	慶尚南道	ベンゼン、キシレン
KPケミカル	化学	蔚山第2工場	慶尚南道	ベンゼン、キシレン
サムスン石油化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	PTA
サムスンBP化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	酢酸、VAM
二村化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	高分子凝集剤
龍山化学	化学	蔚山工場	慶尚南道	アクリルアミド
韓国アルコール産業	化学	蔚山工場	慶尚南道	合成エタノール
建設化学工業	塗料・医薬	釜山工場	慶尚南道	塗料
朝光ベイント	塗料・医薬	釜山工場	慶尚南道	塗料、ウレタン
SKC	石油精製品	蔚山工場	慶尚南道	原油、ベンゼン
愛敬油化	石油精製品	蔚山工場	慶尚南道	無水フタル酸
SKコーポレーション	石油精製品	蔚山工場	慶尚南道	エチレン、プロピレン
S-Oil	石油精製品	温山工場	慶尚南道	原油、ベンゼン
韓国シェル石油	石油精製品	釜山工場	慶尚南道	潤滑油
美昌石油工業	石油精製品	釜山工場	慶尚南道	潤滑油
極東油化	石油精製品	梁山工場	慶尚南道	潤滑油
極東油化	石油精製品	釜山工場	慶尚南道	潤滑油

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
韓国タイヤ	ゴム・プラスチック	錦山工場	慶尚南道	タイヤ
ネクセンタイヤ	ゴム・プラスチック	梁山工場	慶尚南道	タイヤ
ネクセン	ゴム・プラスチック	釜山工場	慶尚南道	チューブ、タイヤ
東亜タイヤ工業	ゴム・プラスチック	梁山工場	慶尚南道	チューブ、タイヤ
東一ゴムベルト	ゴム・プラスチック	釜山工場	慶尚南道	Vベルト、窓ゴム
東一ゴムベルト	ゴム・プラスチック	梁山工場	慶尚南道	Vベルト、窓ゴム
和承R&A	ゴム・プラスチック	梁山工場	慶尚南道	産業用ゴム製品（自動車用ホース）
栗村化学	ゴム・プラスチック	梁山工場	慶尚南道	包装材、フィルム
和承インダストリー	ゴム・プラスチック	釜山工場	慶尚南道	BOPPフィルム、通気性フィルム
韓国カーボン	ゴム・プラスチック	密陽工場	慶尚南道	カーボン素材
白産	ゴム・プラスチック	釜山工場	慶尚南道	プラスチック製品
韓国電気硝子	非金属鉱物	釜山工場	慶尚南道	ガラス基板
大林窯業	非金属鉱物	昌原工場	慶尚南道	陶器、タイル
韓一セメント工業	非金属鉱物	釜山工場	慶尚南道	レミコン
韓一セメント工業	非金属鉱物	金海工場	慶尚南道	レミコン
太原物産	非金属鉱物	蔚山工場	慶尚南道	石膏
釜山産業	非金属鉱物	釜山工場	慶尚南道	レミコン
韓国石油工業	非金属鉱物	蔚山工場	慶尚南道	アスファルト
韓国耐火	非金属鉱物	金海工場	慶尚南道	耐火物
東国製鋼	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	棒形鋼、厚板
韓国鉄鋼	第一次金属	馬山工場	慶尚南道	鉄筋
韓国鉄鋼	第一次金属	昌原工場	慶尚南道	鉄筋
ユニオンスチール	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	冷延鋼板、めっき鋼板
BNGスチール	第一次金属	昌原工場	慶尚南道	ステンレス鋼板
現代ハイスコ	第一次金属	蔚山工場	慶尚南道	冷延製品、鋼管製品
現代ハイスコ	第一次金属	蔚山工場	慶尚南道	鋼管
韓国特殊形鋼	第一次金属	釜山第1工場	慶尚南道	形鋼、棒鋼
韓国特殊形鋼	第一次金属	釜山第2工場	慶尚南道	形鋼、棒鋼
韓国金属工業	第一次金属	梁山工場	慶尚南道	一般鋼、特殊鋼
韓国鉄管工業	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	ダクタイル鉄管
高麗製鋼	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	鋼擦線、ワイヤーロープ
万鎭製鋼	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	ワイヤーロープ
高麗亜鉛	第一次金属	温山工場	慶尚南道	亜鉛、電気銀
豊山	第一次金属	温山第1工場	慶尚南道	電気銅
豊山	第一次金属	温山第2工場	慶尚南道	電気銅
DCM	第一次金属	梁山工場	慶尚南道	ラミネート鋼板
DSR製鋼	第一次金属	釜山工場	慶尚南道	ワイヤーロープ
世信	組立金属	梁山第1工場	慶尚南道	洋食器、韓食器
世信	組立金属	梁山第2工場	慶尚南道	洋食器、韓食器
世信	組立金属	昌原工場	慶尚南道	洋食器、韓食器
金剛工業	組立金属	釜山工場	慶尚南道	鋼管、架設材
朝鮮線材	組立金属	温山工場	慶尚南道	溶接材料
裕星金属	組立金属	梁山工場	慶尚南道	ボルト、ナット
IMKバップアロー	組立金属	昌原工場	慶尚南道	手工具、鍛造品
STXエンジン	組立金属	昌原工場	慶尚南道	船舶、防衛産業用エンジン
東洋物産企業	機械・装備製造	昌原工場	慶尚南道	農機械
貨泉機械工業	機械・装備製造	昌原第1工場	慶尚南道	自動車部品（自動車エンジン用シリンダーブロック）
貨泉機械工業	機械・装備製造	昌原第2工場	慶尚南道	自動車部品（自動車エンジン用シリンダーブロック）
韓国鋳鋼	機械・装備製造	蔚山工場	慶尚南道	鋳鋼品、鋼管
大慶機械技術	機械・装備製造	蔚山工場	慶尚南道	熱交換器、ボイラー
STX	機械・装備製造	昌原工場	慶尚南道	エンジン、造船機資材
斗山重工業	機械・装備製造	昌原工場	慶尚南道	発電設備、淡水化施設
三栄	機械・装備製造	昌原工場	慶尚南道	空冷式冷却機
ファーステック	事務用機械	昌原工場	慶尚南道	電子自動制御機器部品
大東電子	映像・音響・通信機器	昌原工場	慶尚南道	射出・組立・金型
サムスンSDI	映像・音響・通信機器	蔚山工場	慶尚南道	PDPパネル
現代オートネット	映像・音響・通信機器	蔚山工場	慶尚南道	オーディオ、電装品、AV
LG産電	電気機械・変換装置	昌原工場	慶尚南道	電力機器、金属加工、自動化機器
世邦電池	電気機械・変換装置	昌原工場	慶尚南道	自動車用蓄電池、産業用蓄電池
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山第1工場	慶尚南道	Accent, Getz
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山第2工場	慶尚南道	Santa Fe, Centennial, Tucson
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山第3工場	慶尚南道	Elantra, Coupe
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山第4工場	慶尚南道	H-1 Trajet, H-100 Truck
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山第5工場	慶尚南道	Tucson
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山エンジン工場	慶尚南道	エンジン
現代自動車	自動車・造船・航空	蔚山6AT工場	慶尚南道	6ATトランスミッション
GM大宇	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	Matiz, Labo, Damas
ルノー三星	自動車・造船・航空	釜山工場	慶尚南道	SM3, SM5, SM7, GE
大宇バス	自動車・造船・航空	釜山田浦工場	慶尚南道	バス
大宇バス	自動車・造船・航空	釜山東萊工場	慶尚南道	バス
大宇バス	自動車・造船・航空	蔚山工場	慶尚南道	バス
現代モービス	自動車・造船・航空	蔚山工場	慶尚南道	モジュール、ホイール
現代モービス	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	ブレーキ類、ポンプ類
明和工業	自動車・造船・航空	蔚山工場	慶尚南道	ブレーキドラム、ブレーキディスク
WIA	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	工作機械
統一重工業	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	車両部品（車軸、変速機）
大円鋼業	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	スプリング、シート
三星空調	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	ラジエーター、オイルクーラー
カスコ	自動車・造船・航空	昌原工場	慶尚南道	ブレーキ、駆動装置
釜山鑄工	自動車・造船・航空	釜山工場	慶尚南道	ブレーキ、エンジンブロック、動力伝達装置
韓国フランジ工業	自動車・造船・航空	蔚山第1工場	慶尚南道	フロントアクセル、リアアクセル

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

< 済州道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
東部韓農化学	化学	済州工場	済州道	複合肥料
東洋メジャー	非金属鉱物	済州工場	済州道	レミコン

< 江原道 >

企業名	カテゴリー	工場	エリア	製品
ハイト麦酒	食品	洪川工場	江原道	ビール
相林	繊維、衣類	原州工場	江原道	皮革生地、皮革衣料
東部韓農化学	化学	東海工場	江原道	フェロアロイ
双竜洋灰工業	非金属鉱物	寧越工場	江原道	セメント、レミコン
現代セメント	非金属鉱物	寧越工場	江原道	セメント
萬都	自動車・造船・航空	原州第1工場	江原道	ステアリングギア
萬都	自動車・造船・航空	原州第2工場	江原道	鋳造

出所：『韓国企業年鑑2005年版』（東洋経済日報社）

『The Korea directory』（The Korea directory） 韓国上場企業各社HP

<自動車部品産業>

企業名	工場	主な生産品目	生産能力（年）
現代モータース	蔚山工場	モジュール、ホイール	シャシモジュール 160万基 コックピットモジュール 45万基 ホイール 450万個
	天安工場	ABS、エアバックなど	ABS 100万個 エアバック 250万個 インストルメントパネル 100万個
	所下里工場	コックピットモジュール	コックピットモジュール 30万基 フロントエンドモジュール 15万基
	梨花工場	ローリングシャシモジュール	ローリングシャシモジュール 25万基 コックピットモジュール 65万基
	瑞山工場	シャシモジュール	シャシモジュール 20万基 コックピットモジュール 20万基
	光州工場	コックピットモジュール	コックピットモジュール 20万台 フロントエンドモジュール 20万台
	牙山工場	フロントエンドモジュール	シャシモジュール 30万基 コックピットモジュール 30万基 フロントエンドモジュール 30万台
	昌原工場	ブレーキ類、ポンプ類	プロペラシャフト 150万個 CBS 100万個
明和工業	ソウル工場	ブレーキディスク	ウォーターポンプ 200万個 オイルポンプ 300万個
	安山工場	オイルポンプ、ウォーターポンプ	
	蔚山工場	ブレーキドラム、ブレーキディスク	
	牙山工場	ナックル、ウォーターポンプ	
萬都	平沢工場	マスターシリンダー、バキュームブースター	マスターシリンダー 340万個 バキュームブースター 350万個 バルブ 250万個 ブレーキキャリパー 1,240万個 ドラムブレーキ 320万個 DIH型パーキングブレーキ 260万個 ABS/ESP 200万個 ボディコントロールモジュール 70万セット
	原州工場	ステアリングギア	電動アシストラック 350万個 マニュアルラック 55万個 ボールスクリュウ型ステアリングギア 40万個 ステアリングコラム 300万個 ステアリング用ユニバーサルジョイント 380万個 コラム式電動パワーステアリング 15万個 鋳造 45,000トン
	益山工場	サスペンション、ショックアブソーバー	ショックアブソーバー 850万個 サスペンションストラット 660万個 電子制御サスペンション 10万個 セルフレベライザー 26万個 セミアクティブサスペンション 10,300個
相信ブレーキ	大邱第1工場	ブレーキパッド、ブレーキライニング	ブレーキパッド 1,200万個 ライニングシュー 696万個 シートライニング 672万個 大型ブレーキアッセンブリー 180万個
	大邱第2工場	ブレーキアッセンブリー	中型ブレーキアッセンブリー 28万個 大型ブレーキアッセンブリー 94万個 パーキングブレーキ 72万個
	大邱第3工場	大型ブレーキライニング	大型ブレーキアッセンブリー 216万個
WIA	昌原工場	工作機械	工作機械20台/日
	南山工場	商用車用トランスミッション	商用車用トランスミッション 45,000基
	中洞工場	等速ジョイント、パワーステアリング	等速ジョイント 150万個 パワーステアリング 15万個
	瑞山工場	シャシモジュール	シャシモジュール 不明
	半月工場	乗用車・RVシャシモジュール	シャシモジュール 40万基
	浦升工場（平沢）	エンジン、エンジン部品	エンジン部品 不明
	光州工場	商用車・RVシャシモジュール	シャシモジュール 50万基
現代ハイスコ	順天工場	冷延コイル	冷延コイル 75万トン 電気亜鉛メッキコイル 44万トン 亜鉛メッキ鋼帯 27万トン カラー塗装コイル 16万トン ビッキング・オイルスチールコイル 18万トン
	唐津工場	冷延コイル	自動車用冷延コイル製品 200万トン
	蔚山工場	鋼管	鋼管 1,000万トン
韓国タイヤ	大田工場	タイヤ	タイヤ 3750万本
	錦山工場	タイヤ	

出所：FOURIN「アジア自動車部品産業2007」

< 自動車産業 >

企業名	業種	工場	主な生産品目	生産能力 (年)
現代自動車	普通自動車、トラック、バス、エンジン	蔚山第1工場	Accent, Getz	162万台
		蔚山第2工場	Santa Fe, Centennial, Fucson	
		蔚山第3工場	Elantra, Coupe	
		蔚山第4工場	H-1, Trajet, H-100 Truck	
		蔚山第5工場	Tucson	
		蔚山エンジン工場	エンジン	
		牙山工場	Sonata, Grandeur (Asera), エンジン	30万台
起亜自動車	普通自動車、軍用車、バス	全州工場	中大型トラック、中大型バス、特別目的車	12.5万台
		華城工場	Optima, Cerato, Carens, Sorento, Opirus	55万台
		所下里工場	Pride, Carnival	35万台
		光州工場	Sportage, Bongo III, 軍用車、大型バス	35万台
		瑞山工場	Morning	15万台
GM大宇	普通自動車、変速機、エンジン等	群山工場	Lacetti, Rezzo, DE, 変速機	自動車 26万台 エンジン25万基 変速機 26万基
		富平工場	Kalos, Gentra, Tosca, Winstorm, XKエンジン、変速機	自動車 44万台 エンジン41万基 変速機 40万基
		昌原工場	MATIZ, Labo, Damas	自動車 21万台 KDセット14万基 エンジン28万基
		保寧工場	4速、6速AT	AT 55万基
双龍自動車	普通自動車	平沢工場	Musso, Korando, Rexton, Chairman, Kyron, Actyon	22万台 (2010年～34万台)
Renault Samsung	普通自動車	釜山工場	SM3, SM5, SM7, GE	24万台 (2010年～50万台)
Tata 大宇商用車	トラック	群山工場	大型トラック、中型トラック	2万台
大宇バス	バス	釜山田浦工場	バス	6,000台
		釜山東萊工場	バス	6,000台
		蔚山工場	バス	10,000台

出所：FOURIN「アジア自動車産業2007」

< 電子パネル（液晶） >

メーカー	工場	世代	ガラス基板サイズ(mm)	月産能力(枚)
サムスン電子	器興工場L1	2	370×470	4万4000
	器興工場L2	3	550×650	4万
	天安工場L3	3	600×720	8万
	天安工場L4	4	730×920	9万
	天安工場L5	5	1100×1250	12万
	天安工場L6	5	1100×1300	12万
	湯井工場T7-1	7	1870×2200	9万
	湯井工場T7-2	7	1870×2200	9万
	湯井工場T8-1(1期)	8	2200×2500	5万
	湯井工場T8-1(2期)	8	2200×2500	6万
	湯井工場T8-2	8	2200×2500	6万
	湯井工場T9	10	3000×2200	3万
LGフィリップスLCD	亀尾工場P1	2	370×470	11万4000
	亀尾工場P2	3	590×670	11万2000
	亀尾工場P3	4	680×880	12万4000
	亀尾工場P4	5	1000×1200	11万2000
	亀尾工場P5	5	1100×1250	13万
	亀尾工場P6	6	1500×1850	13万9000
	坡州工場P7	7.5	1950×2250	7万8000
	坡州工場P8	8	2200×2500	8万3000
BOE Hydis	利川工場L1	2	370×470	2万1000
	利川工場L2	3	550×650	1万7000
	利川工場L3	3	620×720	6万
	利川工場L4	4	730×920	6万

出所：日経FPD2008

5) 東海港を利用する韓国との貿易品目のまとめ

① 東海港利用の優位性を活かしたソウル向け貨物

東海港は首都ソウルに釜山港より近く、境港～東海港フェリー利用によりソウル向けの最短コースとなり得ることから、ソウル向け貨物の東海港シフトが考えられる。

② ソウル周辺（京畿道）の産業立地状況

『韓国企業年鑑 2005 年版』（東洋経済日報社）、『The Korea directory』（The Korea directory）、韓国上場企業各社 HP によると韓国における上場企業、その他の大手メーカーの工場は合計で 799 件であり、首都ソウルの位置する京畿道に 333 件、釜山港の位置する慶尚南道に 180 件と主要工場が集中している傾向にある。

一方、東海（トンヘ）港のある江原道には、上場企業、大手メーカーの工場は 7 件と非常に少ない状況にある。

③ ターゲットとすべき業種・品目

ソウル周辺（京畿道）では、映像・音響・通信機器、電気機械、精密機械、事務用機器等の業種が集積していることから、これら企業をターゲットとした製品の輸入や素材・部品の輸出が考えられる。また、繊維・衣類、食品、塗料・医薬、家具などの日用品等の業種も集積している。これらの製品の輸入や半製品や原材料の輸出入も考えられる。

さらに、ソウル周辺（京畿道）では人口が集積していることから、食品、日用品や高級なエレクトロニクス・家電等の輸出も考えられる。

④ 東海港と連携した貨物の集荷

東海港は、2008 年 1 月よりコンテナ航路（ポストチヌイ港～東海港～釜山港）が週 1 便就航したが、輸出超過で出入のバランスが悪く陸上輸送が片荷となるため、釜山港よりソウルに近いにもかかわらず、陸上輸送コストが高く、集荷が困難な状況にある。

そのため、境港から東海港経由でソウル向けの輸出貨物が増大すれば、東海港にとっては出入のバランスが解消でき、陸上輸送コストの低減が図れるなど好循環が期待される。

また、東海港の自由貿易地域や産業団地に、国際貿易企業の立地が進めば、境港の貨物増大につながることを期待される。

したがって、東海港やフェリー会社と連携し、ターゲットを絞り、貨物や企業の誘致を図ることにより、両港発着の貨物の増大が期待される。

2-3 北東アジア物流構築

2-3-1 環日本海諸港の取組み状況

山陰における物流構築を検討するにあたり、環日本海側港湾の取組み状況の整理を行った。

(1) 環日本海諸港の動向

ロシア極東との間に、伏木富山港では、国際コンテナ航路（1984年11月）および国際フェリー航路（1994年）を既に開設しており、新潟港はコンテナ航路を2008年9月に開設し、日本海横断航路フェリーの開設目前である。また秋田港でもロシア極東とのコンテナ航路及び国際フェリー就航を目指している。さらに、広域から自動車部品などの貨物を大量に集荷するための鉄道によるトライアル輸送、シベリア・ランドブリッジや中国東北三省との取引を視野に入れた国際フェリー（ザルビノ航路）のトライアルを進めている。

敦賀港ではロシア極東への日本海横断航路の開設に向けて2009年2月に中国東北地方の吉林省琿春市と共同宣言に調印し、敦賀港～トロイツァ港（ザルビノ港）の国際コンテナ航路就航を目指して2009年度中の試験輸送の検討を始める。

また、韓国では、東海港がロシア極東とのコンテナ航路を開設させ、国際フェリー航路（境港～東海港～ウラジオストク港）も就航予定であり、背後では自由貿易地域や大規模な産業団地を開発し、輸出企業、国際物流関連産業の誘致を進めている。束草港では、束草～ザルビノ～琿春ルート開設のロシア中央政府による承諾を得、韓中合弁によるフェリー会社が設立され、2000年4月に国際定期フェリーが就航している。また、ザルビノ港を起点としたTSR（シベリア鉄道）輸送サービスを始めている。さらに、北朝鮮の羅津（ラジン）港寄港に向けた北朝鮮との協議を再開するなど、中国東北三省との貿易拡大や羅津・先鋒（ソンボン）自由経済貿易地帯との取引など、北東アジアにおける貿易拡大に向け戦略的な展開を進めている。

これらの動向を整理すると、次に示すような戦略的な取組みが行われている。

- ①航路誘致・航路開設のための組織の立ち上げ
- ②ロシア極東との定期コンテナ航路、国際RORO船（フェリー）航路の開設
- ③新たな貿易品目を開拓するための取組み
- ④広域から貨物を集荷するための国内鉄道輸送
- ⑤シベリア・ランドブリッジ・サービスの提供
- ⑥貨物量拡大に向けた産業誘致
- ⑦中国東北三省（吉林省琿春市、等）との貿易拡大に向けたザルビノ航路開設
- ⑧多国間協議による中国東北三省や北朝鮮（羅津）との貿易拡大に向けた取組み

以下に、各港の取組み状況について示す。

(2) 秋田港の取組み状況

秋田港では、官民一体となった協議会を設立し、ロシア極東とのコンテナ航路（ポストチヌイ航路）および国際フェリー航路（ザルビノ航路）の開設を目指している。また、自動車部品などを広域から大量に輸送できるよう鉄道輸送の実証実験や鉄道のコンテナターミナルへの引き込む検討を進めている。

2006 年 8 月 30 日：「秋田沿海州航路誘致推進協議会」を設立

秋田港とロシア極東との国際定期航路開設を目指し、秋田県内の官民約 40 団体参加する「秋田沿海州航路誘致推進協議会」を設立した。秋田港からの輸出力拡大がかぎとなることから、協議会は岩手、宮城、山形 3 県が取り組む自動車産業の集積に着目し、中国、ロシアなどへの自動車関連部品の輸出需要の開拓に着手している。また、秋田港とポストチヌイ港（ロシア）のコンテナ航路開設、秋田港とザルビノ港（同）とのフェリー航路開設を目指している。

▼2008 年 2 月：Sea & Rail 実証実験の実施

環日本海シーアンドレール構想検討委員会で、仙台港～ポストチヌイ港までのシー&レールの実証実験を実施した。

▼2008 年 6 月：コンテナヤードまで鉄道を延伸検討着手

秋田港を活用した「環日本海シーアンドレール構想」の実現に向け、秋田臨海鉄道北線の秋田北港駅から秋田港外港地区のコンテナヤードまでの線路延伸の可能性検討調査に着手した。

▼2008 年 7 月 8 日：FESCO と覚書

- ・秋田港～ポストチヌイ港に定期コンテナ航路を 2008 年内にも開設へ向け、秋田県とロシア船会社 FESCO が覚書を取り交わした。
- ・フェスコは秋田港とポストチヌイ港間の定期コンテナ航路を開設して 2 週間に 1 度寄港する準備があり、可能な場合には 08 年中に就航する。

(3) 新潟港の取組み状況

新潟港では、2008 年 9 月より、国際定期コンテナ航路（新潟～富山～神戸～名古屋～横浜～ポストチヌイ～ウラジオストク～（新潟））が月 1 便就航を始めている。

さらに、新潟港とロシア・トロイツァ港（ザルビノ港）、韓国・東草（ソクチョ）港を結ぶ「日本海横断航路フェリー」の調印を行い、吉林省など中国東北三省との交易を視野に入れ、2009 年 3 月末に就航を目指している。

(4) 伏木富山港の取組み状況

伏木富山港では、既に国際コンテナ航路（伏木富山～門司～神戸～名古屋～横浜～ポストチヌイ～（伏木富山））を 1984 年 11 月から、また国際貨客船ルーシー号（ウラジオストク航路）を 1994 年に開設している。

さらに、ロシア向け貨物を広域から集荷するため、伏木富山港においては、2009年2月22日に、名古屋から自動車を輸送、伏木富山港から積み出し、ウラジオストク港からシベリア鉄道（シベリア・ランドブリッジ）を使う新しい輸出ルートの開拓を目指した試験輸送の公開実験を行っている。

(5) 敦賀港の取組み状況

敦賀港がロシア極東への日本海横断航路の開設に向けて2月に中国東北地方の吉林省琿春市と共同宣言に調印。世界的不況の中での国際コンテナ便就航はハードルが高そうであるが、「大きな実験」（港湾関係者）に挑んでいる。日本海横断航路は、産学官で構成する敦賀港物流懇談会が2007年に提言。日本海の物流ルートを探していた琿春市と相互訪問する中でロシア極東が浮上、両市から比較的近いトロイツァが最有力になった。

吉林省は琿春市を日本海への窓口にしたいが、ロシアと北朝鮮に邪魔される形で海には面していない。このため日系企業などは1,300km以上も離れた大連港から日本へ輸出している。トロイツァ港だと約70kmの距離しかない。琿春市は当時既に新潟港との航路計画があったが、関西や中京市場を狙って敦賀に目を付けたようである。

河瀬一治敦賀市長と姜虎権琿春市長が署名した共同宣言は

▼作業部会の設置

▼広域的な協力体制の構築ーの二つ。

敦賀市国際交流貿易課によると、部会は4月にも置く予定。航路の問題点を洗い出し、早ければ2009年度中の試験輸送を検討する。協力体制では省や県、税関などへ幅広く呼び掛ける意向である。（中日新聞2009.3.9）

(6) 東海港（韓国）

東海港（韓国）では、2008年1月より、釜山港～ロシア・ボストチヌイ港の定期コンテナ船（長錦商船）が週1便寄港するようになり、2009年5月頃から、国際フェリー航路（境港～東海港～ウラジオストク港（DBSクルーズフェリー））が就航予定であり、就航すれば週2便のロシア極東向けの定期サービスが可能となる。

また、東海港に隣接して自由貿易地域24.8haを整備し、輸出企業、国際物流関連産業の誘致を行っており、その周辺を含めると383haの産業団地を開発中である。

(7) 束草港（韓国）

1999年7月に束草～ザルビノ～琿春ルート開設のロシア中央政府による承諾が得られ、同年10月に韓中合弁会社DONG CHUN FERRY CO.,LTD.が設立された。2000年4月には国際定期フェリーが就航している。2007年1月からは、ザルビノ港を起点としたTSR（シベリア鉄道）輸送も始めている。

2004年8月には北朝鮮の羅津（ラジン）港寄港に向けた北朝鮮との協議を再開

するなど、DONG CHUN FERRY 社は、中国東北三省との貿易のさらなる拡大や羅津・先鋒（ソンポン）自由経済貿易地帯との交易など、北東アジアにおける貿易拡大に向け戦略的な展開を進めている。

※羅津・先鋒（ソンポン）自由経済貿易地帯

1991 年 10 月 24 日、国連開発計画はこの地域（琿春・ポシエト・羅津）の開発に 300 億ドルを投資し、20 年間にわたってこの河川の下流に「第二の香港、シンガポール、ロッテルダム」を建設するという豆満江（図們江）地域開発計画を発表し、この地域ににわかに注目が集まった。1991 年 12 月、朝鮮民主主義人民共和国政務院の決定により、621km²の「**羅津・先鋒自由経済貿易地帯**」（FETZ）が設定された。1993 年 3 月には「羅津・先鋒自由経済貿易区開発計画」によって地域が拡張される。1998 年には地帯の名称が「**羅津・先鋒経済貿易地帯**」となる。計画は 1993 年～94 年の北朝鮮核問題や 96 年の飢饉など不安定な政治要因により曲折を経ているが、中国資本の投資活動や韓国とのコンテナ輸送などで一定の成果が見られている。

2-3-2 北東アジア物流構築へ向けたポイント

前項における他港の取組み状況、山陰の有する地理的優位性を踏まえ、国際フェリー、RORO 船や鉄道を活用した物流システムの構築等、物流形態について検討し、山陰各港を活かした物流振興方策において、押さえるべきポイントについて次のとおり抽出した。

(1) ウラジオストク向け週 1.5 便の PR

現在、ウラジオストク向けの RORO 船直行便サービスを行っているのは、伏木富山港の週 1 便（所要時間約 37h）及び浜田港の月 2 便（同約 36～38h）である。それ以外の航路は日本を周回する 4～5 港寄りの RORO 船航路（Fesco）、5 港寄りのコンテナ航路（JNL：Japan Nakhodka Line）、8 港寄りの在来船（JNL）である。

2009 年 5 月に、境港に DBS クルーズ・フェリー（境港～東海港～ウラジオストク港、境港～ウラジオストク港まで約 42h）が就航すると、境港と浜田港の山陰 2 港を合わせて週 1.5 便のサービスとなる。

伏木富山港の国際貨客船ルーシー号は、ウラジオストク港との間に 1994 年に就航し、現在の伏木富山港の港湾取扱貨物量（対ロシア）は 222 万トン（2006 年実績）に達し、日本海港湾の対ロシア貨物の約 3 割を占めている。今後、境港に DBS クルーズ・フェリーが週 1 便就航すると、山陰 2 港で週 1.5 便と見なすことができ、伏木富山港を上回るサービス水準となることから、広く西日本の貨物を集荷できる可能性があるものと考えられる。

また、広く貨物を集荷するためには週 1.5 便化を積極的に PR していくことが必要である。

(2) 山陰 2 港と東海港と連携したロシア極東向け週 2.5 便サービスの提供

DBS フェリーは表 2-3-1 に示すとおり境港－東海港間は週 2 便就航する予定である。現在、東海港発（金）ヴォストチヌイ着（火）の長錦商船の定期コンテナが週 1 便就航しており、これらのスケジュールをうまく調整することができれば境港～東海港～ロシア極東の週 2 便体制が可能となる。さらに、これと浜田港～ウラジオストク港の RORO 船サービスが調整できれば、山陰～ロシア極東向けサービスの 2.5 便化を図ることができ、さらに広域からの集荷が期待できる。

表 2-3-1 山陰～ロシア極東の週 2.5 便化のイメージ

		月	火	水	木	金	土	日
①DBS クルーズ・フェリー (予定)		東海港入	ウラジオストク入	東海港入	境港入	東海港入	境港入	
		東海港出	ウラジオストク出	東海港出	境港出	東海港出		境港出
②定期コンテナ (長錦商船)	現状		ヴォストチヌイ入			東海港出		
	将来			ヴォストチヌイ入			東海港出	
③浜田港 RORO 船 (想定)				浜田港出		ウラジオストク入		

(3) 境港・浜田港～ウラジオストク航路経由のシベリア・ランドブリッジ輸送

企業アンケート調査結果では、25 社が今後条件があれば境港・浜田港～ウラジオストク航路経由のシベリア・ランドブリッジを利用したいという意向を示している。国際貿易実績のある企業 226 社のうち 11%を占めるという関心の高さであった。

業種は、自動車部品 4 社、化学工業・繊維 5 社、電気機器 3 社（パソコン、プリンター等）、輸送用機器 2 社、工作機械、機械部品、金属製品、建材 2 社、家具、食品 2 社など多岐に亘っている。

企業アンケートにおけるシベリア・ランドブリッジを利用する条件とは、

- ・シベリア鉄道の輸送の安全性・信頼性が確保できれば利用する可能性がある。（10 社）
- ・コンテナのままモスクワまで一貫輸送できれば利用する可能性がある。（8 社）
- ・境港、浜田港からの航路の頻度が高くなれば使用したい。（5 社）
- ・シベリア・ランドブリッジで小口貨物の混載が可能であれば利用する可能性がある。（4 社）
- ・道路の整備が進めば利用する。（1 社）
- ・境港、浜田港からの航路の頻度が高くなれば使用したい(週 1 便程度)。（1 社）

となっている。

また、上記以外のその他の条件が合えば利用する可能性があると回答した 12 件では、「コストが安ければ」、「採算があれば」、「取引先からの要請があれば」、「モスクワから欧州（ドイツ）への輸送リードタイム」などが挙げられている。

総じて、シベリア・ランドブリッジ輸送への期待は高く、輸送の信頼性が確保でき、かつ航路の頻度が確保でき、モスクワまでコンテナによる一貫輸送ができれば利用したいという荷主企業は多い。

そのため、シベリア・ランドブリッジを実現するためには、境港・浜田港～ウラジオストク港の航路の維持・拡充およびシベリア・ランドブリッジ輸送の信頼性の確保が不可欠であり、ロットを拡大するための貨物の集荷が鍵となる。

秋田港、伏木富山港においてもシベリア・ランドブリッジ輸送の輸出トライアルの実証実験が進められている。

(4) 港湾へのアクセスの拡充

山陰側港湾の最大の問題は、人口、産業の集積する太平洋側、瀬戸内側から離れていることである。これらを解消し、北東アジアのゲートウェイ機能を強化するためには、港湾へアクセスする高速道路網の整備が不可欠である。

さらに、陸上輸送コストを低減するために、阪神、岡山、広島など貨物の集荷が

見込まれる拠点から国際フェリー・RORO 船のスケジュールに合わせた貨物シャトル便や共同輸送トラック便を定期的に運行するなどのサービスを行うことが必要である。

(5) 鉄道網の整備

秋田港や伏木富山港など他圏域の港湾では、自動車部品などを広範囲から集荷するために、ロシア極東向け海上定期便に接続した鉄道輸送の一貫輸送（Sea & Rail）のトライアルを昨年度及び今年度実施している。ロットが見込める自動車部品の生産地が遠いこと、また欧州向けに輸出する企業は CO2 排出量の削減を進めていることから、生産地からの長距離輸送に鉄道輸送を用いたトライアルを実施している。

一方、境港までの鉄道網は整備されておらず、コンテナ貨物の取扱いは米子駅までとなっている。広範囲から自動車部品等を大量輸送するためには、荷主企業のニーズに応じたサービスの提供が求められることから、背後の鉄道網の境港までの延伸が必要である。

(6) 港湾施設の整備

山陰側の港湾が、北東アジアのゲートウェイとして機能するためには、十分な広さのヤード、小口貨物を扱う物流施設やインランド・デポ、生鮮を扱う冷蔵・冷凍倉庫、国際旅客ターミナルなど港湾インフラの整備が必要である。

3. 短・中長期戦略検討

3-1 アクションプログラム検討

3-1-1 短・中長期的戦略

前項で述べた具体的施策については、一定の期間ごとの目標、チャンスをにらんだ戦略として展開することが有効である。このため、短・中長期ごとの戦略について検討を行い、提案する。

(1) 短期的戦略（１～３年程度）

環日本海における山陰の地理的優位性から、平成 20 年 7 月に浜田港～ウラジオストク港を結ぶ RORO 船のダイレクト便が月 2 便就航開始、平成 21 年 5 月頃から境港～東海港～ウラジオストク港の 3 ヶ国間フェリーが就航予定であるなど環日本海の交易の活発化が期待されている。このポテンシャルを活かし、将来に向けて大きく発展していくためには、対岸諸国とダイレクトに結ばれるこれらの航路を維持していくことが当面の最重要課題である。そのため、短期施策としては山陰圏におけるソフト・ハード両面の機能整備を行うとともに、集荷の拡大、貿易ルートの確立を目指す。

(2) 中長期的戦略（１～５年程度）

中長期施策としては、これら航路を軌道に乗せつつ、航路の拡大による西日本における北東アジアゲートウェイとして機能の推進を図る。あわせて対岸諸国の情報を蓄積し、ビジネス交流を促進しながら、相手国との信頼関係を構築し、相手国との協働により更なる貿易拡大を図っていく。ビジネス対象範囲は当初のロシア極東、韓国東海岸からソウル、中国東北三省へと拡大していく。さらには、ロシア西部（モスクワ、サンクトペテルブルク）、欧州へとシベリア鉄道を活用したビジネス交流圏域の拡大を目指した展開を図っていく。

1. 短期施策（１～３年スパン）

【目 標】： 現行航路（浜田～ウラジオRORO船、境港DBSフェリー）の維持

【方向性】： 山陰圏におけるソフト・ハード両面の機能整備（情報収集・プロモーション機能、人材育成）

対ロシア・対韓国貿易品目の集荷拡大、貿易ルートの確立

対中国東北3省の情報収集

2. 中長期施策（１～５年スパン）

【目 標】： 航路拡大による北東アジアゲートウェイ機能の推進

【方向性】： 相手国との協働による貿易拡大

（シベリア鉄道活用、状況に対応した対中国東北3省の貿易始動）

図 3-1-1 国際物流の短・中長期戦略

3-1-2 具体的施策の展開内容（アクションプログラム案）

短期的には現行航路（浜田～ウラジオストク RORO 船、境港 DBS フェリー）を維持し、中長期的には航路の拡大等により北東アジアゲートウェイ機能を推進していくためには、まずは情報収集、コーディネート機能、人材育成策の強化、また北東アジアゲートウェイ構想を踏まえた高速道路、港湾などのインフラ整備を検討するなど、山陰圏におけるソフト、ハード両面の機能整備による基盤づくりを行っていく必要がある。

これらの基盤を活かしながら、広域かつ多様な貨物の集荷を進め、さらには対岸諸国との協働により課題を解決し、北東アジアの交易拠点としての山陰地域の発展を図っていくことが望まれる。

具体的施策の展開内容（アクションプログラム案）は、表 3-1-1 に示すとおりである。

表 3-1-1 具体的施策：山陰圏におけるソフト・ハード両面の機能整備・強化

実施年度		21	22	23	24	25	事例等
機能の整備・強化	(1) 情報の収集および共有化						
	① 情報収集および情報の共有化	→	-	-	-	-	・ 各県現地事務所や姉妹都市交流、各県貿易アドバイザー等
	② 情報提供を受けるしくみづくり	→	-	-	-	-	・ 外務省やJETRO、日本センター等の公的機関ならびに現地進出企業等との連携 ・ 他の日本海側各県との連携 等
	③ 対岸諸国の経済情勢等の動向把握	→	-	-	-	-	・ 中国東北3省・ロシア・韓国・北朝鮮の政策、経済情勢等の動向把握
	④ 集荷想定貨物の動向把握	-	-	-	→	→	・ 日～ロ・欧・韓・中国東北三省間の貨物動向の継続的把握 ・ 国内集荷想定地域の北東アジア向け物流実態の継続的把握
	(2) コーディネート機能の整備						(1)を活用し、対岸諸国との円滑なビジネスを支援
	① 現地ビジネスパートナーの発掘	→	-	-	-	-	・ 現地の専門性の高い物流および卸売事業者等の発掘 等
	② 貿易・投資活動の支援	→	-	-	-	-	・ 見本市、商談会等によるビジネス案件の発掘 ・ 交易に必要な手続きや物流ルートの紹介・斡旋 ・ トライアル輸送等の支援 等
	③ ポートセールス活動の支援	→	-	-	-	-	・ コーディネータとしての活動を踏まえたポートセールス戦略の策定 等
	④ 日本海諸港との連携促進	→	-	-	-	-	・ 他の日本海諸港との連携による航路開設 ・ 新規貿易品目開拓に向けた連携 等
	(3) 交易を支える人材の育成						
	① 相手国との人材交流	→	-	-	-	-	・ 相手国の行政機関、研究機関、民間企業、大学との人材交流による信頼関係の構築とビジネス人材の育成 等
	② ビジネス人材の育成	→	-	-	-	-	・ 大学など教育機関による北東アジアのビジネス人材の育成ならびに調査研究による情報の蓄積 等
	(4) 物流ネットワークの整備に向けた検討	→	-	-	-	-	・ 北東アジアゲートウェイ構想の推進状況を踏まえた高速道路、港湾等のインフラ整備の検討 （高速道路網、港湾施設、鉄道網、定期便に合わせた貨物シャトル便・トラック共同輸送便の整備等）
	(5) 産業の立地促進	→	-	-	-	-	・ 北東アジア貿易拡大をにらんだ戦略的な企業誘致 ・ 情報提供機能の強化 ・ 質の高いサービスの提供 （航路サービスの拡充・国内2次輸送機関の整備等）

凡例) - - - - 情報収集等の準備段階
 → 本格的取組開始
 - - - - 前年度の成果をフィードバックしながら、よりよい方向へ改善

表 3-1-1 の施策により基盤機能を整備しつつ同時並行的に、以下の施策を展開し、北東アジアゲートウェイ機能推進を図る。

表 3-1-2 具体的施策：広域かつ多種多様な集荷

実施年度		21	22	23	24	25	事例等
広域かつ多種多様な集荷	(1)貿易品目の拡大						
	①広域からの貨物誘致	→	→	→	→	→	・ポートセールスの実施 ・陸上輸送費の低減策（共同輸送、シャトル便）の検討 等
	②新たな貿易品目の発掘	→	→	→	→	→	・ポートセールス活動の実施 ・国内外における見本市・商談会の定期的開催 ・商用・観光客のロコミによるPR促進、ポタリ商の活用 等
	③ロット、品揃えの確保	→	→	→	→	→	・広域からの確保にむけた他圏域との連携（農協・漁協との提携） ・東海港と連携したウラジオ向けの品揃え 等
	(2)貿易ルートの確立						
	①航路サービスの充実	→	→	→	→	→	・山陰2港間連携による航路の増設 ・他の日本海側諸港との連携による定期コンテナ航路開設 等
	②シベリア鉄道等の活用に向けた調査検討	→	→	→	→	→	・国内物流ルートの検証 ・シベリア・ランドブリッジの有効性・信頼性を確認するためのシベリア鉄道のトライアル輸送を実施 等
	③対中国東北3省へのロシア極東港湾経由の物流ルートの調査検討	→	→	→	→	→	・山陰諸港経由極東港湾から物流ルートの活用、可能性の検証等
凡例)		---	→	→	→	→	情報収集等の準備段階 本格的取組開始 前年度の成果をフィードバックしながら、よりよい方向へ改善

表 3-1-3 具体的施策：相手国との協働

実施年度		21	22	23	24	25	事例等
ロシア	(1)ロシア・欧州の物流システムの整備						
	①効率的な物流システムの整備	→	→	→	→	→	・通関手続きの明確化および迅速化 ・地方政府間協定 ・物流インフラの整備 等
	②シベリア鉄道の活用	→	→	→	→	→	・シベリア・ランドブリッジによる安定的かつ効率的な輸送の確保に向けた課題解決（インフラ整備、輸送コスト、小口輸送サービス等）等
	(2)航路サービスの充実による貿易拡大						
	①航路サービスの充実	→	→	→	→	→	・既存航路の増便、新規航路の開設
韓国	(1)韓国内物流ルートの構築						
	①ソウル周辺貨物の集荷	→	→	→	→	→	・ソウル向けの貨物（食品、現地企業向け部品）の発船会社との連携によるソウル向け貨物の発掘 ・国際フェリーの寄港頻度増大によるソウル周辺向けの最速貨物輸送サービスの地位確立 等
	②東海港の出入貨物のバランスの確保	→	→	→	→	→	・東海港関係者と連携した貨物誘致
	③国際フェリー・RO-RO船を活用した複合一貫輸送の実現	→	→	→	→	→	・トラックの相互乗り入れ協定（多国間合意）による複合一貫輸送の実現に向けた協議 等
北中国 三省東	(1)相手方動向に対応した貿易拡大	→	→	→	→	→	・状況に応じて山陰諸港を活用した貿易拡大施策に着手 （他圏域港湾と連携したトライアルへの参等）
凡例)		---	→	→	→	→	情報収集等の準備段階 本格的取組開始 前年度の成果をフィードバックしながら、よりよい方向へ改善